

東郷町住民意向調査 報告書

平成28年3月

東郷町

目次

I 調査概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象及び調査方法.....	1
3 調査票の回収状況.....	1
4 報告書の見方.....	1
II 考察	2
III 回答者の属性	3
1 回答者の属性.....	3
1 性別.....	3
2 年齢.....	3
3 お住まいの地域.....	4
4 通算居住年数.....	5
5 家族構成.....	6
6 同居している就学前児童の有無.....	7
7 同居している小中学生の有無.....	8
8 同居している65歳以上の方の有無.....	9
9 職業.....	10
IV 調査結果	11
1 東郷町の暮らしやすさなどについて.....	11
1-1 住み心地.....	11
1-2 定住意向について.....	13
2 東郷町の取り組みについて.....	18
2-1 満足度.....	18
2-2 重要度.....	27
2-3 満足度と重要度の評価.....	36
3 日常生活の意識などについて.....	39
3-1 日常生活の意識や行動について.....	39
3-2 地域に対する意識について.....	50
4 まちづくりについて.....	56
4-1 町政（まちづくり）への関心について.....	56
4-2 東郷町自治基本条例について.....	58
4-3 住民参画・協働について.....	60
4-4 センtral開発について.....	66
V 参考資料	68
1 標本誤差.....	68
2 使用調査票.....	69
3 自由意見.....	79

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、平成 27 年度が第 5 次東郷町総合計画（計画期間：平成 23 年度から 10 年間）の中間年にあたることから、今後の町政運営に反映するため、これまでの基本施策や目標指標の進捗及び成果を検証するために実施し、施策効果を確認することを目的とした。

2 調査対象及び調査方法

①調査地域

- ・東郷町全域

②調査対象者

- ・東郷町に在住する 18 歳以上の男女（平成 27 年 5 月 1 日現在）

③標本数

- ・2,000 人

④標本抽出方法

- ・住民基本台帳による無作為抽出

⑤調査期間

- ・平成 27 年 7 月 23 日から 8 月 5 日まで

⑥調査方法

- ・郵送配布、郵送回収

3 調査票の回収状況

有効配布数	2,000 件
回収数	771 件
回収率	38.6%
有効回収数	764 件
有効回収率	38.2%

※回収数・・・無効回答を含めた回収数
有効回収数・・・無効回答を除いた回収数

4 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの回収数を示している。
- ・比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。従って、合計が 100.0%にならない場合もある。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が 100.0%を超える場合がある。
- ・グラフ・表として示したもののうち、回答数が 0 の場合は表示を省略している。また、選択肢の文章を簡略化している場合もある。

Ⅱ 考察

本調査は、東郷町のまちづくりにおける生活全般にかかわる様々な取り組みについて、町民の意識を確認し、どのような生活、取り組みを望んでいるのか把握することにある。そこで、満足度・重要度を中心に、本調査結果を考察する。

● 「バスなどの公共交通機関の整備」をはじめ、満足度が低く重要度が高い項目の取り組みの充実が必要

項目別に満足度をみると、「バスなどの公共交通機関の整備」をはじめ、21項目で満足度平均値がマイナスとなっている。満足度が低く、重要度が高い項目（「バスなどの公共交通機関の整備」や「夜間や休日の医療体制」、「道路の整備」など）は、特に取り組みを充実させることが求められている。

● 重要度が相対的に高い『安全で環境にやさしいうるおいのあるまち』で期待されることは「防犯対策」

項目別に重要度をみると、『安全で環境にやさしいうるおいのあるまち』の分野で重要度平均値が他の分野と比較して高くなっている。期待されている取り組みをみると、「防犯対策」で平均値が高く、これらの対策が特に望まれている。

● 町政情報で関心があるのは「医療体制について」

関心のある町政情報をみると、「医療体制について」が4割台半ばで最も高く、重要度においても重要度が高い項目（「夜間や休日の医療体制」、「消防や救急の体制」）にあげられており、今後もより細やかな医療体制についての情報発信が必要とされている。

● “住みやすい”と回答した人の割合は約7割

総合的に東郷町は住みやすいと感じているかどうかに着目すると、「住みやすい」・「まあ住みやすい」と回答した人が約7割を占める。一方、「住みにくい」・「やや住みにくい」は約1割である。今後も町民が住みやすいと感じる東郷町を目指して施策を推進していくことが必要である。

Ⅲ 回答者の属性

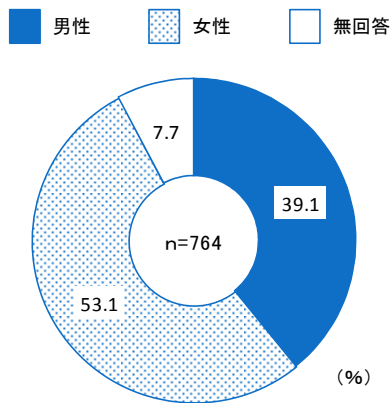
1 回答者の属性

1 性別

◆ 「男性」が39.1%、「女性」が53.1%

回答者の性別は、「男性」が39.1%、「女性」が53.1%となっている。

図表 1 性別



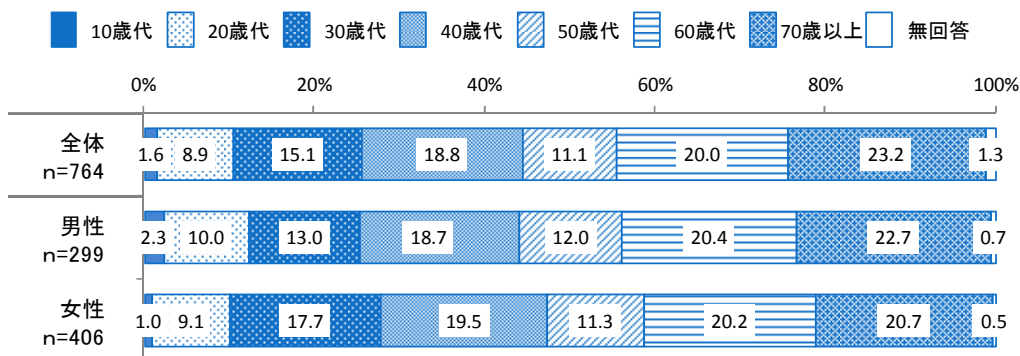
2 年齢

◆ 「70歳以上」が23.2%、「60歳代」が20.0%、「40歳代」が18.8%など

回答者の年齢は、「70歳以上」が23.2%で最も高く、「60歳代」(20.0%)、「40歳代」(18.8%)の順となっている。

性別で見ると、男女ともに「70歳以上」(男性22.7%、女性20.7%)が最も高く、「60歳代」(男性20.4%、女性20.2%)、「40歳代」(男性18.7%、女性19.5%)の順となっている。

図表 2 年齢 (全体・性別)



3 お住まいの地域

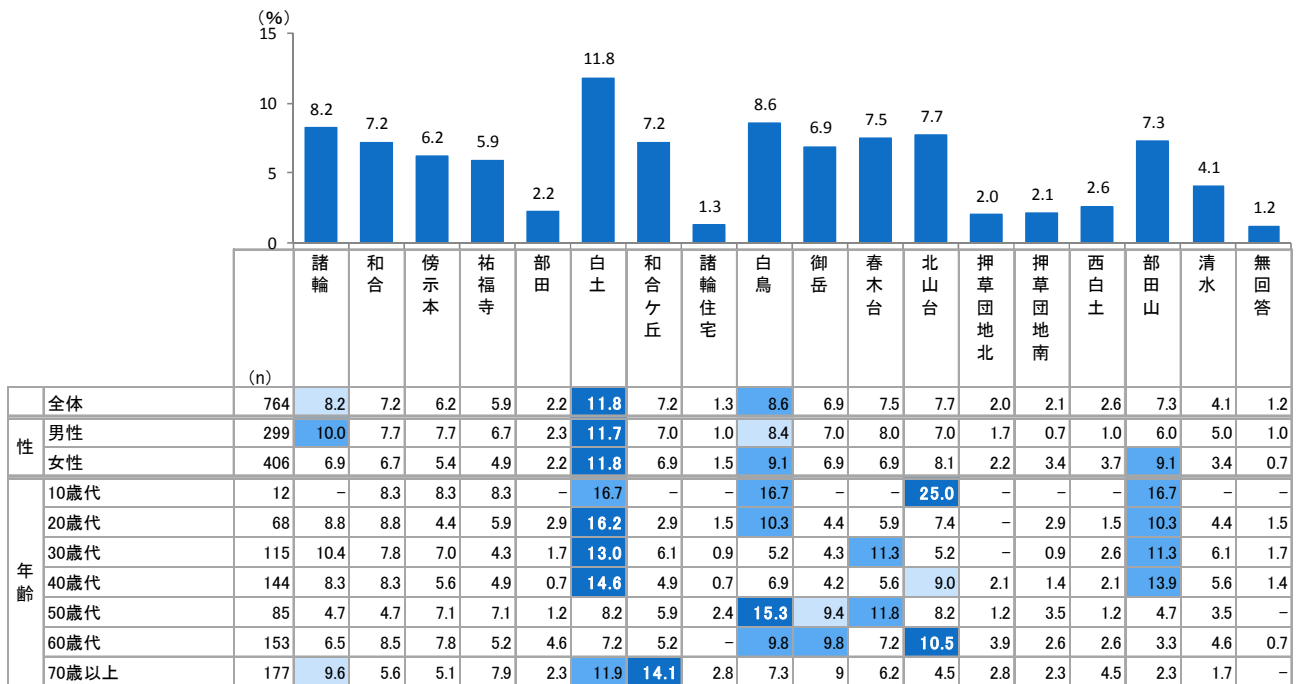
◆ 「白土」が11.8%、「白鳥」が8.6%、「諸輪」が8.2%など

回答者の住まいの地域は、「白土」が11.8%で最も高く、「白鳥」(8.6%)、「諸輪」(8.2%)の順となっている。

性別で見ると、男性は「白土」(11.7%)が最も高く、「諸輪」(10.0%)、「白鳥」(8.4%)の順となっている。女性は「白土」(11.8%)が最も高く、「白鳥」、「部田山」(ともに9.1%)の順となっている。

年齢別で見ると、20歳代～40歳代は「白土」、「部田山」、50歳代と60歳代では「白鳥」、「御岳」、「春木台」、「北山台」、70歳以上では、「白土」、「和合ヶ丘」で割合が高くなっている。

図表 3 お住まいの地域 (全体・性別・年齢)



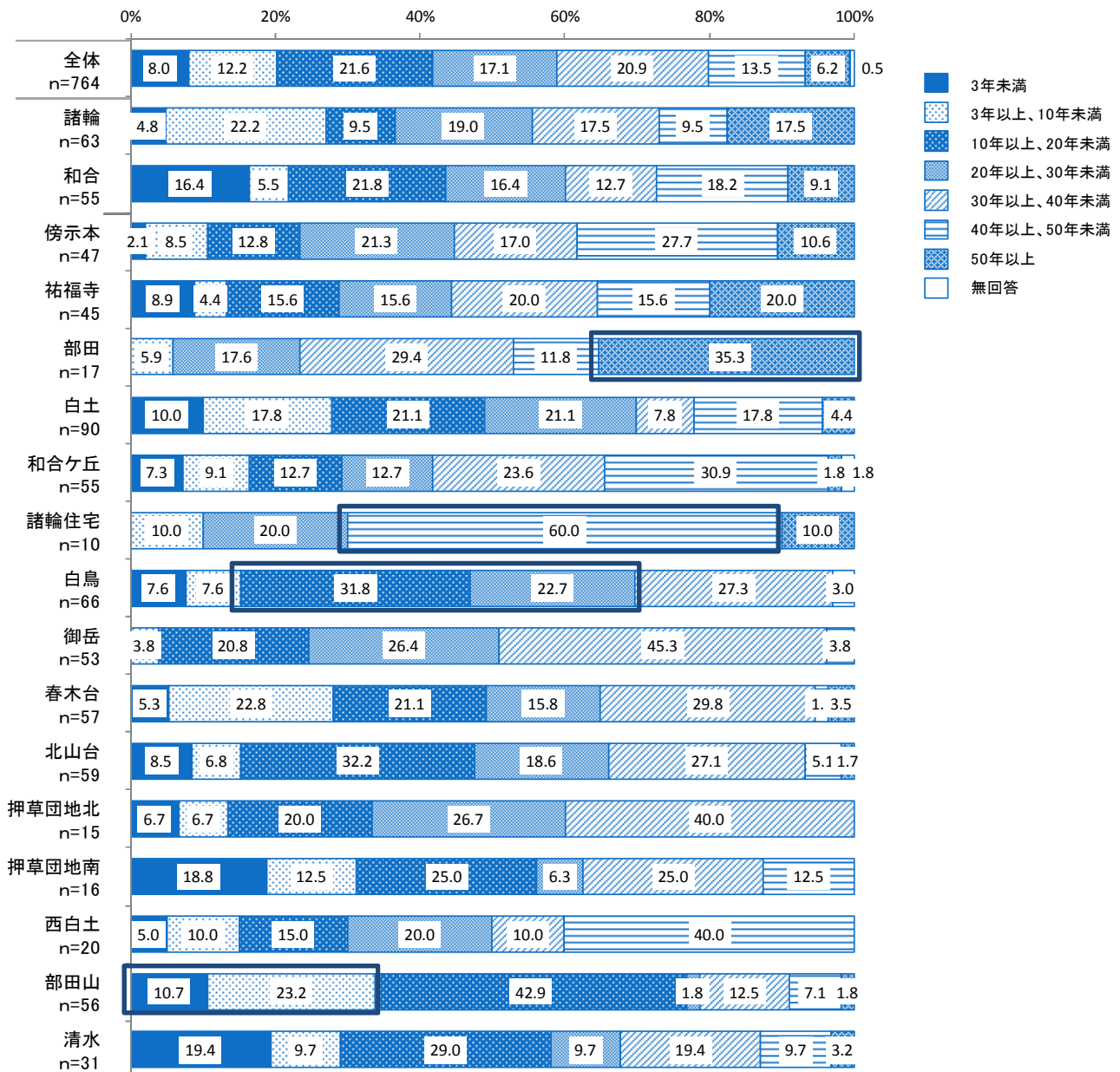
4 通算居住年数

◆ 「10年以上、20年未満」が21.6%、「30年以上、40年未満」が20.9%など

回答者の通算居住年数は、「10年以上、20年未満」が21.6%で最も高く、「30年以上、40年未満」(20.9%)、「20年以上、30年未満」(17.1%)の順となっている。

地域別で見ると、部田山は「10年未満」(33.9%)で最も高く、白鳥は「10年以上、30年未満」(54.5%)、諸輪住宅は「40年以上、50年未満」(60.0%)、部田は「50年以上」(35.3%)で割合が高くなっている。

図表 4 通算居住年数 (全体・地域別)



5 家族構成

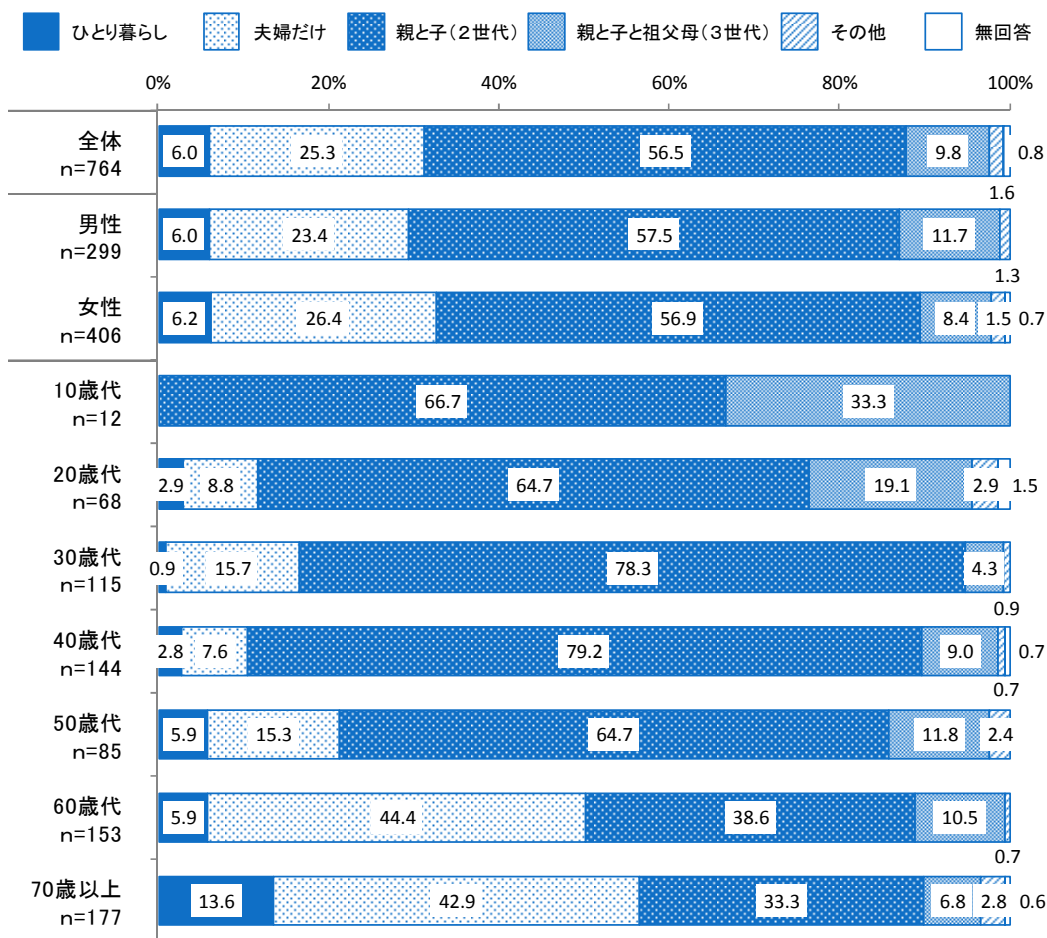
◆ 「親と子（2世代）」が56.5%、「夫婦だけ」が25.3%など

回答者の家族構成は、「親と子（2世代）」が56.5%で最も高く、「夫婦だけ」（25.3%）、「親と子と祖父母（3世代）」（9.8%）の順となっている。

性別で見ると、男女ともに「親と子（2世代）」（男性57.5%、女性56.9%）が最も高く、「夫婦だけ」（男性23.4%、女性26.4%）、「親と子と祖父母（3世代）」（男性11.7%、女性8.4%）の順となっている。

年齢別で見ると、10歳代は「親と子（2世代）」が66.7%で最も高く、年齢が高くなるにつれて割合は増加傾向を示し、40歳代で79.2%と最も高くなっている。また、50歳代からは減少傾向を示し、70歳以上では33.3%となっている。

図表 5 家族構成（全体・性別・年齢別）



6 同居している就学前児童の有無

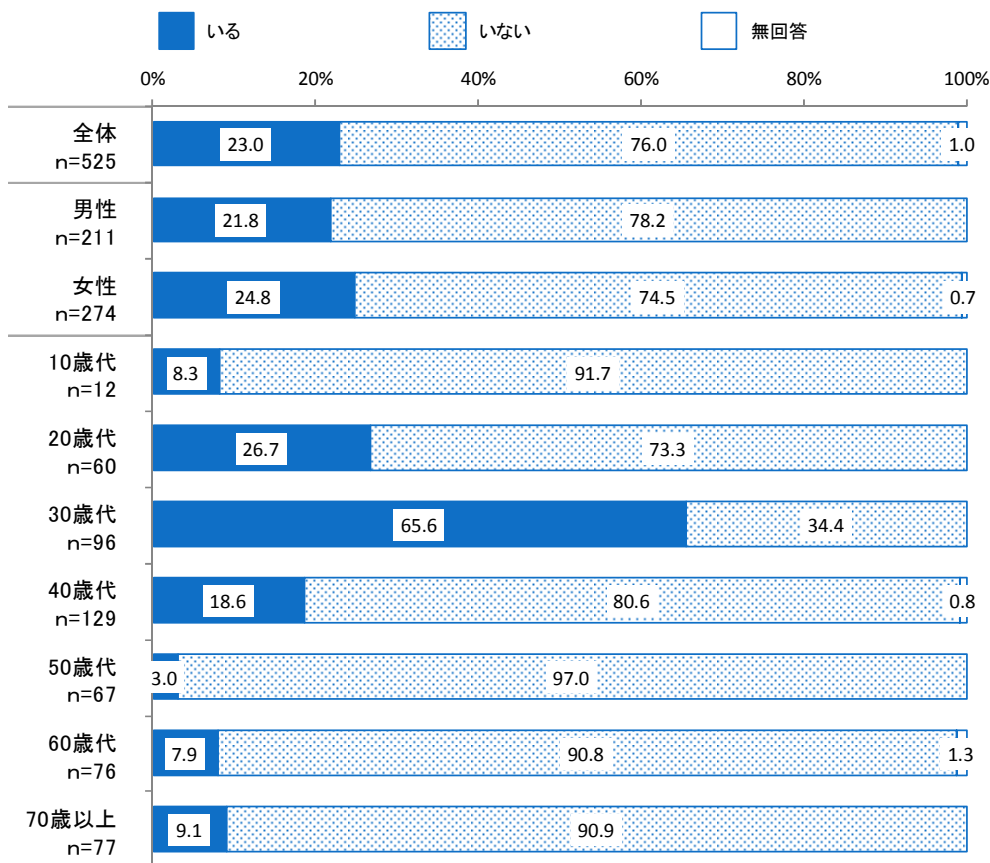
◆ 就学前児童が同居して「いる」が23.0%、同居して「いない」が76.0%

回答者の就学前児童との同居の有無は、同居して「いる」が23.0%、同居して「いない」が76.0%となっている。

性別でみると、性別による大きな差はみられない。

年齢別で同居している世帯についてみると、30歳代が65.6%で最も高く、20歳代(26.7%)、40歳代(18.6%)の順となっている。

図表 6 同居している就学前児童の有無（全体・性・年齢別）



7 同居している小中学生の有無

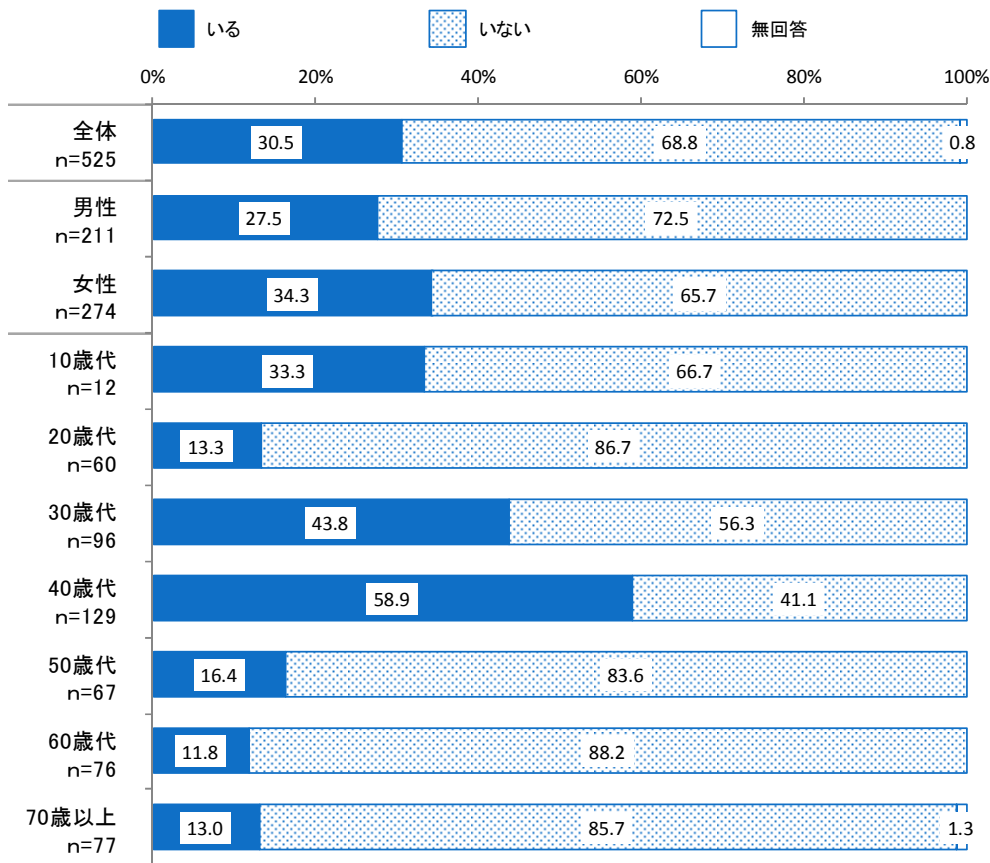
◆ 小中学生が同居して「いる」が30.5%、同居して「いない」が68.8%

回答者の小中学生との同居の有無は、同居して「いる」が30.5%、同居して「いない」が68.8%となっている。

性別で同居している世帯についてみると、男性は27.5%、女性は34.3%となっている。

年齢別で同居している世帯についてみると、40歳代が58.9%で最も高く、30歳代(43.8%)、50歳代(16.4%)の順となっている。

図表 7 同居している小中学生の有無（全体・性・年齢別）



8 同居している65歳以上の方の有無

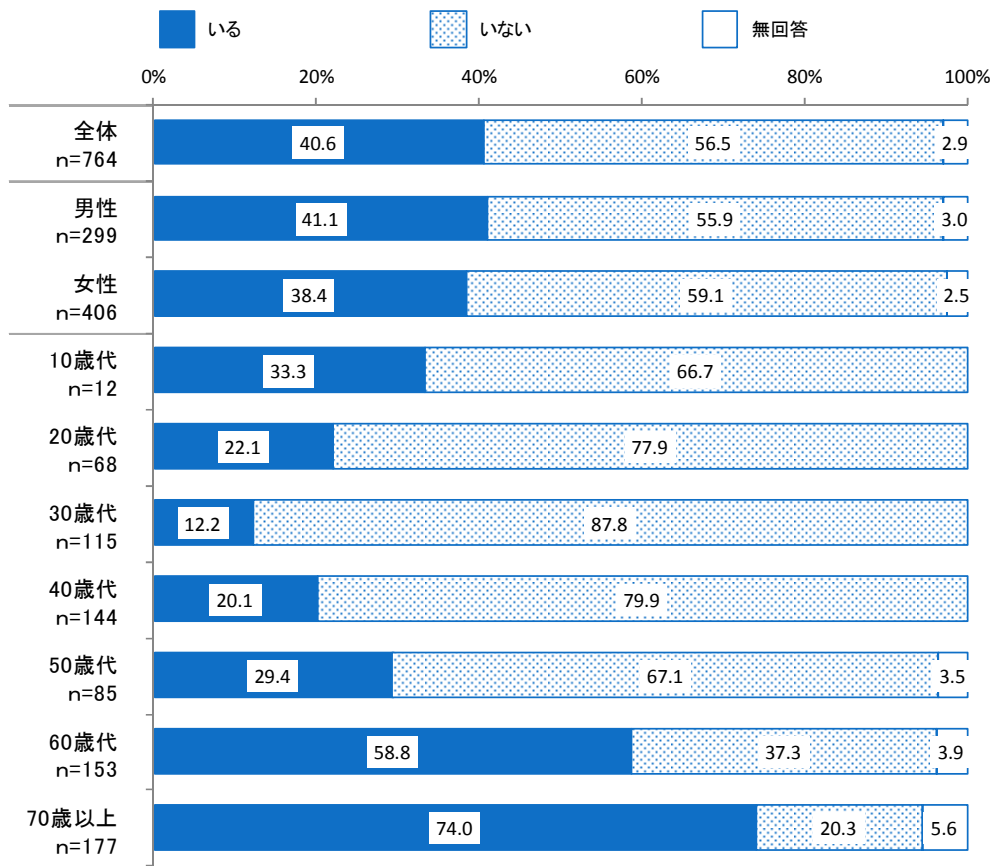
◆ 65歳以上の方が同居して「いる」が40.6%、同居して「いない」が56.5%

回答者の65歳以上の方との同居の有無は、同居して「いる」が40.6%、同居して「いない」が56.5%となっている。

性別でみると、性別による大きな差はみられない。

年齢別で同居している世帯についてみると、70歳以上が74.0%で最も高く、60歳代(58.8%)が続いているが自身の年齢が65歳以上のため割合も高くなっている。また、50歳代以下では10歳代(33.3%)と50歳代(29.4%)が3割前後となっている。

図表 8 同居している65歳以上の方の有無（全体・性・年齢別）



9 職業

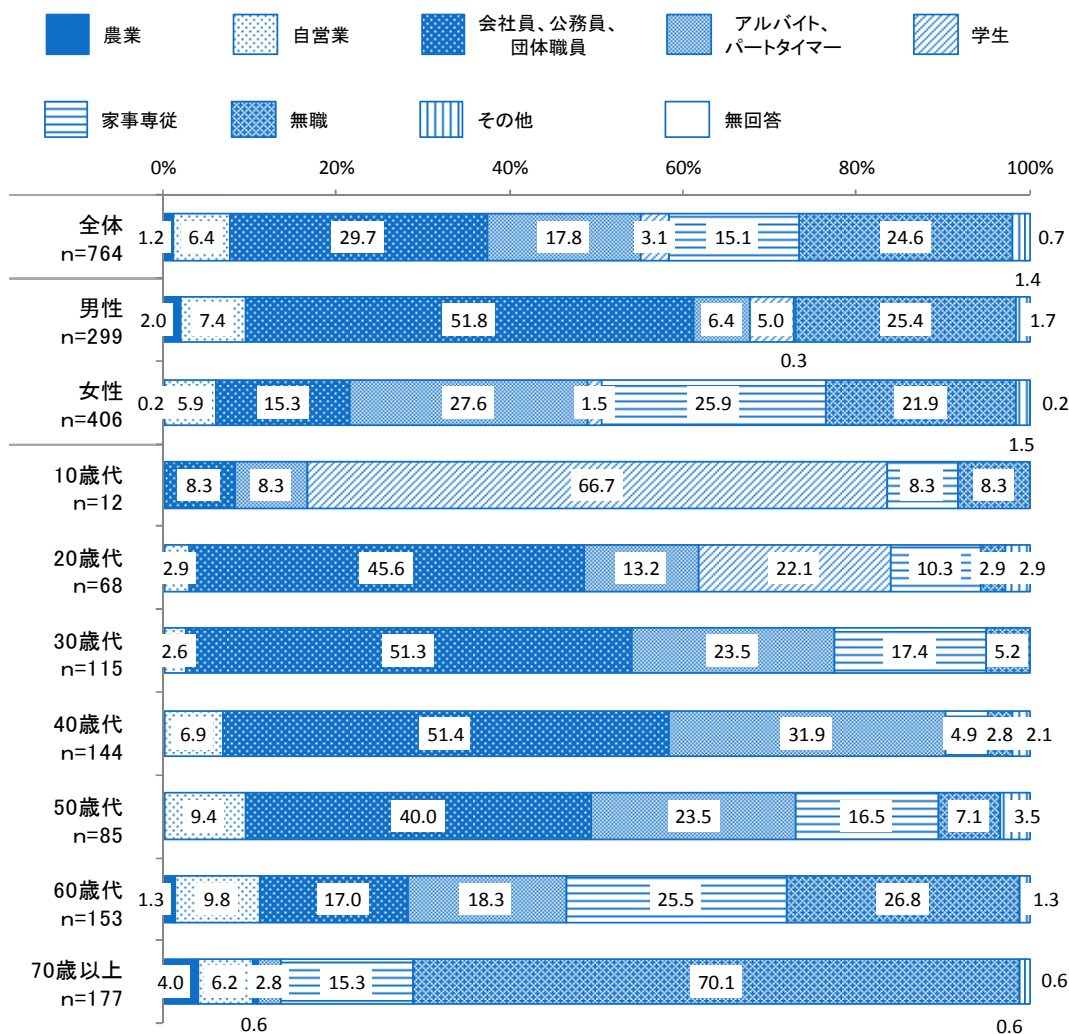
◆ 「会社員、公務員、団体職員」が29.7%、「無職」が24.6%、「アルバイト、パートタイマー」が17.8%など

回答者の職業は、「会社員、公務員、団体職員」が29.7%で最も高く、「無職」(24.6%)、「アルバイト、パートタイマー」(17.8%)の順となっている。

性別で見ると、男性は「会社員、公務員、団体職員」(51.8%)が最も高く、「無職」が25.4%と続き、女性は「アルバイト、パートタイマー」(27.6%)が最も高く、「家事専従」(25.9%)、「無職」(21.9%)が続いている。

年齢別で見ると、20歳代～50歳代は「会社員、公務員、団体職員」が4割以上で最も高く、10歳代は「学生」(66.7%)、70歳以上は「無職」(70.1%)で割合が最も高くなっている。

図表 9 職業 (全体・性・年齢別)



IV 調査結果

1 東郷町の暮らしやすさなどについて

1-1 住み心地

問1 東郷町の住み心地はどう思いますか？
今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

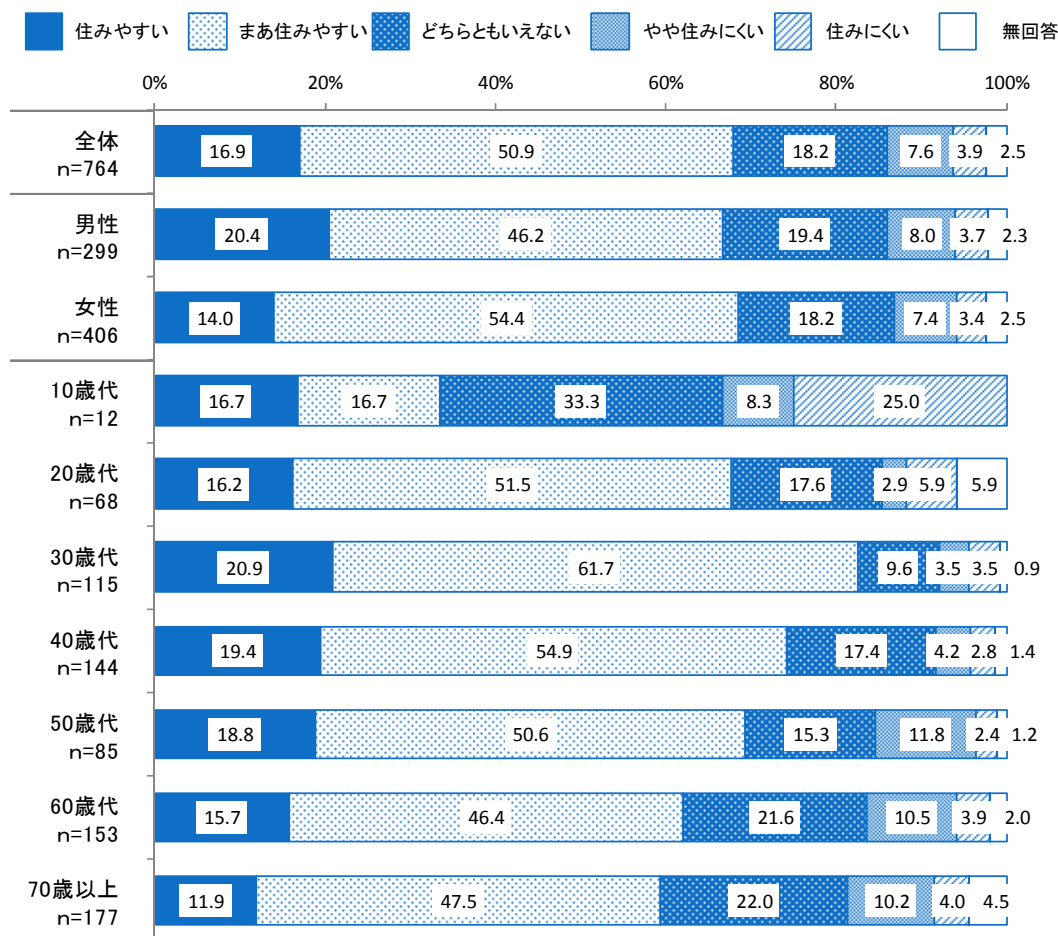
◆ “住みやすい”が67.8%、“住みにくい”が11.5%

住み心地は、「住みやすい」と「まあ住みやすい」をあわせた“住みやすい”が67.8%、「住みにくい」と「やや住みにくい」をあわせた“住みにくい”が11.5%となっている。

性別でみると、性別による大きな差はみられない。

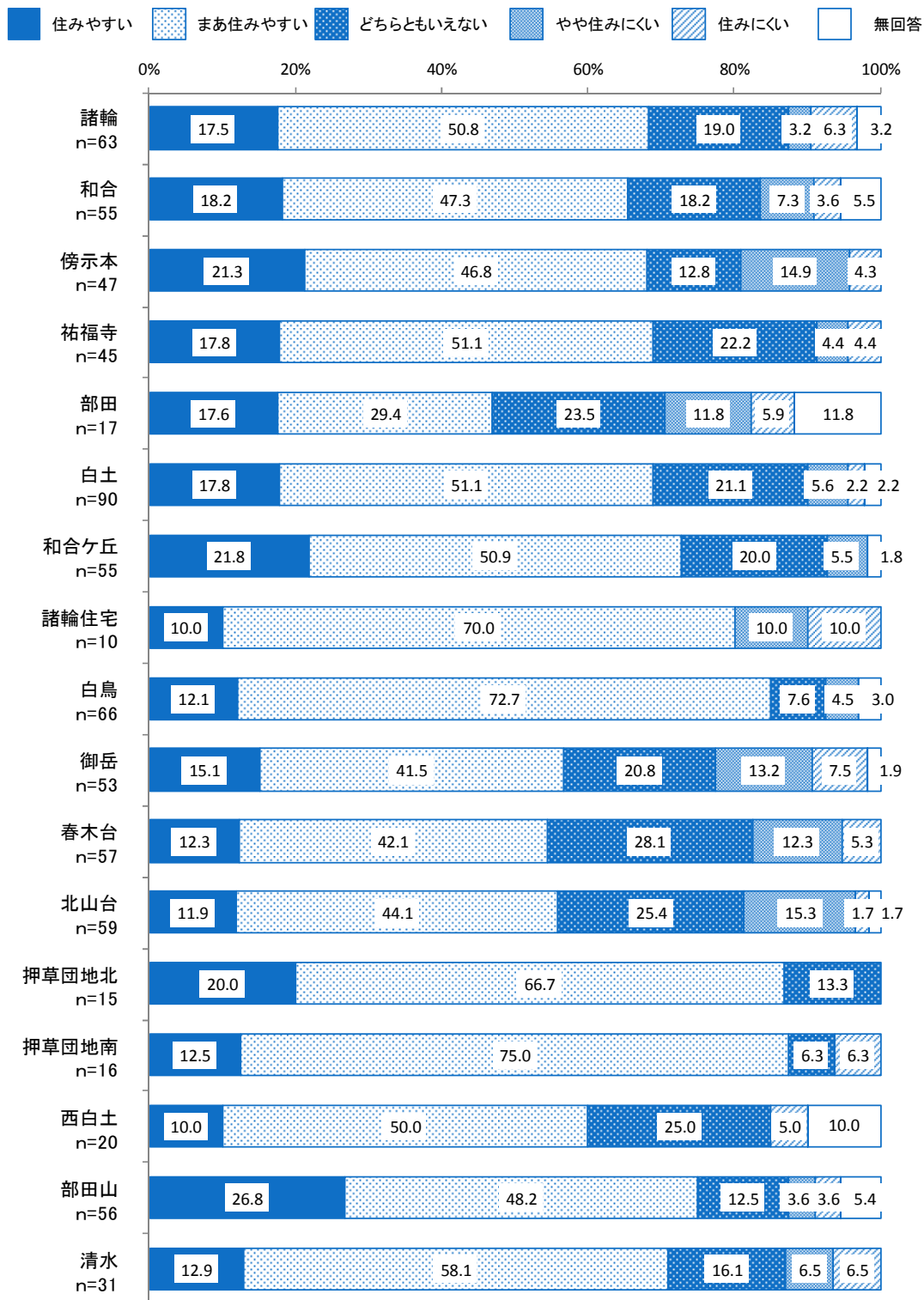
年齢別でみると、30歳代で“住みやすい”が最も高く、30歳代以降、年齢が高くなるにつれて割合が減少し、30歳代（82.6%）よりも70歳代以上（59.4%）が23.2ポイント低くなっている。

図表 10 住み心地（全体・性・年齢別）



地域別で“住みやすい”についてみると、押草団地南が 87.5%で最も高く、押草団地北(86.7%)、白鳥(84.8%)、諸輪住宅(80.0%)で8割台と高くなっている。一方、部田は47.0%で5割以下と割合が低くなっている。

図表 11 住み心地 (地域別)



1-2 定住意向について

問2 これからも東郷町に住み続けたいとお考えですか？

今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。（既に転出が決まっている方もご自身のお気持ちに近いものをお選びください）

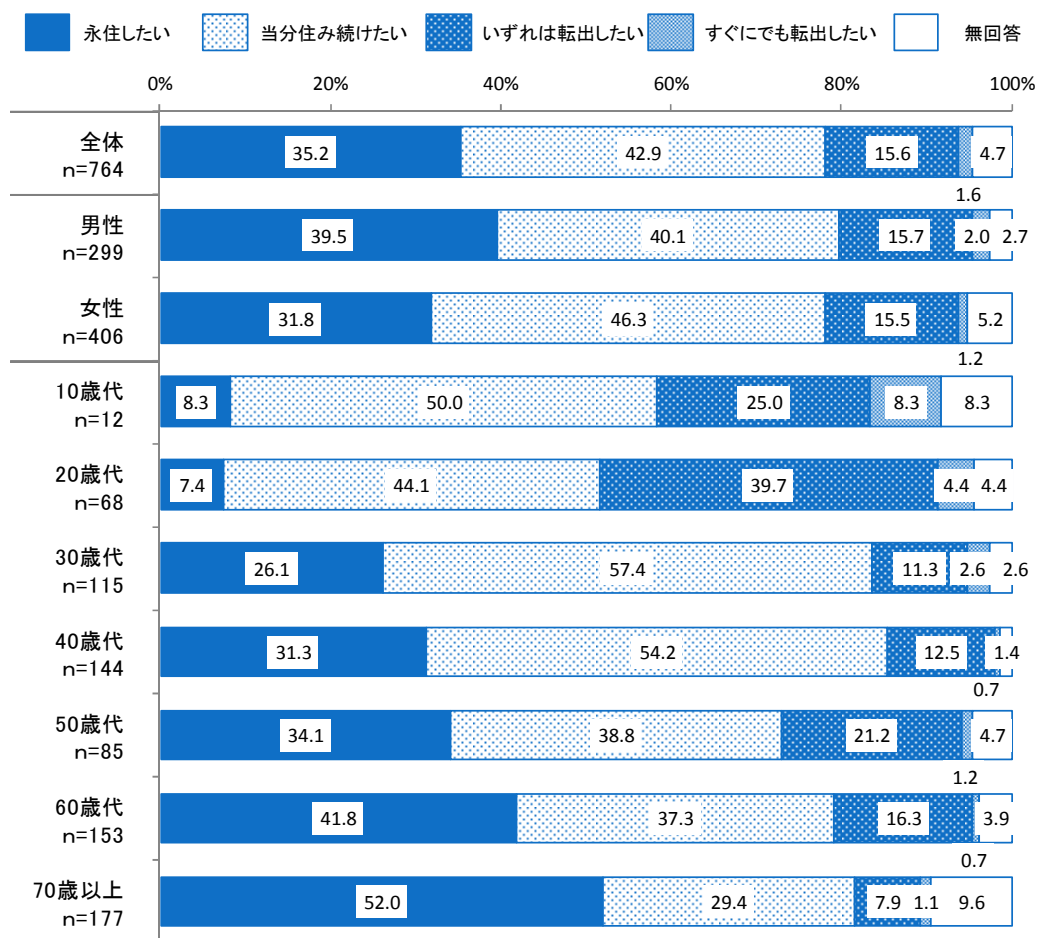
◆ 「永住したい」が35.2%、「いずれは転出したい」が15.6%

定住意向は、「永住したい」（35.2%）と「当分住み続けたい」（42.9%）をあわせた“住み続けたい”が78.1%、「すぐにでも転出したい」（1.6%）と「いずれは転出したい」（15.6%）をあわせた“転出したい”が17.2%となっている。

性別でみると、「永住したい」は、男性（39.5%）が女性（31.8%）よりも7.7ポイント高くなっている。

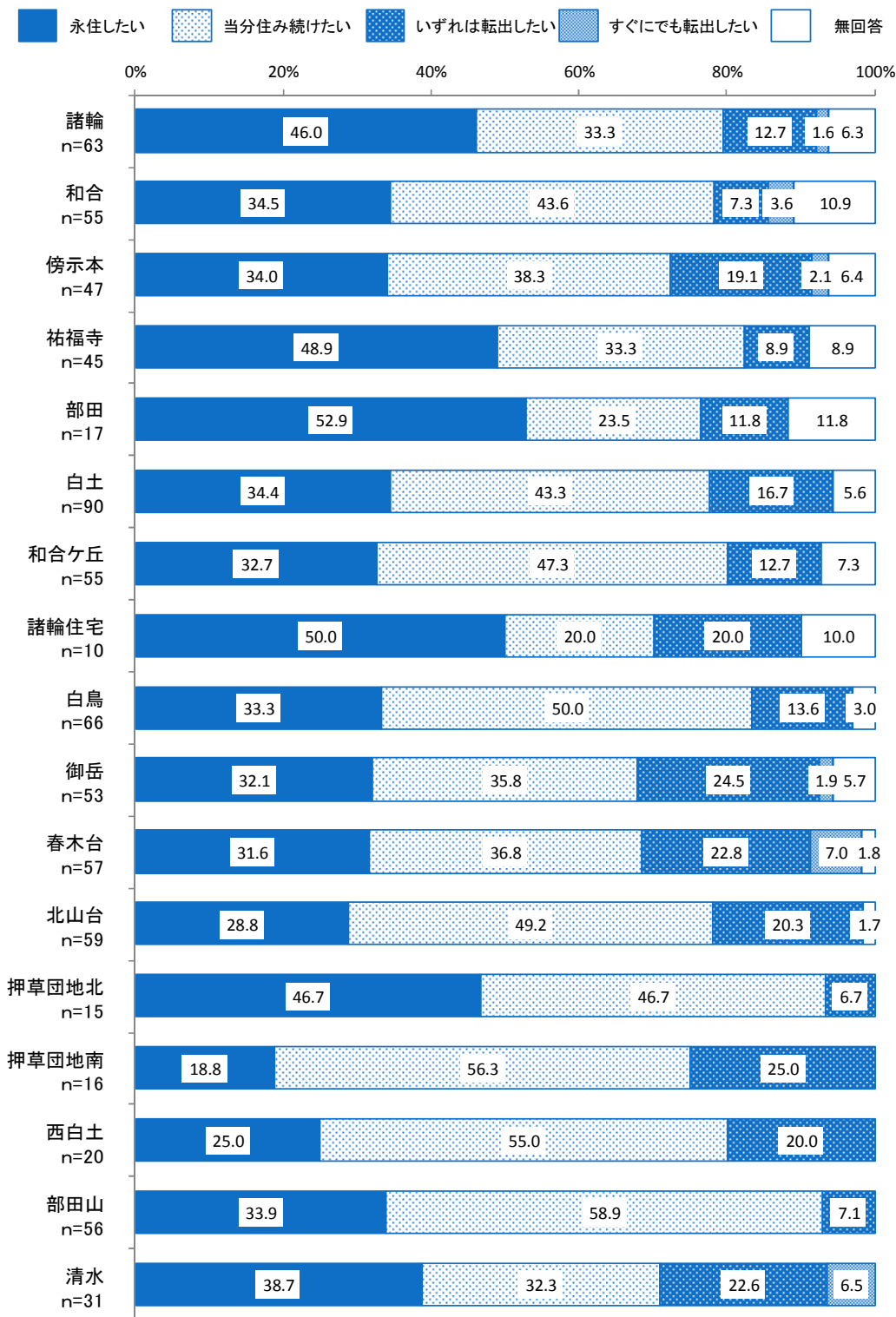
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「永住したい」割合が高くなっており、70歳以上（52.0%）が20歳代（8.3%）よりも43.7ポイント高くなっている。また、「いずれは転出したい」は、20歳代（39.7%）で最も高くなっており、「すぐにでも転出したい」では10歳代が8.3%で最も高くなっている。

図表 12 定住意向（全体・性・年齢別）



地域別で見ると、「永住したい」では部田が52.9%で最も高く、諸輪住宅(50.0%)、祐福寺(48.9%)、押草団地北(46.7%)の順となっている。一方、「いずれは転出したい」は押草団地南が25.0%で最も高く、御岳(24.5%)、春木台(22.8%)、清水(22.6%)と続いている。

図表 13 定住意向 (地域別)

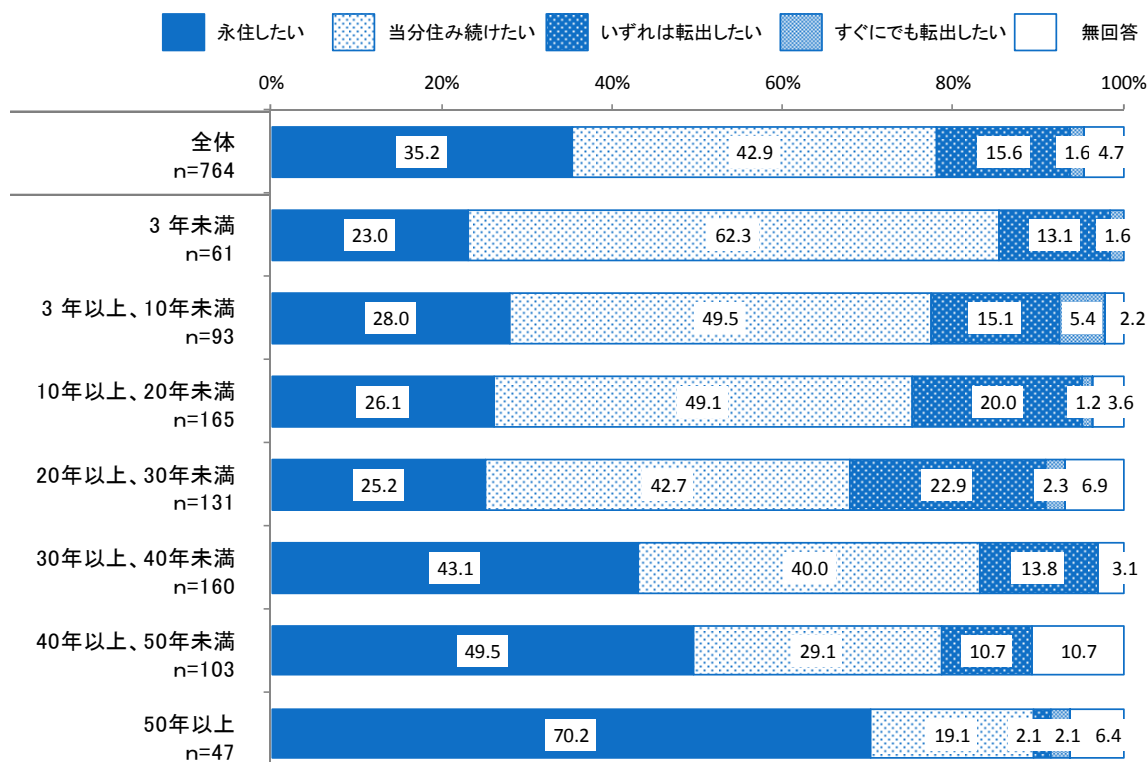


1 東郷町の暮らしやすさなどについて

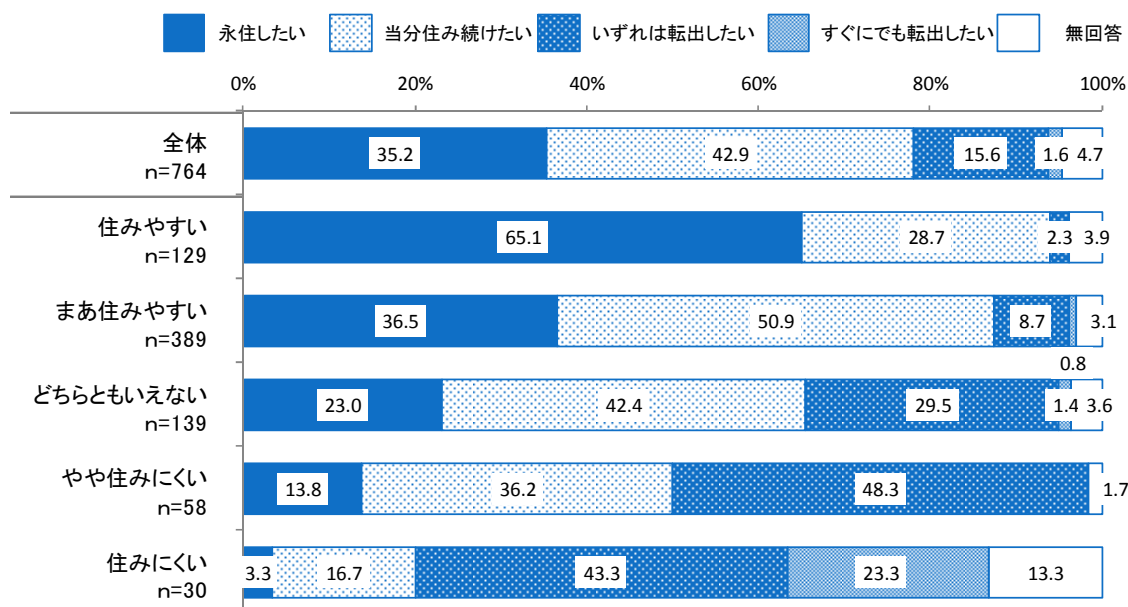
通算居住年数別で見ると、おおむね年数が高くなるにつれて「永住したい」割合が高くなっており、50年以上（70.2%）が3年未満（23.0%）よりも47.2ポイント高くなっている。一方、居住して30年未満では、居住年数が増すごとに「いずれは転出したい」割合が増加しており、20年以上、30年未満では22.9%で最も高くなっている。また、30年以上になると転出意向も減少傾向となっている。

住み心地別で見ると、“住み続けたい”で住みやすいと思っている割合が93.8%と高く、住みにくいと思う方向に移行するにつれて割合は減少し、“住み続けたい”が住みにくいと思っている割合は20.0%となっている。また、住みにくいと思っていて“転出したい”割合は66.6%と高くなっている。

図表 14 定住意向（全体・通算居住年数）



図表 15 定住意向（全体・住み心地別）



問2-1 今後も住み続けたいとお考えの理由を次の中から3つ以内で選んでください。

(問2で「1. 永住したい」「2. 当分住み続けたい」と回答した方に)

◆ 「住みなれていて愛着があるから」が46.1%、「自然環境が良いから」が37.5%など

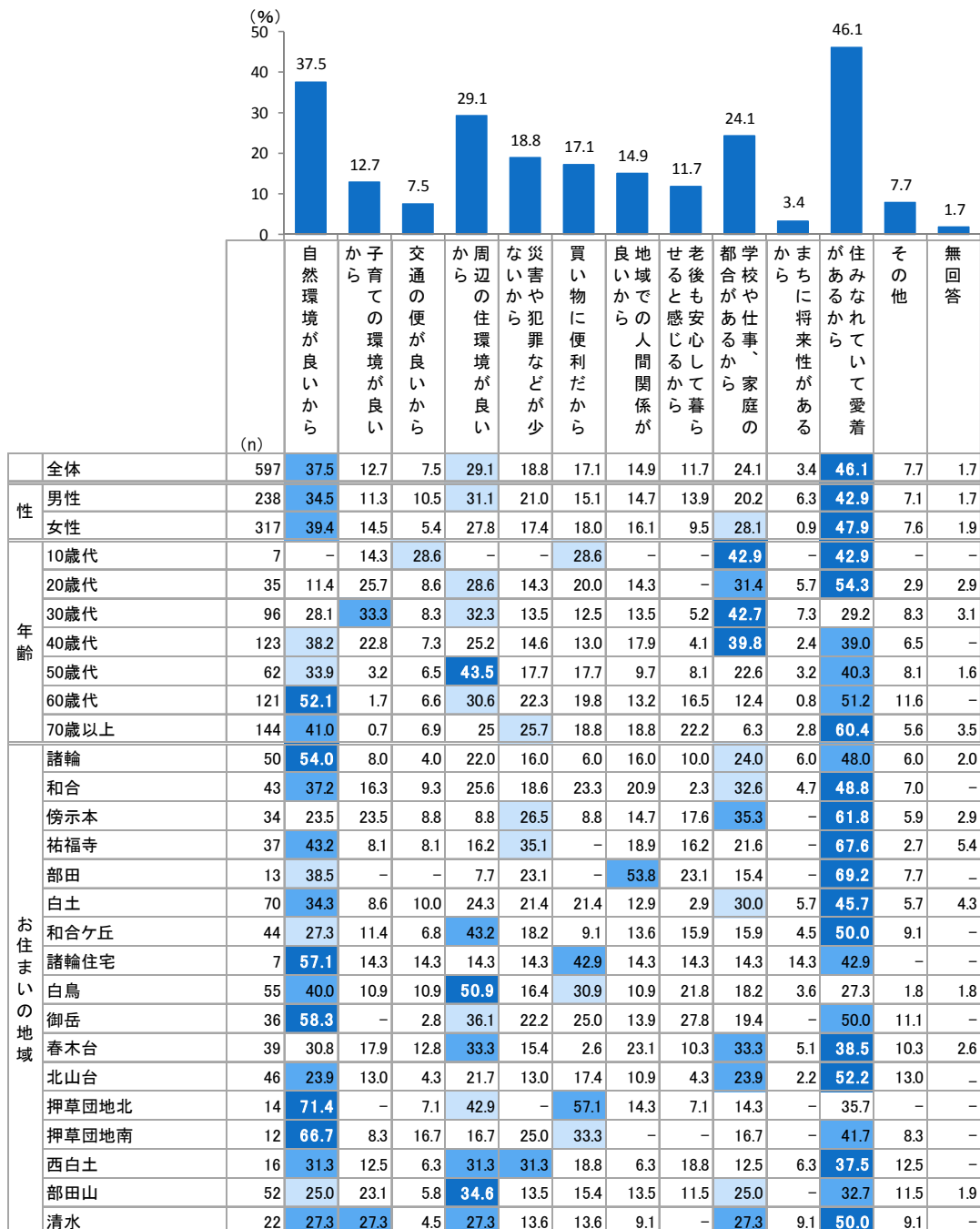
今後も住み続けたい理由は、「住みなれていて愛着があるから」が46.1%で最も高く、「自然環境が良いから」(37.5%)、「周辺の住環境が良いから」(29.1%)の順となっている。

性別でみると、「学校や仕事、家庭の都合があるから」で女性が28.1%で男性(20.2%)を7.9ポイント上回っています。

年齢別でみると、年齢にかかわらず「住みなれていて愛着があるから」の割合が高くなっている。また、10歳代~40歳代では「学校や仕事、家庭の都合があるから」、40歳代~70歳以上では「自然環境が良いから」で割合が高くなっている。

地域別でみると、「住みなれていて愛着があるから」、「自然環境が良いから」以外に、「周辺の住環境が良いから」で白鳥、部田山の割合が高くなっている。

図表 16 今後も住み続けたい理由 (全体・性・年齢・地域別)



問2-2 転出したいとお考えの理由を次の中から3つ以内で選んでください。

(問2で「3. いずれは転出したい」「4. すぐにでも転出したい」と回答した方に)

◆ 「交通の便が良くないから」が79.4%、「まちに将来性がないから」が37.4%など

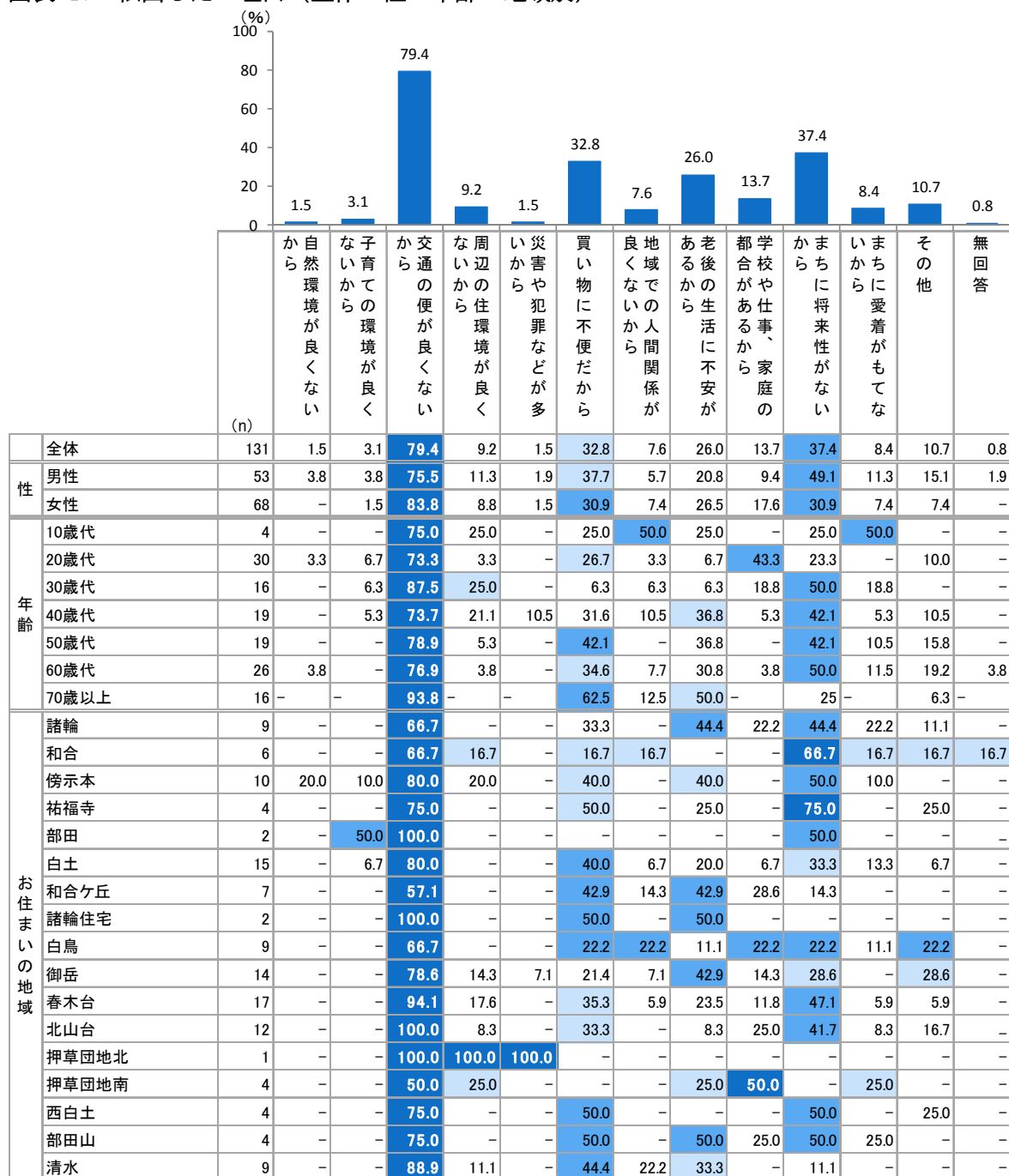
転出したい理由は、「交通の便が良くないから」が79.4%で最も高く、「まちに将来性がないから」(37.4%)、「買い物に不便だから」(32.8%)の順となっている。

性別でみると、性別による大きな差はみられない。

年齢別でみると、年齢にかかわらず「交通の便が良くないから」の割合が高くなっている。また、20歳代では「学校や仕事、家庭の都合があるから」、30歳代～60歳代では「まちに将来性がないから」、50歳代～70歳以上で「買い物に不便だから」の割合が高くなっている。

地域別でも、「交通の便が良くないから」、「まちに将来性がないから」の割合が高くなっている。

図表 17 転出したい理由 (全体・性・年齢・地域別)



2 東郷町の取り組みについて

2-1 満足度

問3 東郷町の取り組みについて具体的にお伺いします。それぞれの項目についてどの程度満足していますか？また、どの程度重要だとお考えですか？満足度と重要度について、今のお気持ちに最も近い番号をそれぞれ1つずつ選んでください。

(1) 全体評価

東郷町の取り組みにおける具体的な満足度について、「健康で元気に暮らせるまち」、「次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち」、「参画と協働で自立するまち」、「安全で環境にやさしいというおいのあるまち」、「産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち」の5分野39項目に対して、〔満足〕を+2点、〔やや満足〕を+1点、〔やや不満〕を-1点、〔不満〕を-2点、〔どちらでもない〕を0点として項目ごとに評価点を算出した。その結果、東郷町全体では、東郷町の取り組みにおける具体的な満足度の平均値は-0.03となっている。

◆ 満足度がプラス評価の項目が18項目、マイナス評価の項目が21項目

項目別にみると、満足度がプラスになっている項目は合計18項目あり、満足度の高い項目から順に「消防や救急の体制」(0.48)、「ごみの減量やリサイクルの推進」(0.41)、「総合的にみた役場窓口の対応」(0.30)、「健康づくりなどの保健事業」(0.28)、「子育て支援サービス」(0.26)などとなっている。

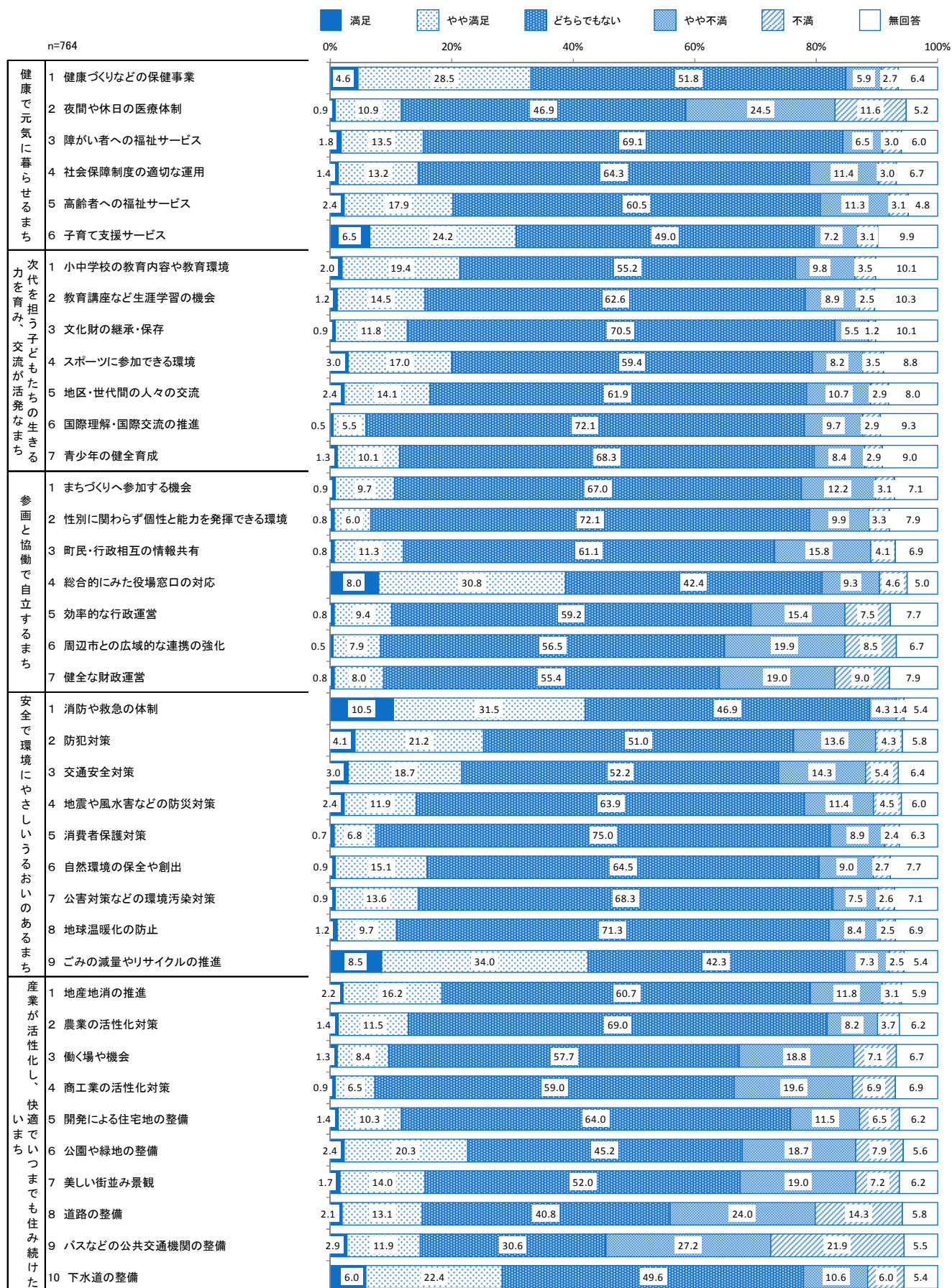
一方、満足度がマイナスになっている項目は、合計21項目あり、満足度の低い項目から順に「バスなどの公共交通機関の整備」(-0.56)、「夜間や休日の医療体制」(-0.37)、「道路の整備」(-0.37)、「周辺市との広域的な連携の強化」(-0.30)、「健全な財政運営」(-0.30)などとなっている。

図表 18 分野別満足度平均値

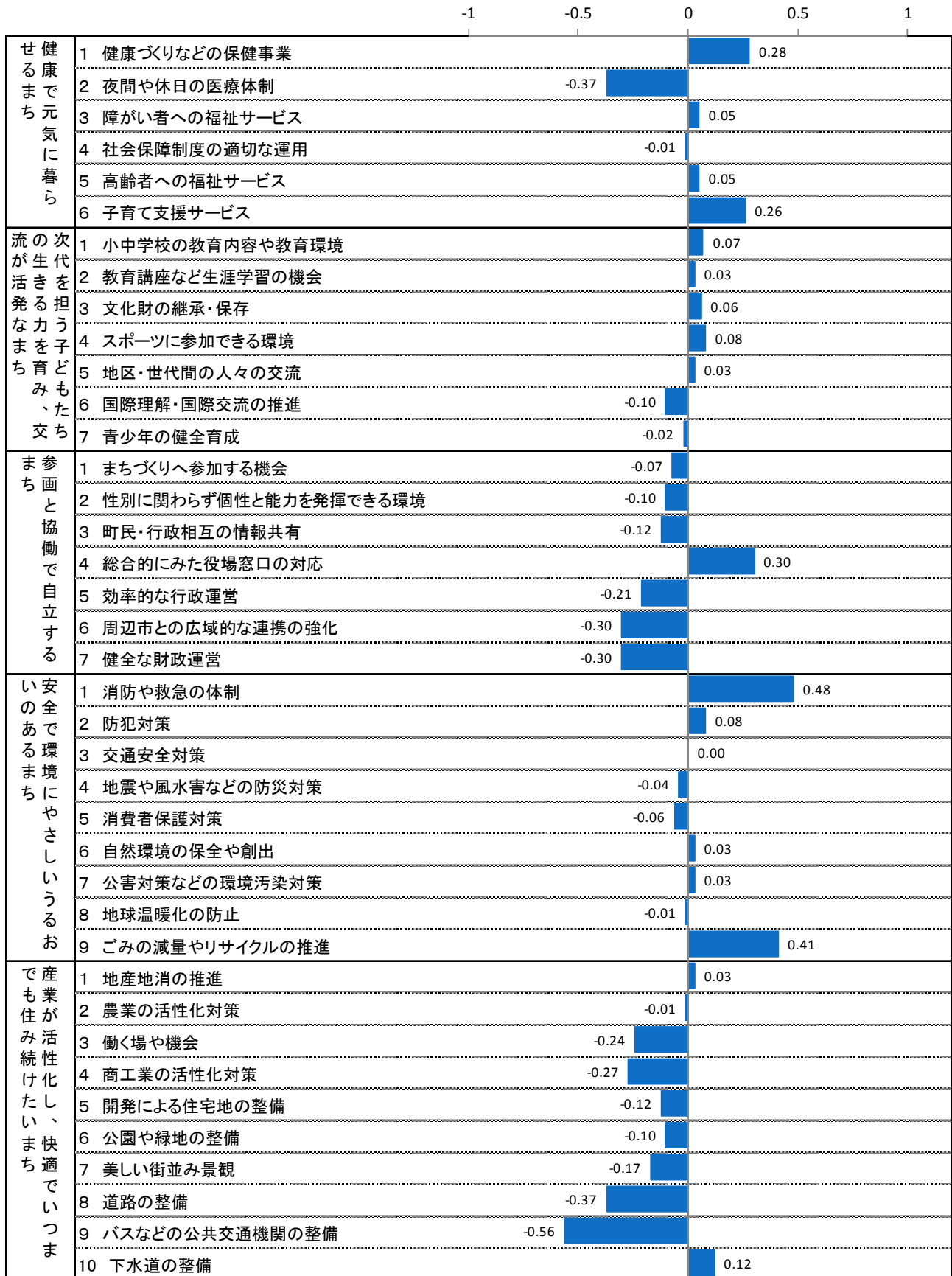
	全体	健康で元気に暮らせるまち	次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち	参画と協働で自立するまち	安全で環境にやさしいというおいのあるまち	産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち
満足度平均値	-0.03	0.04	0.02	-0.11	0.10	-0.17

満足度をみると、「満足している」（「満足」＋「やや満足」）人が最も多い項目は「ごみの減量やリサイクルの推進」で42.5%となっている。一方、「不満である」（「不満」＋「やや不満」）人が最も多い項目は「バスなどの公共交通機関の整備」で49.1%となっている。

図表 19 東郷町の取り組みについて具体的な満足度



図表 20 東郷町の取り組みについて具体的な満足度の評価点



(2) 分野別評価

○ 健康で元気に暮らせるまち

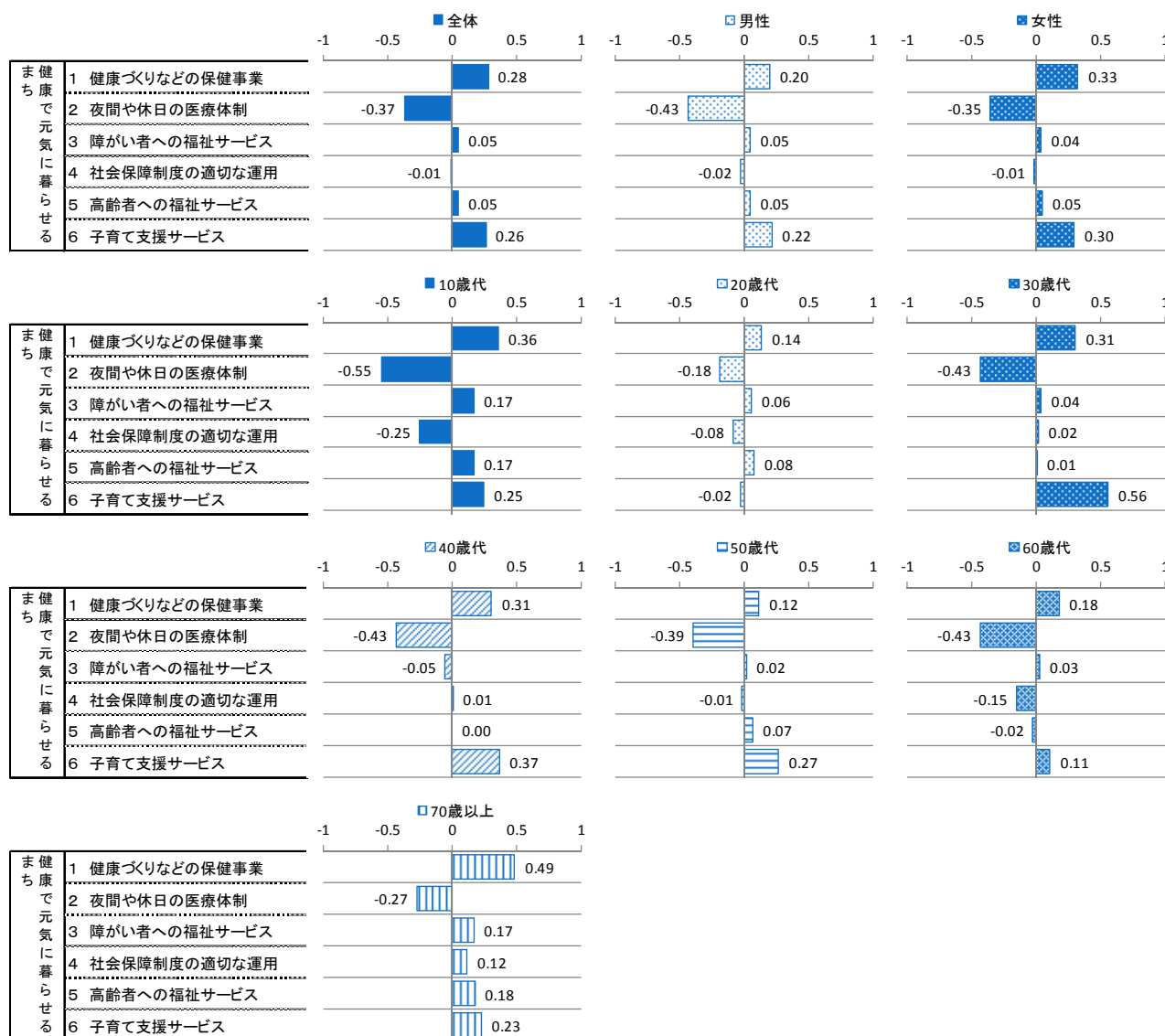
- ◆ 『健康で元気に暮らせるまち』では、「健康づくりなどの保健事業」や「子育て支援サービス」で高評価、「夜間や休日の医療体制」、「社会保障制度の適切な運用」はマイナス評価

『健康で元気に暮らせるまち』では、6項目のうちプラス評価が4項目、マイナス評価が2項目となっている。「健康づくりなどの保健事業」(0.28)や「子育て支援サービス」(0.26)で満足度が高くなっているのに対し、「夜間や休日の医療体制」(-0.37)と「社会保障制度の適切な運用」(-0.01)ではマイナス評価となっている。

性別でみると、「健康づくりなどの保健事業」は女性(0.33)が男性(0.20)よりも0.13ポイント高くなっている。

年齢別でみると、30歳代で「子育て支援サービス」(0.56)、70歳以上で「健康づくりなどの保健事業」(0.49)の満足度が高くなっている。また、他の年代に比べて10歳代で「夜間や休日の医療体制」(-0.55)の満足度が最も低くなっている。

図表 21 健康で元気に暮らせるまち (全体・性・年齢別)



○ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

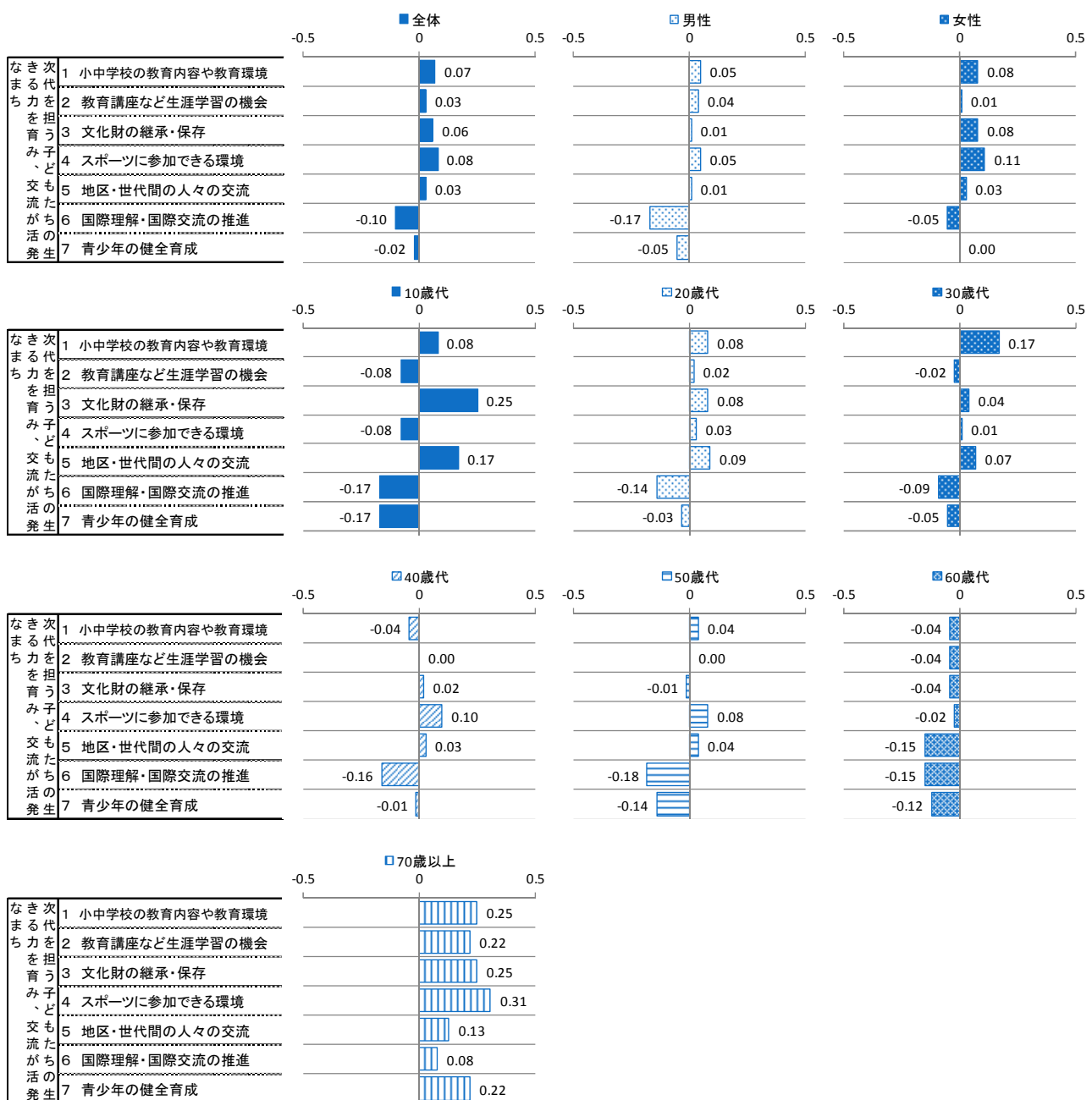
◆ 『次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち』では、「国際理解・国際交流の推進」、「青少年の健全育成」でマイナス評価

『次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち』では、7項目のうちプラス評価が5項目、マイナス評価が2項目となっている。「スポーツに参加できる環境」(0.08)や「小中学校の教育内容や教育環境」(0.07)などのプラス評価に対し、「国際理解・国際交流の推進」(-0.10)と「青少年の健全育成」(-0.02)ではマイナス評価となっている。

性別で見ると、「教育講座など生涯学習の機会」以外の項目は「女性」が「男性」よりも評価が高くなっている。

年齢別で見ると、70歳以上ですべての項目がプラス評価であるのに対し、60歳代ではすべての項目でマイナス評価となっている。

図表 22 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち（全体・性・年齢別）



○ 参画と協働で自立するまち

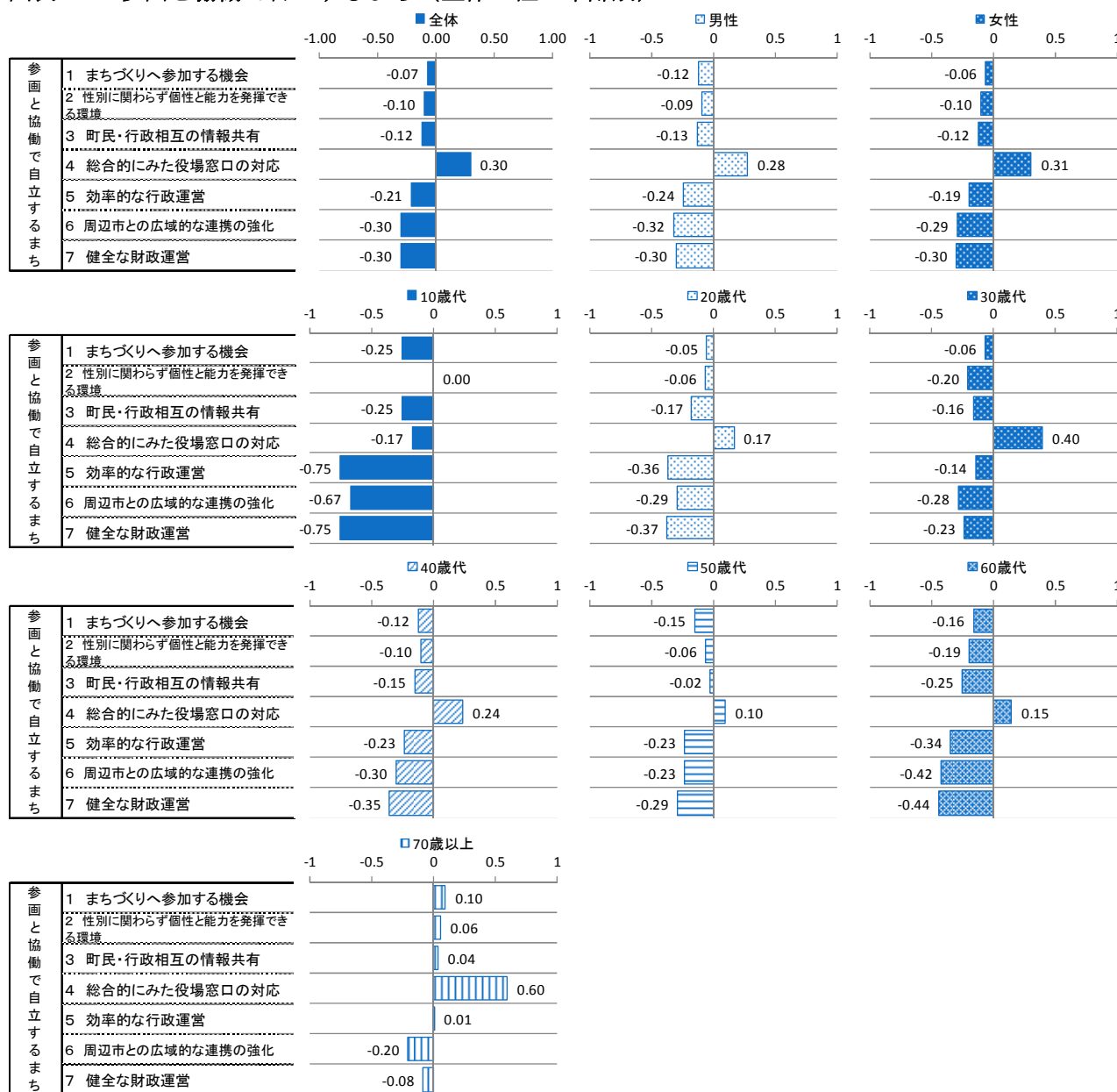
- ◆ 『参画と協働で自立するまち』では、「総合的にみた役場窓口の対応」でプラス評価、「周辺市と広域的な連携の強化」、「健全な財政運営」などはマイナス評価

『参画と協働で自立するまち』では、7項目のうちプラス評価が1項目、マイナス評価が6項目となっている。「総合的にみた役場窓口の対応」(0.30)のみプラス評価であるのに対し、「周辺市と広域的な連携の強化」や「健全な財政運営」(ともに-0.30)などではマイナス評価となっている。

性別でみると、性別による差はあまりみられない。

年齢別でみると、「総合的にみた役場窓口の対応」で70歳以上(0.60)が最も高く、マイナス評価である10歳代(-0.17)との差は0.77ポイントとなっている。また、10歳代では「効率的な行政運営」、「周辺市との広域的な連携の強化」、「健全な財政運営」がマイナス評価で特に低くなっている。

図表 23 参画と協働で自立するまち (全体・性・年齢別)



○ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

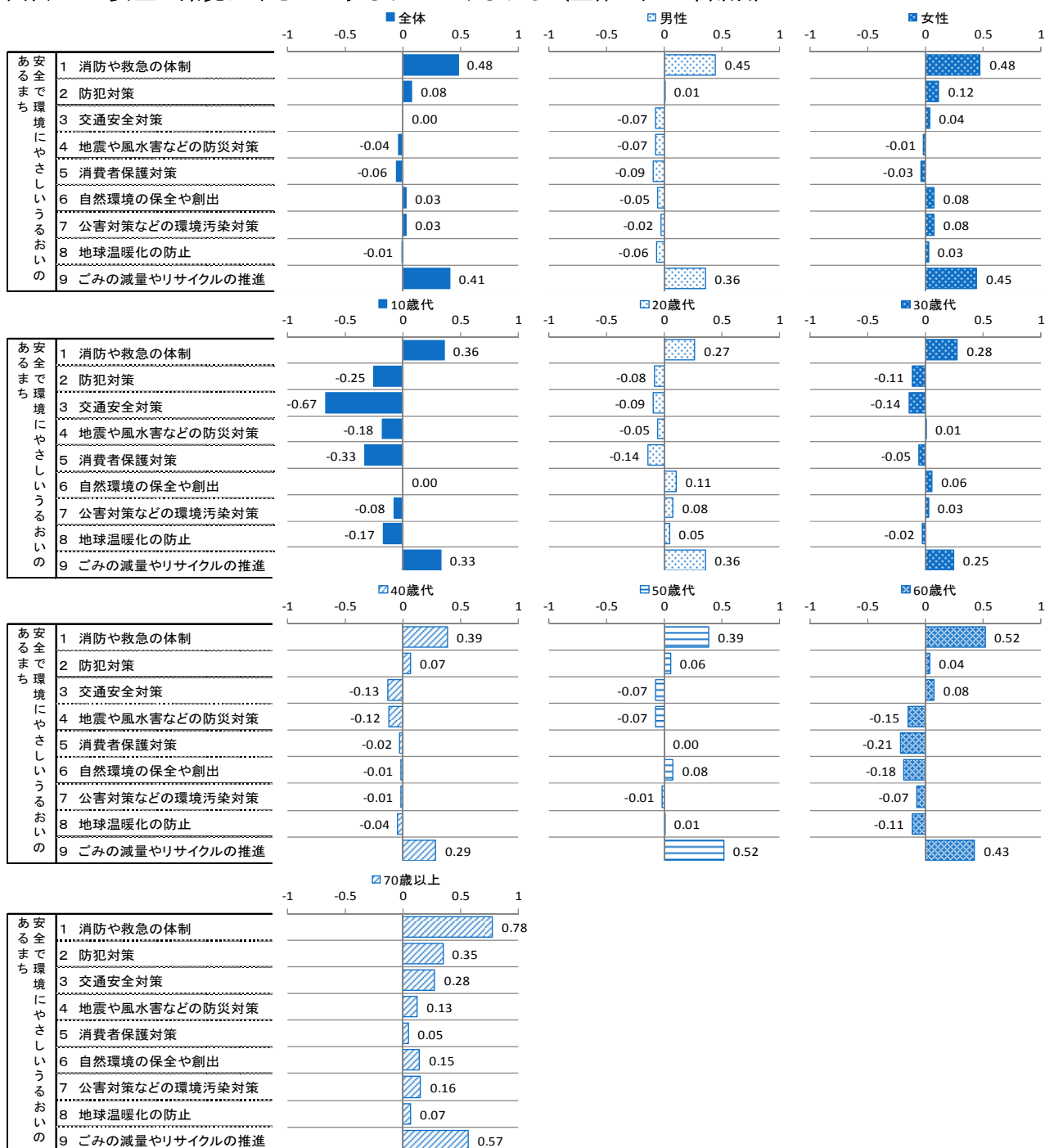
- ◆ 『安全で環境にやさしいうるおいのあるまち』では、「消防や救急の体制」や「ごみの減量やリサイクルの推進」で高評価、「消費者保護対策」、「地震や風水害などの防災対策」はマイナス評価

『安全で環境にやさしいうるおいのあるまち』では、9項目のうちプラス評価が5項目、マイナス評価が3項目となっている。「消防や救急の体制」(0.48)や「ごみの減量やリサイクルの推進」(0.41)で満足度が高くなっている。また、「消費者保護対策」(-0.06)と「地震や風水害などの防災対策」(-0.04)ではマイナス評価となっている。

性別でみると、プラス評価が女性は7項目であるのに対し、男性は3項目となっている。

年齢別でみると、すべての項目で70歳以上がプラス評価となっている。また、10歳代は評価が低く「交通安全対策」(-0.67)では最も低くなっている。

図表 24 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち (全体・性・年齢別)



○ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

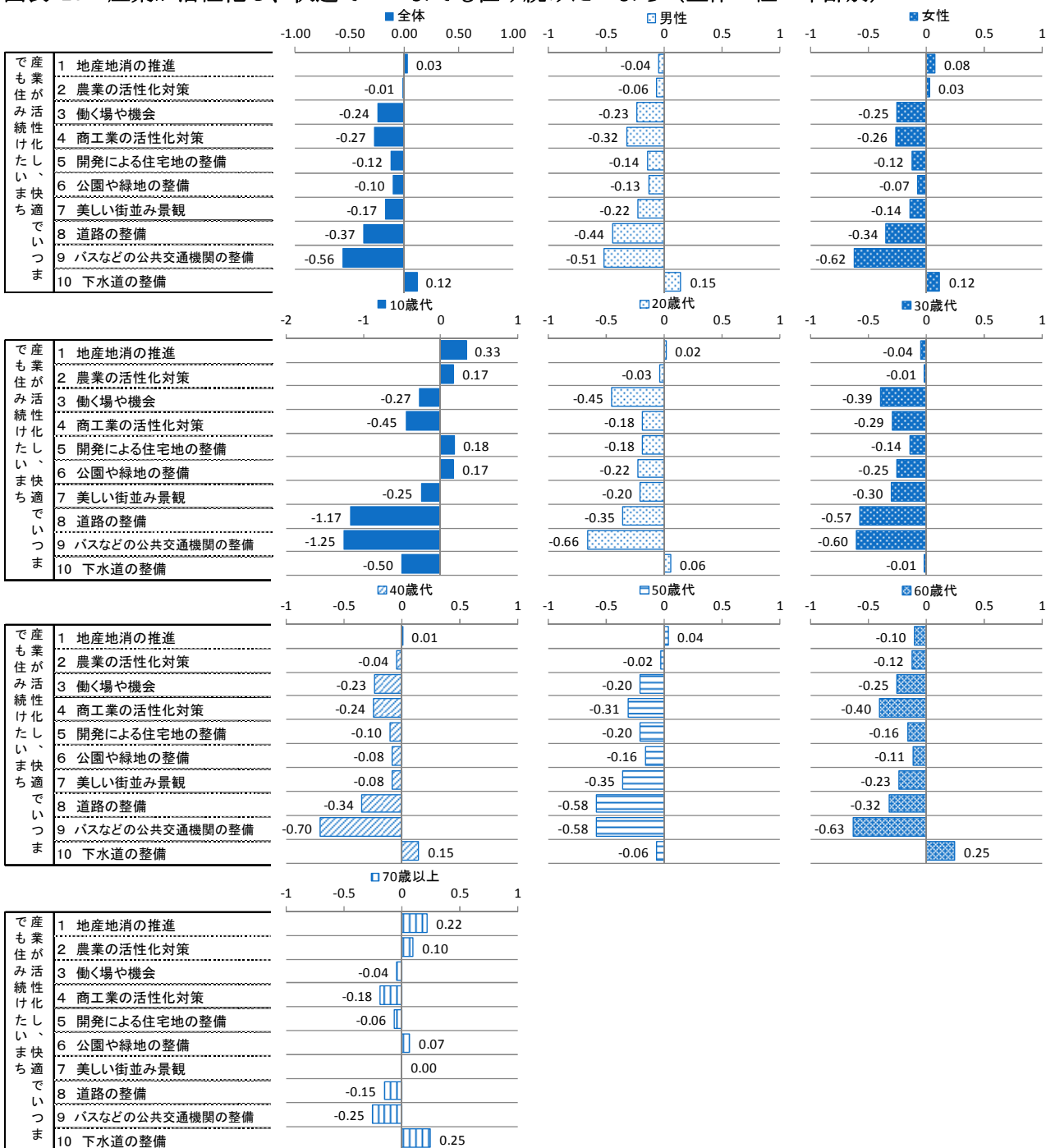
◆ 『産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち』では、「下水道の整備」、「地産地消の推進」でプラス評価、「バスなどの公共交通機関の整備」、「道路の整備」などはマイナス評価

『産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち』では、10項目のうちプラス評価が2項目、マイナス評価が8項目となっている。「下水道の整備」(0.12)、「地産地消の推進」(0.03)でプラス評価、「バスなどの公共交通機関の整備」(-0.56)、「道路の整備」(-0.37)などではマイナス評価となっている。

性別でみると、女性は「下水道の整備」、「地産地消の推進」、「農業の活性化対策」、男性は「下水道の整備」のみがプラス評価となっている。

年齢別でみると、すべての項目で30歳代がマイナス評価となっている。また、10歳代は評価が低く「バスなどの公共交通機関の整備」(-1.25)では最も低くなっている。

図表 25 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち (全体・性・年齢別)



○年齢別満足度評価点

満足度評価点を全体で年齢別に表した。各年代で最も満足度が低かった項目は網掛けとして示した。

「バスなどの公共交通機関の整備」については「10～60歳代」において最も低くなっている。また、「70歳代以上」では「夜間や休日の医療体制」において最も評価点が低くなっている。

図表 26 年齢別満足度評価点一覧

満足度		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康で元気に暮らせるまち	1 健康づくりなどの保健事業	0.36	0.14	0.31	0.31	0.12	0.18	0.49
	2 夜間や休日の医療体制	-0.55	-0.18	-0.43	-0.43	-0.39	-0.43	-0.27
	3 障がい者への福祉サービス	0.17	0.06	0.04	-0.05	0.02	0.03	0.17
	4 社会保障制度の適切な運用	-0.25	-0.08	0.02	0.01	-0.01	-0.15	0.12
	5 高齢者への福祉サービス	0.17	0.08	0.01	0.00	0.07	-0.02	0.18
	6 子育て支援サービス	0.25	-0.02	0.56	0.37	0.27	0.11	0.23
次世代を担う力を育み、交流が活発なまち	1 小中学校の教育内容や教育環境	0.08	0.08	0.17	-0.04	0.04	-0.04	0.25
	2 教育講座など生涯学習の機会	-0.08	0.02	-0.02	0.00	0.00	-0.04	0.22
	3 文化財の継承・保存	0.25	0.08	0.04	0.02	-0.01	-0.04	0.25
	4 スポーツに参加できる環境	-0.08	0.03	0.01	0.10	0.08	-0.02	0.31
	5 地区・世代間の人々の交流	0.17	0.09	0.07	0.03	0.04	-0.15	0.13
	6 国際理解・国際交流の推進	-0.17	-0.14	-0.09	-0.16	-0.18	-0.15	0.08
	7 青少年の健全育成	-0.17	-0.03	-0.05	-0.01	-0.14	-0.12	0.22
参加と協働で自立するまち	1 まちづくりへ参加する機会	-0.25	-0.05	-0.06	-0.12	-0.15	-0.16	0.10
	2 性別に関わらず個性と能力を発揮できる環境	0.00	-0.06	-0.20	-0.10	-0.06	-0.19	0.06
	3 町民・行政相互の情報共有	-0.25	-0.17	-0.16	-0.15	-0.02	-0.25	0.04
	4 総合的にみた役場窓口の対応	-0.17	0.17	0.40	0.24	0.10	0.15	0.60
	5 効率的な行政運営	-0.75	-0.36	-0.14	-0.23	-0.23	-0.34	0.01
	6 周辺市との広域的な連携の強化	-0.67	-0.29	-0.28	-0.30	-0.23	-0.42	-0.20
	7 健全な財政運営	-0.75	-0.37	-0.23	-0.35	-0.29	-0.44	-0.08
安全で環境にやさしいうるおいのあるまち	1 消防や救急の体制	0.36	0.27	0.28	0.39	0.39	0.52	0.78
	2 防犯対策	-0.25	-0.08	-0.11	0.07	0.06	0.04	0.35
	3 交通安全対策	-0.67	-0.09	-0.14	-0.13	-0.07	0.08	0.28
	4 地震や風水害などの防災対策	-0.18	-0.05	0.01	-0.12	-0.07	-0.15	0.13
	5 消費者保護対策	-0.33	-0.14	-0.05	-0.02	0.00	-0.21	0.05
	6 自然環境の保全や創出	0.00	0.11	0.06	-0.01	0.08	-0.18	0.15
	7 公害対策などの環境汚染対策	-0.08	0.08	0.03	-0.01	-0.01	-0.07	0.16
	8 地球温暖化の防止	-0.17	0.05	-0.02	-0.04	0.01	-0.11	0.07
	9 ごみの減量やリサイクルの推進	0.33	0.36	0.25	0.29	0.52	0.43	0.57
産業が活性化し、快適で住み続けたいまち	1 地産地消の推進	0.33	0.02	-0.04	0.01	0.04	-0.10	0.22
	2 農業の活性化対策	0.17	-0.03	-0.01	-0.04	-0.02	-0.12	0.10
	3 働く場や機会	-0.27	-0.45	-0.39	-0.23	-0.20	-0.25	-0.04
	4 商工業の活性化対策	-0.45	-0.18	-0.29	-0.24	-0.31	-0.40	-0.18
	5 開発による住宅地の整備	0.18	-0.18	-0.14	-0.10	-0.20	-0.16	-0.06
	6 公園や緑地の整備	0.17	-0.22	-0.25	-0.08	-0.16	-0.11	0.07
	7 美しい街並み景観	-0.25	-0.20	-0.30	-0.08	-0.35	-0.23	0.00
	8 道路の整備	-1.17	-0.35	-0.57	-0.34	-0.58	-0.32	-0.15
	9 バスなどの公共交通機関の整備	-1.25	-0.66	-0.60	-0.70	-0.58	-0.63	-0.25
	10 下水道の整備	-0.50	0.06	-0.01	0.15	-0.06	0.25	0.25

2-2 重要度

(1) 全体評価

東郷町の取り組みに対する重要度について、「健康で元気に暮らせるまち」、「次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち」、「参画と協働で自立するまち」、「安全で環境にやさしいうるおいのあるまち」、「産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち」の5分野39項目に対して、「重要」を+2点、「やや重要」を+1点、「あまり重要でない」を-1点、「重要でない」を-2点、「どちらでもない」を0点として項目ごとに評価点を算出した。その結果、東郷町全体では、東郷町の取り組みに対する重要度の平均値は0.89となっている。

◆ 重要度の評価が1.00以上の項目が11項目、1.00未満の項目が28項目。

分野別にみると、「安全で環境にやさしいうるおいのあるまち」(1.06)、「健康で元気に暮らせるまち」(1.02)で重要度が高くなっている。

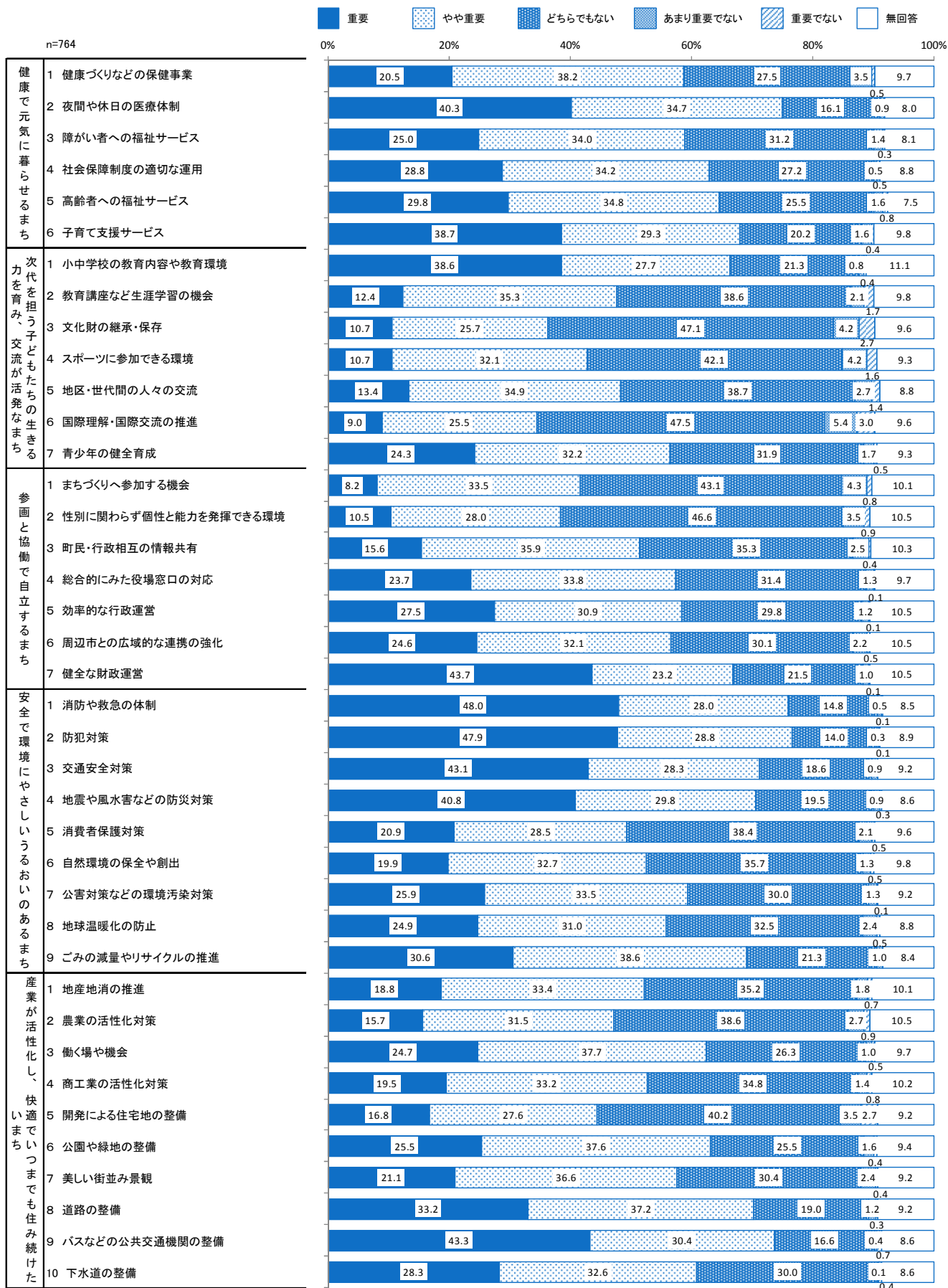
項目別にみると、「防犯対策」(1.36)、「消防や救急の体制」(1.35)、「バスなどの公共交通機関の整備」(1.26)、「交通安全対策」(1.25)、「夜間や休日の医療体制」(1.24)の順となっており、上位5項目のうち3項目で「安全で環境にやさしいうるおいのあるまち」の項目となっているため、この分野の重要度は高い。

図表 27 分野別重要度平均値

	全体	健康で元気に暮らせるまち	次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち	参画と協働で自立するまち	安全で環境にやさしいうるおいのあるまち	産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち
重要度平均値	0.89	1.02	0.65	0.80	1.06	0.88

重要度をみると、「重要である」（「重要」＋「やや重要」）と回答した人が最も多い項目は「防犯対策」で76.7%と8割弱を占めている。次いで、「消防や救急の体制」（76.0%）、「夜間や休日の医療体制」（75.0%）の順となっている。

図表 28 東郷町の取り組みの重要度



図表 29 東郷町の取り組みの重要度の評価点

		0	0.5	1	1.5	2
せ 健 康 ま で 元 氣 に 暮 ら	1 健康づくりなどの保健事業	0.83				
	2 夜間や休日の医療体制	1.24				
	3 障がい者への福祉サービス	0.89				
	4 社会保障制度の適切な運用	0.99				
	5 高齢者への福祉サービス	0.99				
	6 子育て支援サービス	1.16				
流 の 次 代 を 担 う ま ま を 子 ど も 、 た ち	1 小中学校の教育内容や教育環境	1.16				
	2 教育講座など生涯学習の機会	0.61				
	3 文化財の継承・保存	0.41				
	4 スポーツに参加できる環境	0.51				
	5 地区・世代間の人々の交流	0.61				
	6 国際理解・国際交流の推進	0.36				
	7 青少年の健全育成	0.86				
ま 参 画 と 協 働 で 自 立 す る	1 まちづくりへ参加する機会	0.49				
	2 性別に関わらず個性と能力を発揮できる環境	0.49				
	3 町民・行政相互の情報共有	0.71				
	4 総合的にみた役場窓口の対応	0.88				
	5 効率的な行政運営	0.94				
	6 周辺市との広域的な連携の強化	0.87				
	7 健全な財政運営	1.22				
い 安 全 あ る 環 境 に や さ し い う る お	1 消防や救急の体制	1.35				
	2 防犯対策	1.36				
	3 交通安全対策	1.25				
	4 地震や風水害などの防災対策	1.20				
	5 消費者保護対策	0.74				
	6 自然環境の保全や創出	0.78				
	7 公害対策などの環境汚染対策	0.92				
	8 地球温暖化の防止	0.85				
	9 ごみの減量やリサイクルの推進	1.08				
で 産 業 住 が 活 性 化 し 、 快 適 で い つ ま	1 地産地消の推進	0.76				
	2 農業の活性化対策	0.65				
	3 働く場や機会	0.94				
	4 商工業の活性化対策	0.77				
	5 開発による住宅地の整備	0.57				
	6 公園や緑地の整備	0.95				
	7 美しい街並み景観	0.83				
	8 道路の整備	1.12				
	9 バスなどの公共交通機関の整備	1.26				
	10 下水道の整備	0.97				

(2) 分野別評価

○ 健康で元気に暮らせるまち

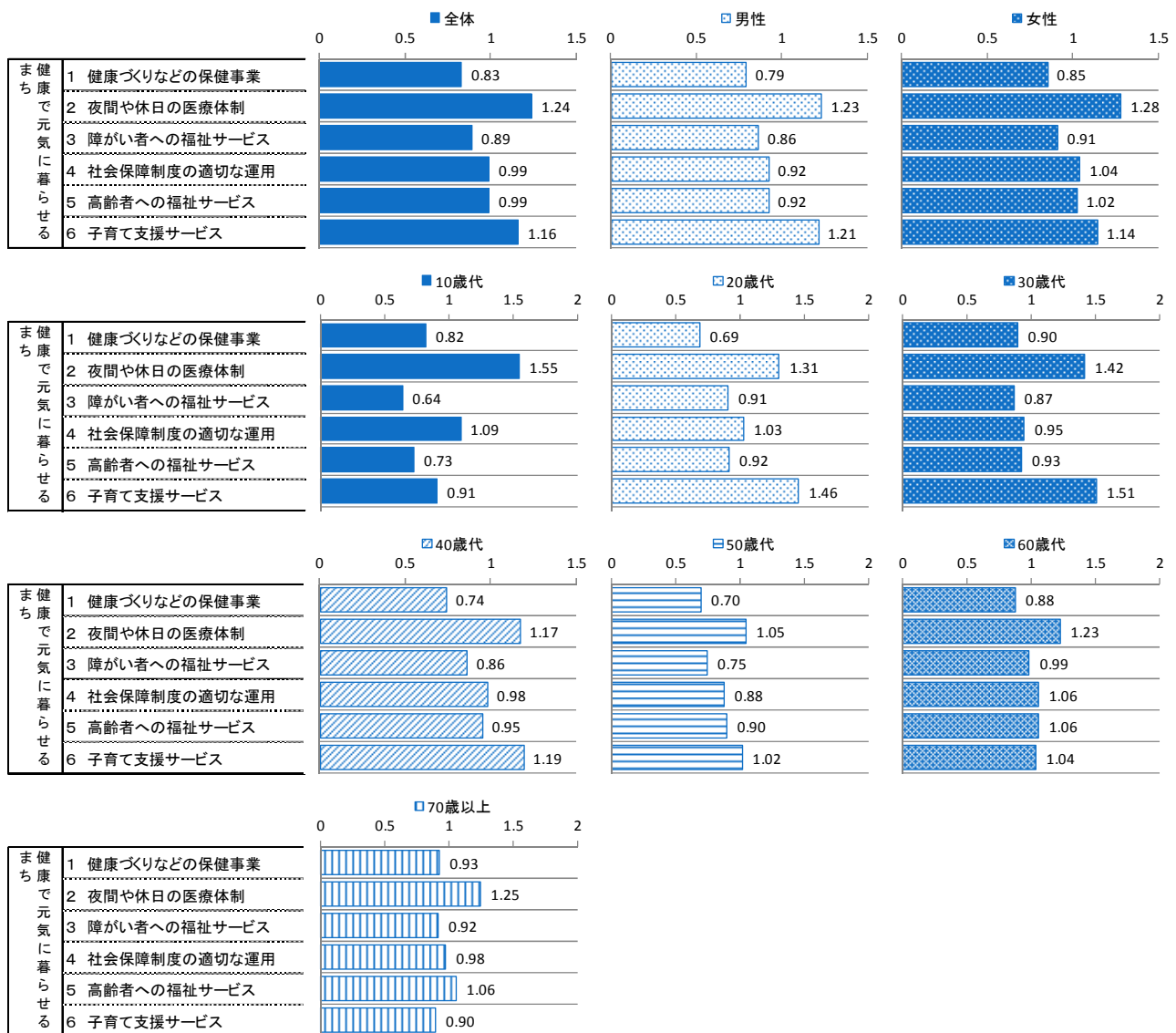
- ◆ 『健康で元気に暮らせるまち』で重要度が高い項目は、「夜間や休日の医療体制」や「子育て支援サービス」

『健康で元気に暮らせるまち』では、「夜間や休日の医療体制」(1.24)、「子育て支援サービス」(1.16)で1.00以上と重要度が高くなっている。

性別でみると、「子育て支援サービス」以外の5項目で「男性」よりも「女性」の重要度が高く、最も差がある項目は「社会保障制度の適切な運用」で0.12ポイント差となっている。

年齢別でみると、「子育て支援サービス」で70歳以上(0.90)と30歳代(1.51)で最も差があり0.61ポイント差となっている。

図表 30 健康で元気に暮らせるまち (全体・性・年齢別)



○ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

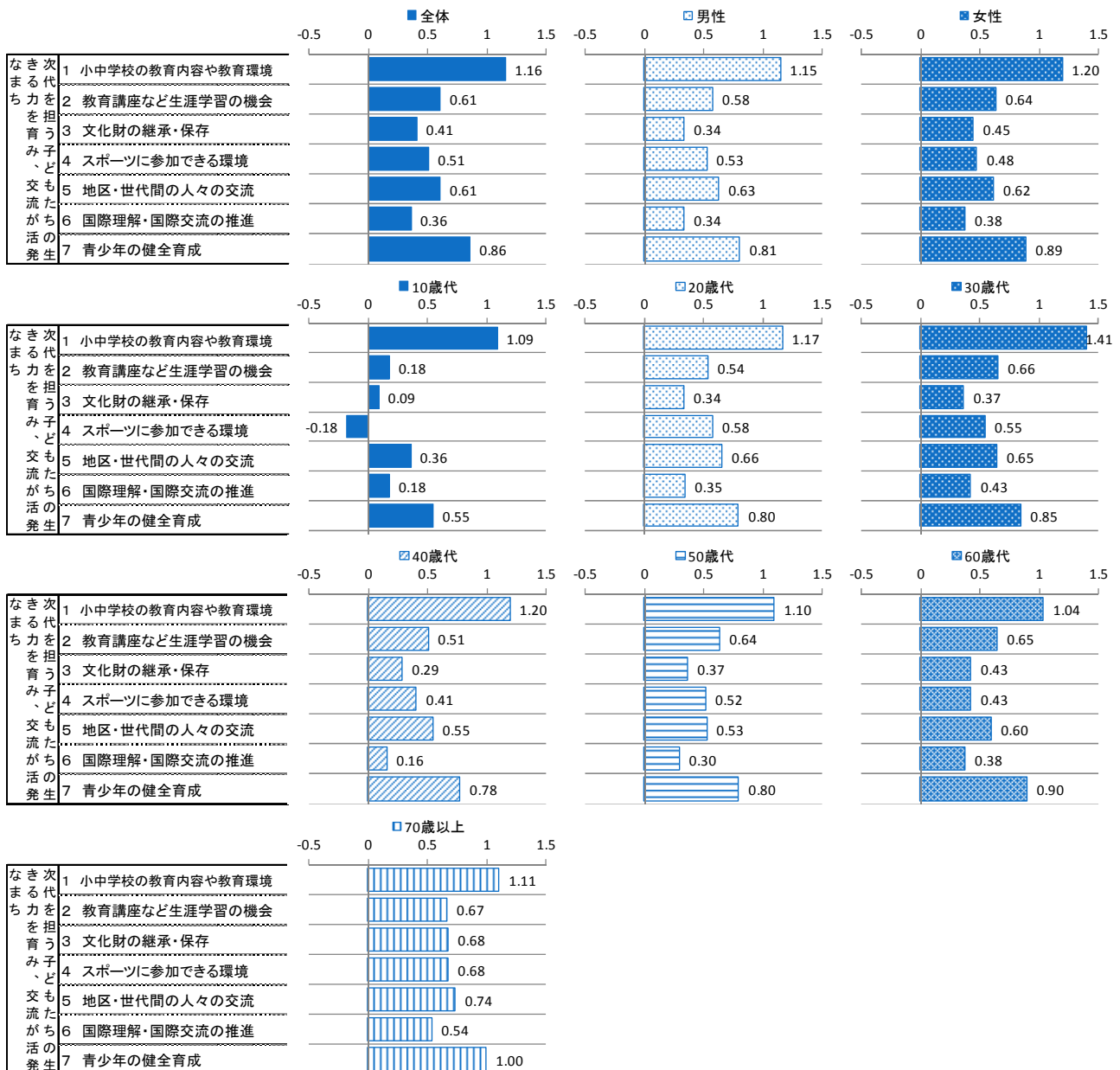
◆ 『次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち』で重要度が高い項目は、「小中学校の教育内容や教育環境」や「青少年の健全育成」

『次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち』では、「小中学校の教育内容や教育環境」(1.16)が最も重要度が高く、「青少年の健全育成」(0.86)、「教育講座など生涯学習の機会」(0.61)、「地区・世代間の人々の交流」(0.61)と続いている。

性別でみると、性別による大きな差はみられない。

年齢別でみると、「スポーツに参加できる環境」で10歳代(-0.18)のみマイナス評価であり重要性を感じていないが、最も重要度が高い70歳以上(0.68)との差は0.86ポイントとその差は大きくなっている。

図表 31 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち (全体・性・年齢別)



○ 参画と協働で自立するまち

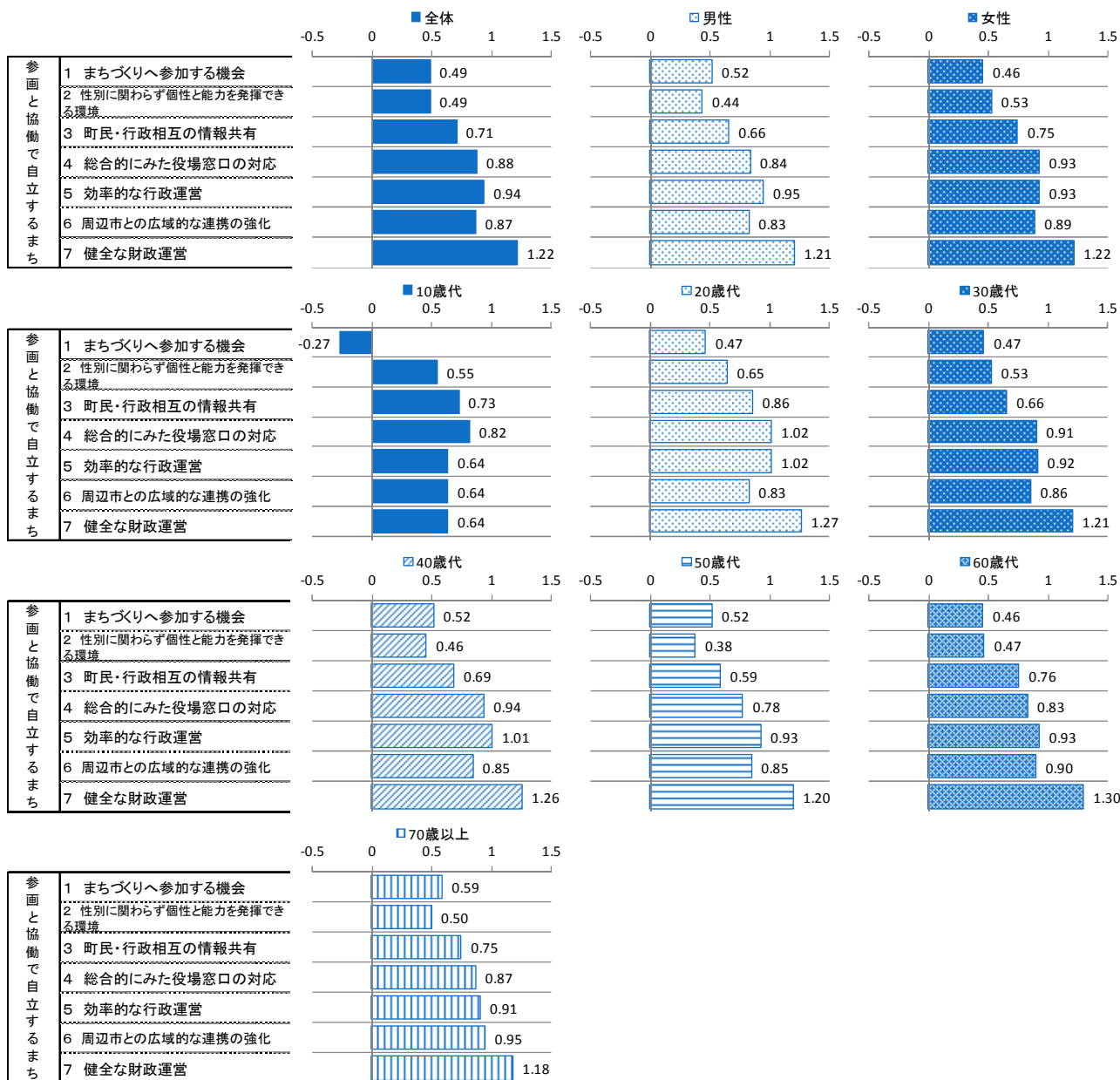
◆ 『参画と協働で自立するまち』で重要度が高い項目は、「健全な財政運営」や「効率的な行政運営」

『参画と協働で自立するまち』では、「健全な財政運営」(1.22)が最も重要度が高く、「効率的な行政運営」(0.94)、「総合的にみた役場窓口の対応」(0.88)、「周辺市との広域的な連携の強化」(0.87)と続いている。

性別でみると、性別による大きな差はみられない。

年齢別でみると、「まちづくりへ参加する機会」で10歳代(-0.27)のみマイナス評価であり重要性を感じていないが、最も重要度が高い70歳以上(0.59)との差は0.86ポイントとその差は大きくなっている。

図表 32 参画と協働で自立するまち (全体・性・年齢別)



○ 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

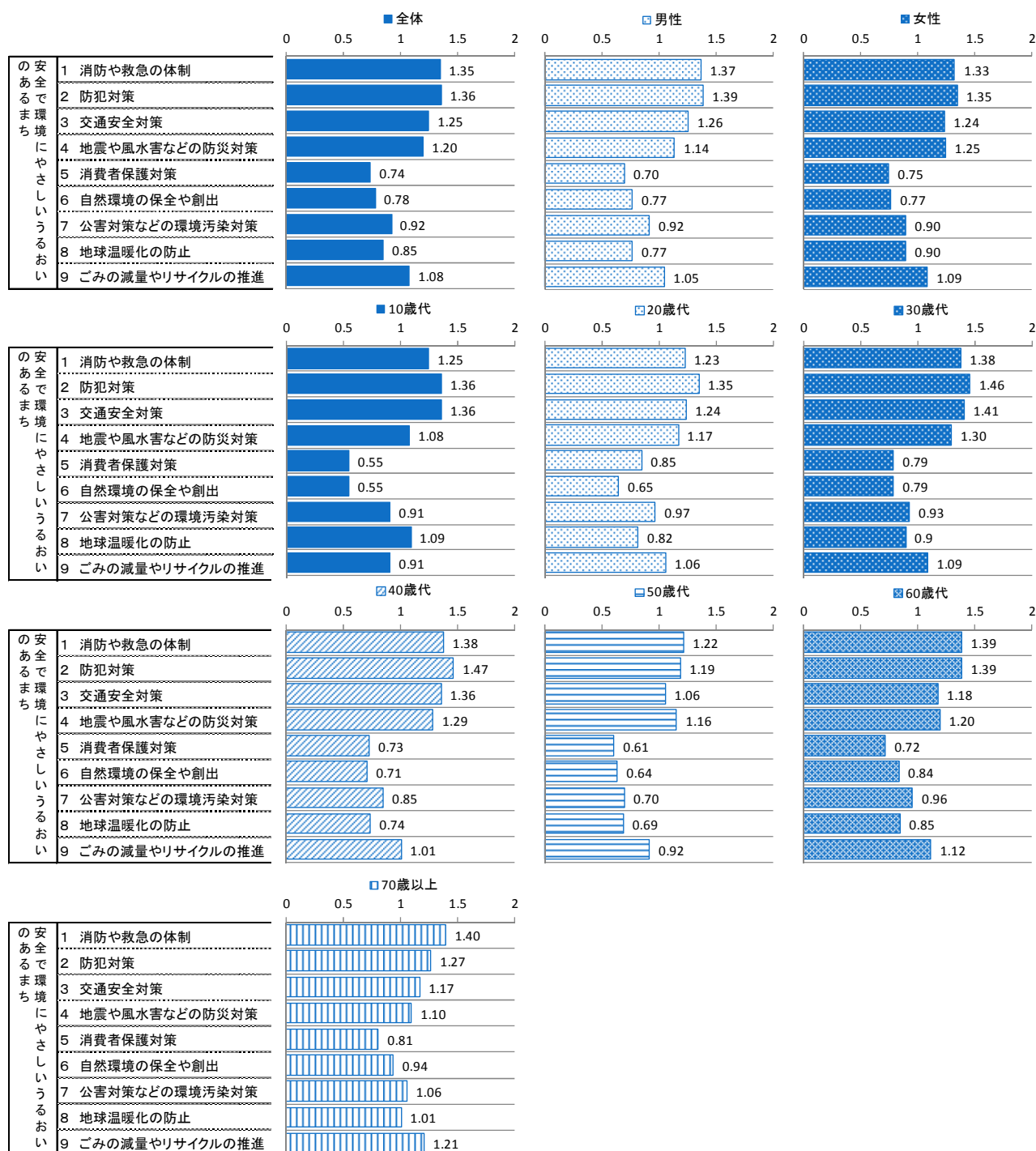
◆ 『安全で環境にやさしいうるおいのあるまち』で重要度が高い項目は、「防犯対策」や「消防や救急の体制」

『安全で環境にやさしいうるおいのあるまち』では、「防犯対策」(1.36)、「消防や救急の体制」(1.35)、「交通安全対策」(1.25)、「地震や風水害などの防災対策」(1.20)で1.00以上と重要度が高くなっている。

性別でみると、性別による大きな差はみられない。

年齢別でみると、「消費者保護対策」、「自然環境の保全や創出」で他の年代よりも10歳代の重要度が低くなっている。

図表 33 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち (全体・性・年齢別)



○ 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

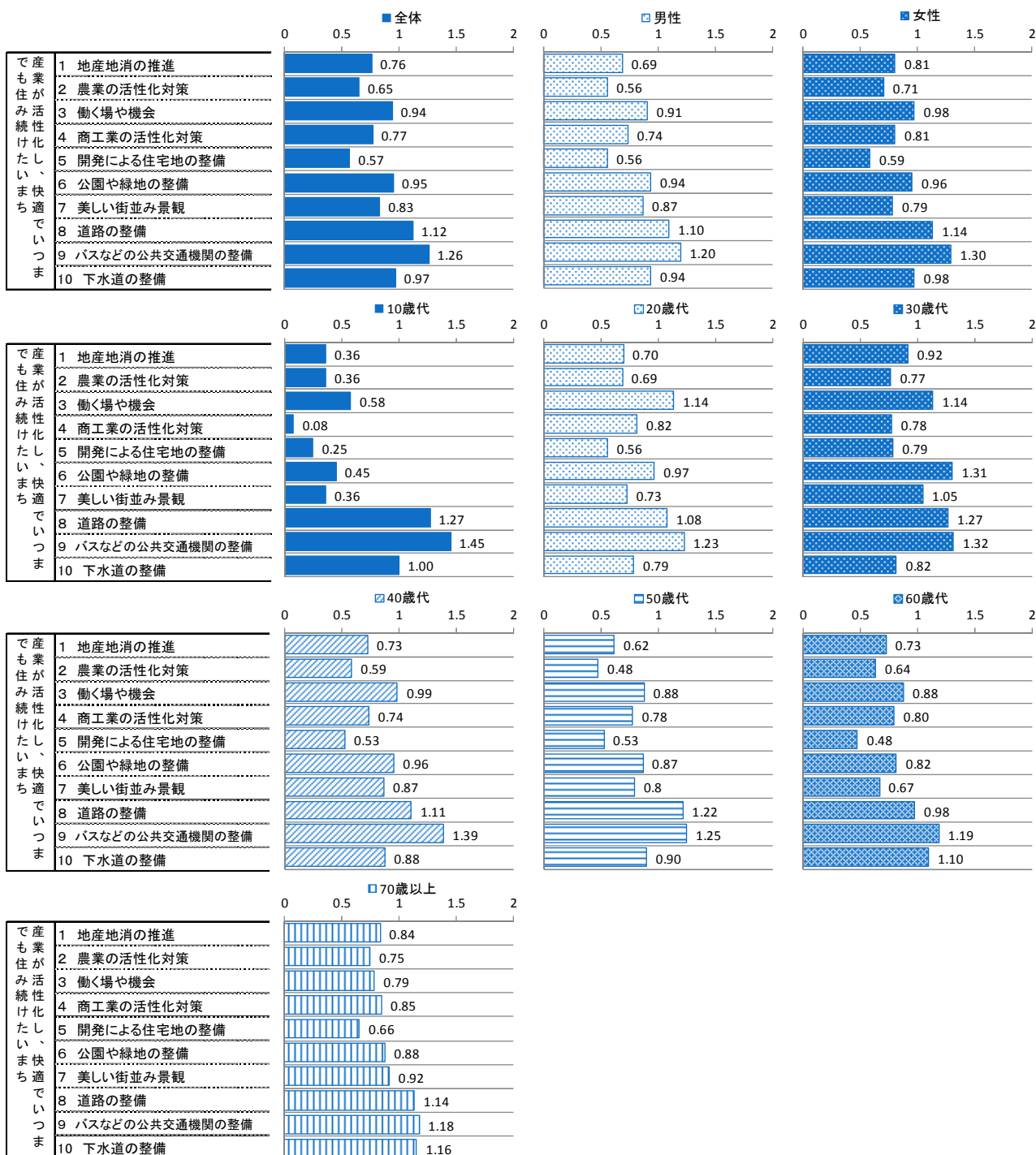
◆ 『産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち』で重要度が高い項目は、「バスなどの公共交通機関の整備」や「道路の整備」

『産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち』では、「バスなどの公共交通機関の整備」(1.26)と「道路の整備」(1.12)で1.00以上と重要度が高くなっている。

性別でみると、「美しい街並み景観」以外の9項目で「男性」よりも「女性」の重要度が高く、最も差がある項目は「農業の活性化対策」で0.15ポイント差となっている。

年齢別でみると、「バスなどの公共交通機関の整備」で他の年代よりも10歳代の重要度が高くなっている。

図表 34 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち（全体・性別）



○年齢別重要度評価点

重要度評価点を全体で年齢別に表した。各年代で最も重要度が高かった項目は網掛けとして示した。

10歳代では「夜間や休日の医療体制」(1.55)、20歳代、30歳代では「子育て支援サービス」(それぞれ1.46、1.51)、40歳代では「防犯対策」(1.47)、50歳代では「バスなどの公共交通機関の整備」(1.25)、60歳代では「消防や救急の体制」「防犯対策」(ともに1.39)、70歳代以上では「消防や救急の体制」(1.40)において最も評価点が高くなっている。

図表 35 年齢別重要度評価点一覧

重要度		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康で元気に暮らせるまち	1 健康づくりなどの保健事業	0.82	0.69	0.90	0.74	0.70	0.88	0.93
	2 夜間や休日の医療体制	1.55	1.31	1.42	1.17	1.05	1.23	1.25
	3 障がい者への福祉サービス	0.64	0.91	0.87	0.86	0.75	0.99	0.92
	4 社会保障制度の適切な運用	1.09	1.03	0.95	0.98	0.88	1.06	0.98
	5 高齢者への福祉サービス	0.73	0.92	0.93	0.95	0.90	1.06	1.06
	6 子育て支援サービス	0.91	1.46	1.51	1.19	1.02	1.04	0.90
次世代を担う力を育み、子どもたちが交流するまち	1 小中学校の教育内容や教育環境	1.09	1.17	1.41	1.20	1.10	1.04	1.11
	2 教育講座など生涯学習の機会	0.18	0.54	0.66	0.51	0.64	0.65	0.67
	3 文化財の継承・保存	0.09	0.34	0.37	0.29	0.37	0.43	0.68
	4 スポーツに参加できる環境	-0.18	0.58	0.55	0.41	0.52	0.43	0.68
	5 地区・世代間の人々の交流	0.36	0.66	0.65	0.55	0.53	0.60	0.74
	6 国際理解・国際交流の推進	0.18	0.35	0.43	0.16	0.30	0.38	0.54
	7 青少年の健全育成	0.55	0.80	0.85	0.78	0.80	0.90	1.00
参画と協働で自立するまち	1 まちづくりへ参加する機会	-0.27	0.47	0.47	0.52	0.52	0.46	0.59
	2 性別に関わらず個性と能力を発揮できる環境	0.55	0.65	0.53	0.46	0.38	0.47	0.50
	3 町民・行政相互の情報共有	0.73	0.86	0.66	0.69	0.59	0.76	0.75
	4 総合的にみた役場窓口の対応	0.82	1.02	0.91	0.94	0.78	0.83	0.87
	5 効率的な行政運営	0.64	1.02	0.92	1.01	0.93	0.93	0.91
	6 周辺市との広域的な連携の強化	0.64	0.83	0.86	0.85	0.85	0.90	0.95
	7 健全な財政運営	0.64	1.27	1.21	1.26	1.20	1.30	1.18
安全で環境にやさしい暮らし	1 消防や救急の体制	1.25	1.23	1.38	1.38	1.22	1.39	1.40
	2 防犯対策	1.36	1.35	1.46	1.47	1.19	1.39	1.27
	3 交通安全対策	1.36	1.24	1.41	1.36	1.06	1.18	1.17
	4 地震や風水害などの防災対策	1.08	1.17	1.30	1.29	1.16	1.20	1.10
	5 消費者保護対策	0.55	0.85	0.79	0.73	0.61	0.72	0.81
	6 自然環境の保全や創出	0.55	0.65	0.79	0.71	0.64	0.84	0.94
	7 公害対策などの環境汚染対策	0.91	0.97	0.93	0.85	0.70	0.96	1.06
	8 地球温暖化の防止	1.09	0.82	0.90	0.74	0.69	0.85	1.01
	9 ごみの減量やリサイクルの推進	0.91	1.06	1.09	1.01	0.92	1.12	1.21
産業が活性化し、快適なまち	1 地産地消の推進	0.36	0.70	0.92	0.73	0.62	0.73	0.84
	2 農業の活性化対策	0.36	0.69	0.77	0.59	0.48	0.64	0.75
	3 働く場や機会	0.58	1.14	1.14	0.99	0.88	0.88	0.79
	4 商工業の活性化対策	0.08	0.82	0.78	0.74	0.78	0.80	0.85
	5 開発による住宅地の整備	0.25	0.56	0.79	0.53	0.53	0.48	0.66
	6 公園や緑地の整備	0.45	0.97	1.31	0.96	0.87	0.82	0.88
	7 美しい街並み景観	0.36	0.73	1.05	0.87	0.80	0.67	0.92
	8 道路の整備	1.27	1.08	1.27	1.11	1.22	0.98	1.14
	9 バスなどの公共交通機関の整備	1.45	1.23	1.32	1.39	1.25	1.19	1.18
	10 下水道の整備	1.00	0.79	0.82	0.88	0.90	1.10	1.16

2-3 満足度と重要度の評価

(1) 全体評価

問3の各項目に関して、満足度と重要度の認識の差（優先度）について評価するため、以下の手順で数値を算出した。重要度が高く、満足度が低いほど優先度の数値の差が高くなる結果となる。

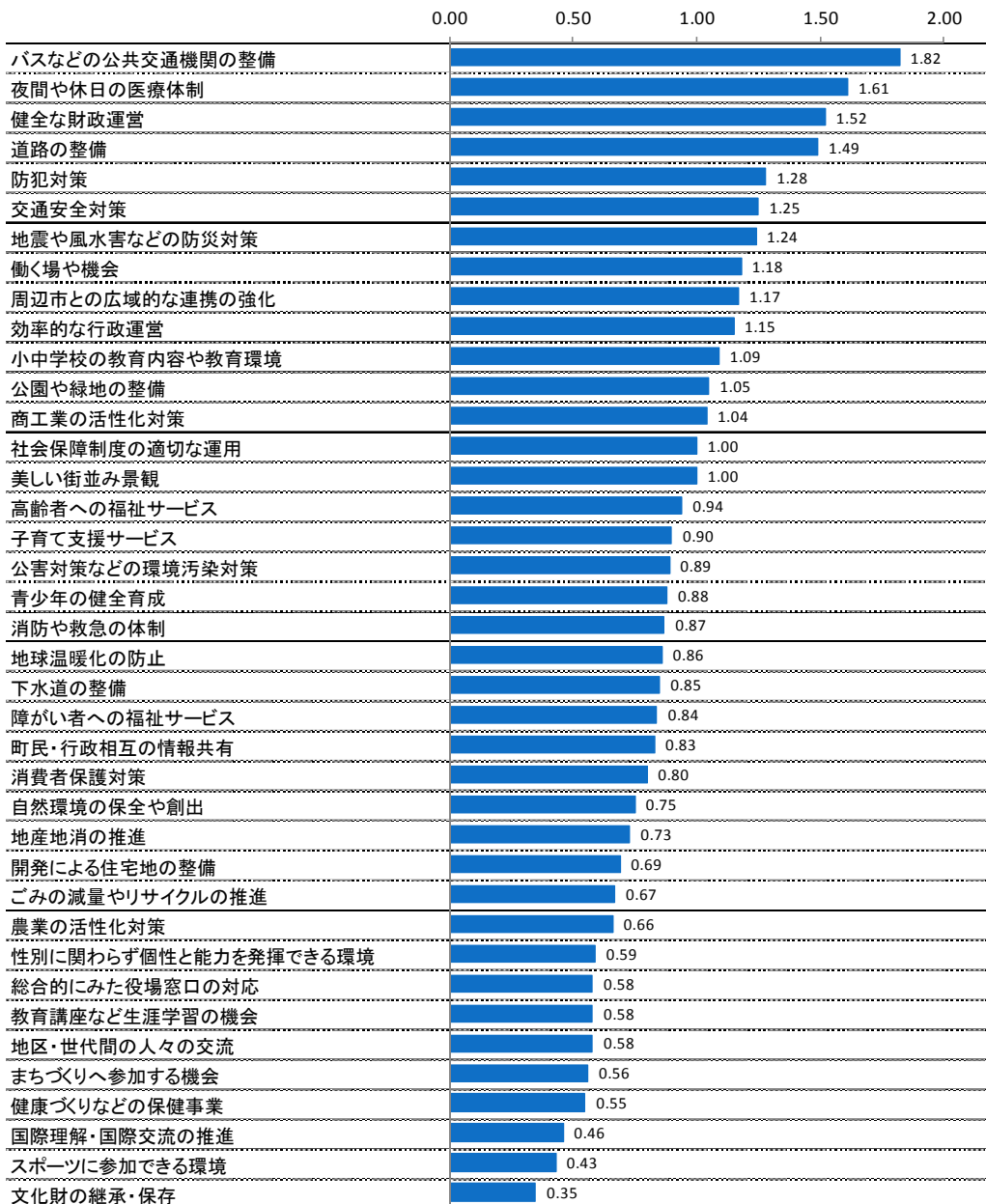
$$\boxed{\text{重要度評価点}} - \boxed{\text{満足度評価点}} = \boxed{\text{満足度と重要度の認識の差（優先度）}}$$

◆ 「バスなどの公共交通機関の整備」、「夜間や休日の医療体制」などで優先度が高い。

東郷町の取り組みについて具体的に現在の満足度の評価点と重要度の評価点を「健康で元気に暮らせるまち」、「次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち」、「参画と協働で自立するまち」、「安全で環境にやさしいというおいのあるまち」、「産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち」の5分野39項目について算出した。

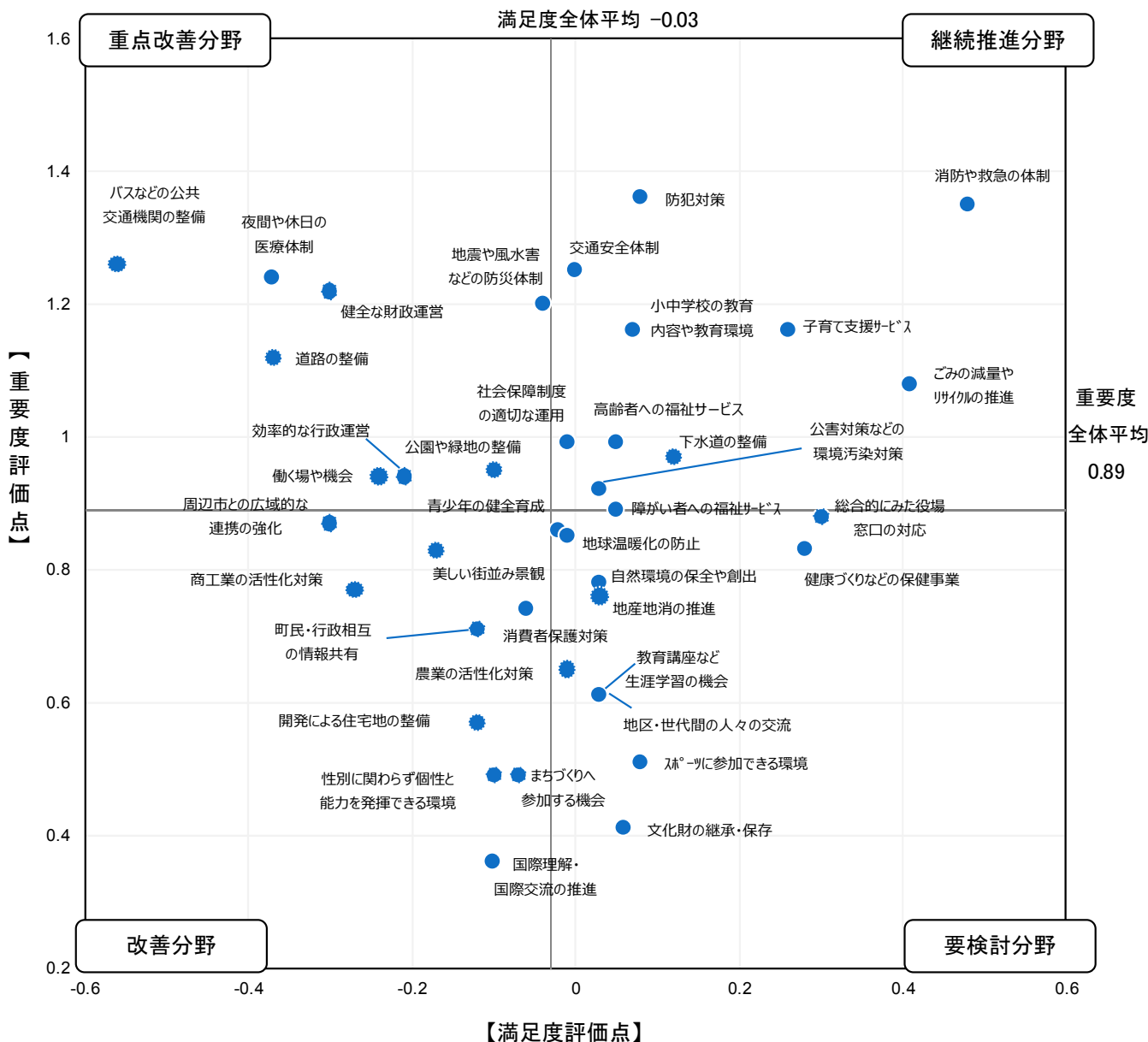
取り組みの強化が望まれている優先度の高い項目は、「バスなどの公共交通機関の整備」(1.82)、「夜間や休日の医療体制」(1.61)、「健全な財政運営」(1.52)、「道路の整備」(1.49)、「防犯対策」(1.28)などとなっている。

図表 36 満足・重要・優先度5項目



点数化した結果を下図の散布図に示す。座標上に表した。横軸が満足度、縦軸が重要度となっており、大きく4種類に分類した。それぞれの平均値は、満足度が-0.03、重要度が0.89となっている。

図表 37 満足度評価点と重要度評価点の散布図



<p>【継続推進分野】 満足度も重要度も高い施策の方向性</p>	<p>住民ニーズは大きいのが、ほぼそれに見合った行政サービスが提供されており、今後とも現在の水準を維持していく。</p>
<p>【要検討分野】 満足度が高く、重要度が低い施策の方向性</p>	<p>住民ニーズはそれほど大きくないが、行政サービスは十分に提供されている。今後は、住民ニーズの動向に注視しながら、施策の力の入れ方の増減を図る必要がある。</p>
<p>【重点改善分野】 満足度が低く、重要度が高い施策の方向性</p>	<p>住民ニーズは大きいのが、行政サービスがそれに追いついていない。今後は重点的に資源を投入していく必要がある。</p>
<p>【改善分野】 満足度も重要度も低い施策の方向性</p>	<p>住民ニーズはそれほど大きくなく、満足度も低い。今後は施策の方向性や必要性、また、行政自らサービスすべきか、企業、地域、個人がすべきかなど、その役割分担について検討する必要がある。</p>

前頁散布図の項目全ての満足度評価点、および重要度評価点は以下の表の通りである。

図表 38 満足度と重要度の評価点表

分類	項目	満足度評価点	重要度評価点
健康で元気に暮らせるまち	1 健康づくりなどの保健事業	0.28	0.83
	2 夜間や休日の医療体制	-0.37	1.24
	3 障がい者への福祉サービス	0.05	0.89
	4 社会保障制度の適切な運用	-0.01	0.99
	5 高齢者への福祉サービス	0.05	0.99
	6 子育て支援サービス	0.26	1.16
次の世代を担う力を生かすまち	1 小中学校の教育内容や教育環境	0.07	1.16
	2 教育講座など生涯学習の機会	0.03	0.61
	3 文化財の継承・保存	0.06	0.41
	4 スポーツに参加できる環境	0.08	0.51
	5 地区・世代間の人々の交流	0.03	0.61
	6 国際理解・国際交流の推進	-0.10	0.36
	7 青少年の健全育成	-0.02	0.86
まちと協働で自立するまち	1 まちづくりへ参加する機会	-0.07	0.49
	2 性別に関わらず個性と能力を発揮できる環境	-0.10	0.49
	3 町民・行政相互の情報共有	-0.12	0.71
	4 総合的にみた役場窓口の対応	0.30	0.88
	5 効率的な行政運営	-0.21	0.94
	6 周辺市との広域的な連携の強化	-0.30	0.87
	7 健全な財政運営	-0.30	1.22
安全で環境にやさしい暮らしをおこすまち	1 消防や救急の体制	0.48	1.35
	2 防犯対策	0.08	1.36
	3 交通安全対策	0.00	1.25
	4 地震や風水害などの防災対策	-0.04	1.20
	5 消費者保護対策	-0.06	0.74
	6 自然環境の保全や創出	0.03	0.78
	7 公害対策などの環境汚染対策	0.03	0.92
	8 地球温暖化の防止	-0.01	0.85
	9 ごみの減量やリサイクルの推進	0.41	1.08
産業が持続性を持ち、快適でいつまでも住み続けたいまち	1 地産地消の推進	0.03	0.76
	2 農業の活性化対策	-0.01	0.65
	3 働く場や機会	-0.24	0.94
	4 商工業の活性化対策	-0.27	0.77
	5 開発による住宅地の整備	-0.12	0.57
	6 公園や緑地の整備	-0.10	0.95
	7 美しい街並み景観	-0.17	0.83
	8 道路の整備	-0.37	1.12
	9 バスなどの公共交通機関の整備	-0.56	1.26
	10 下水道の整備	0.12	0.97

3 日常生活の意識などについて

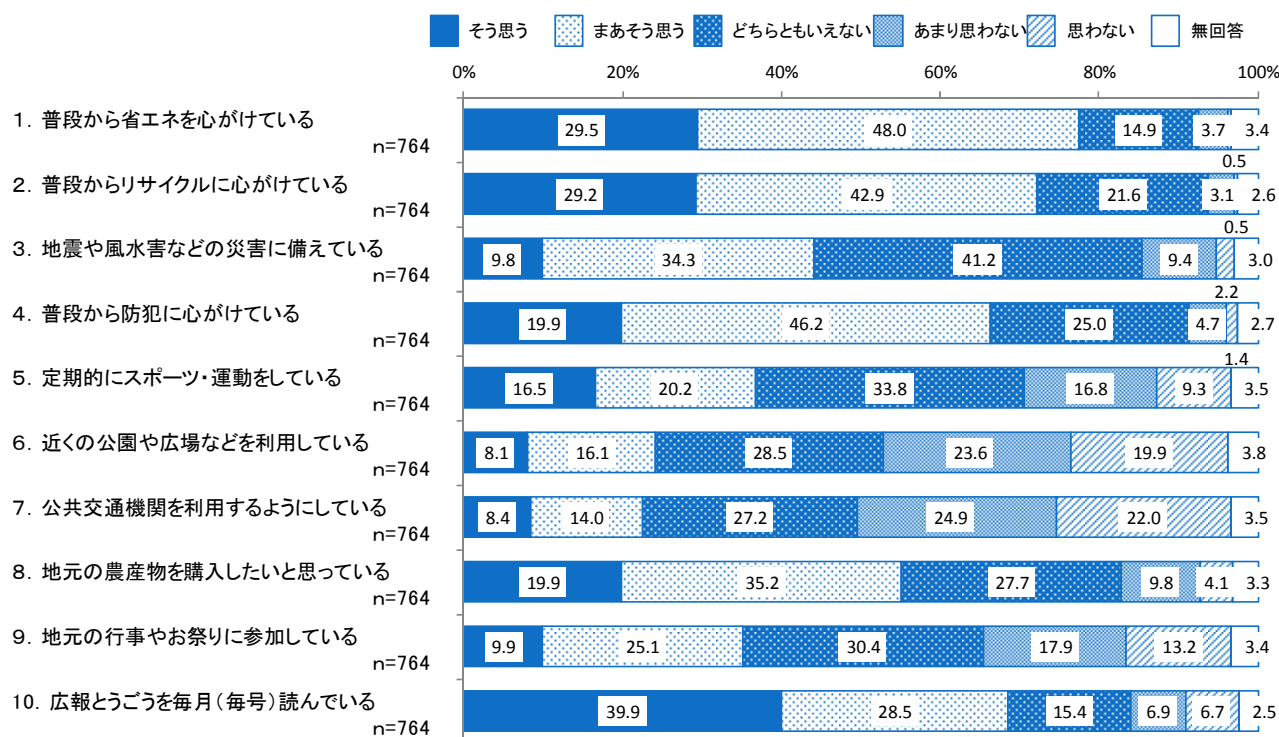
3-1 日常生活の意識や行動について

問4 あなたの日常生活の意識や行動について、あてはまる番号を1つずつ選んでください。

◆ 意識の高い行動は“省エネ”、“リサイクル”、“防犯”、“広報とうごうの購読”

日常生活の意識や行動について、「そう思う」と「まあそう思う」をあわせた“思う”の割合をみると、「普段から省エネを心がけている」が77.5%で最も高く、「普段からリサイクルに心がけている」(72.1%)、「広報とうごうを毎月(毎号)読んでいる」(68.4%)、「普段から防犯に心がけている」(66.1%)が続いている。一方、「思わない」と「あまり思わない」をあわせた“思わない”割合は、「公共交通機関を利用するようにしている」(46.9%)、「近くの公園や広場などを利用している」(43.5%)が4割台で高くなっている。

図表 39 日常生活の意識や行動（全体）

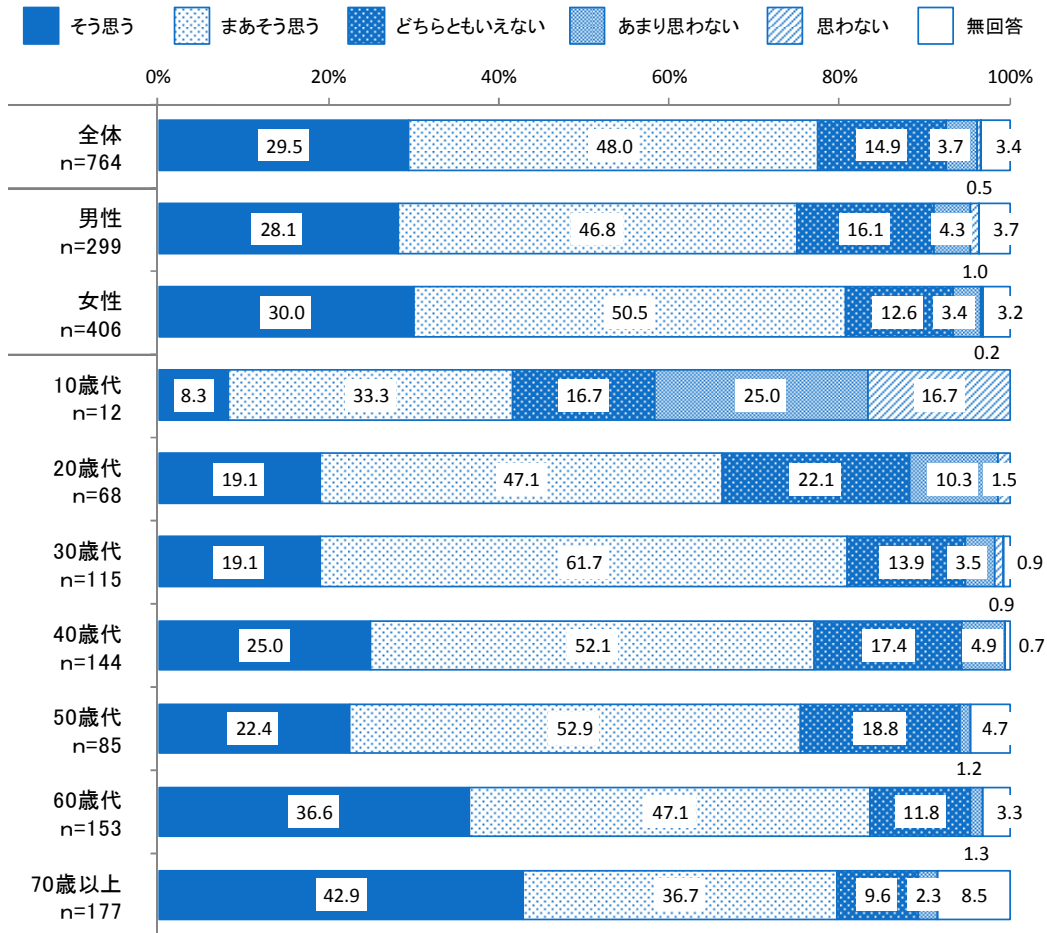


(1) 普段から省エネを心がけている

性別でみると、普段から省エネを心がけていると“思う”は、女性(80.5%)が男性(74.9%)よりも5.6ポイント高いが、性別にかかわらず意識は高くなっている。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて意識は高くなる傾向にあり、「そう思う」人の割合が10歳代(8.3%)と比べて70歳以上(42.9%)は34.6ポイントと高くなっている。

図表 40 普段から省エネを心がけている (全体・性・年齢別)

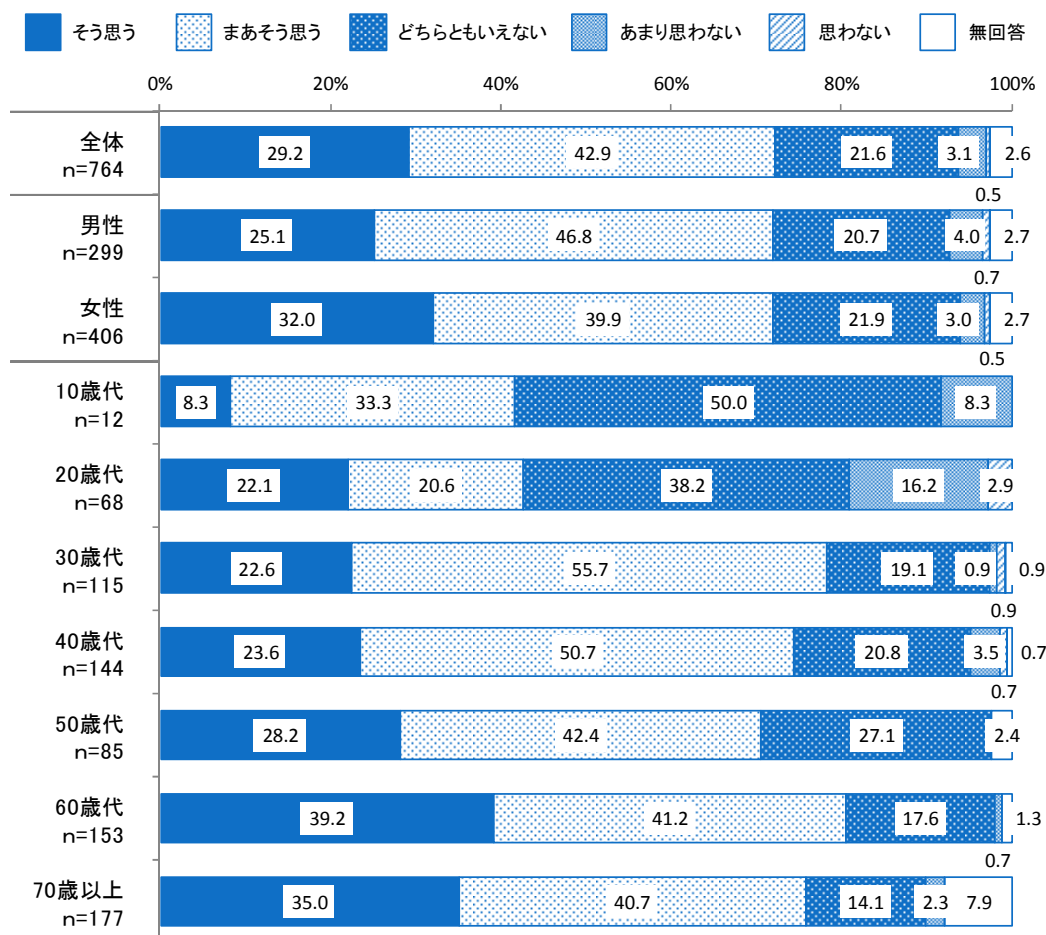


(2) 普段からリサイクルに心がけている

性別で見ると、普段からリサイクルを心がけていると「そう思う」人の割合は、女性(32.0%)が男性(25.1%)よりも6.9ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、年齢が低いほど意識は低く、「そう思う」人の割合が60歳代(39.2%)と比べて10歳代(8.3%)は30.9ポイントと低くなっている。

図表 41 普段からリサイクルに心がけている (全体・性・年齢別)

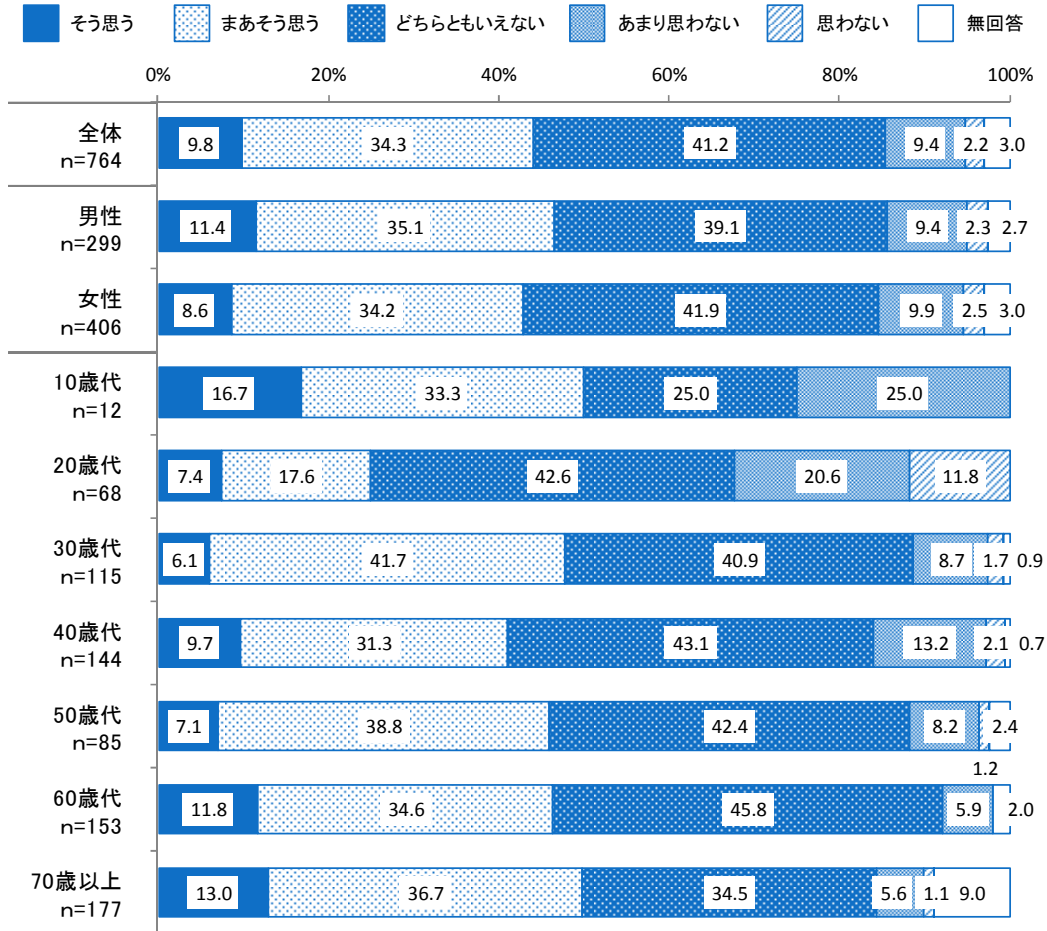


(3) 地震や風水害などの災害に備えている

性別で見ると、地震や風水害などの災害に備えていると“思う”は、男性（46.5%）が女性（42.8%）よりも3.7ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、“思う”割合が他の年代が約5割であるのに対し、20歳代は2割台半ばで最も低くなっている。また、20歳代では“思わない”割合が3割を超えて高くなっている。

図表 42 地震や風水害などの災害に備えている（全体・性・年齢別）

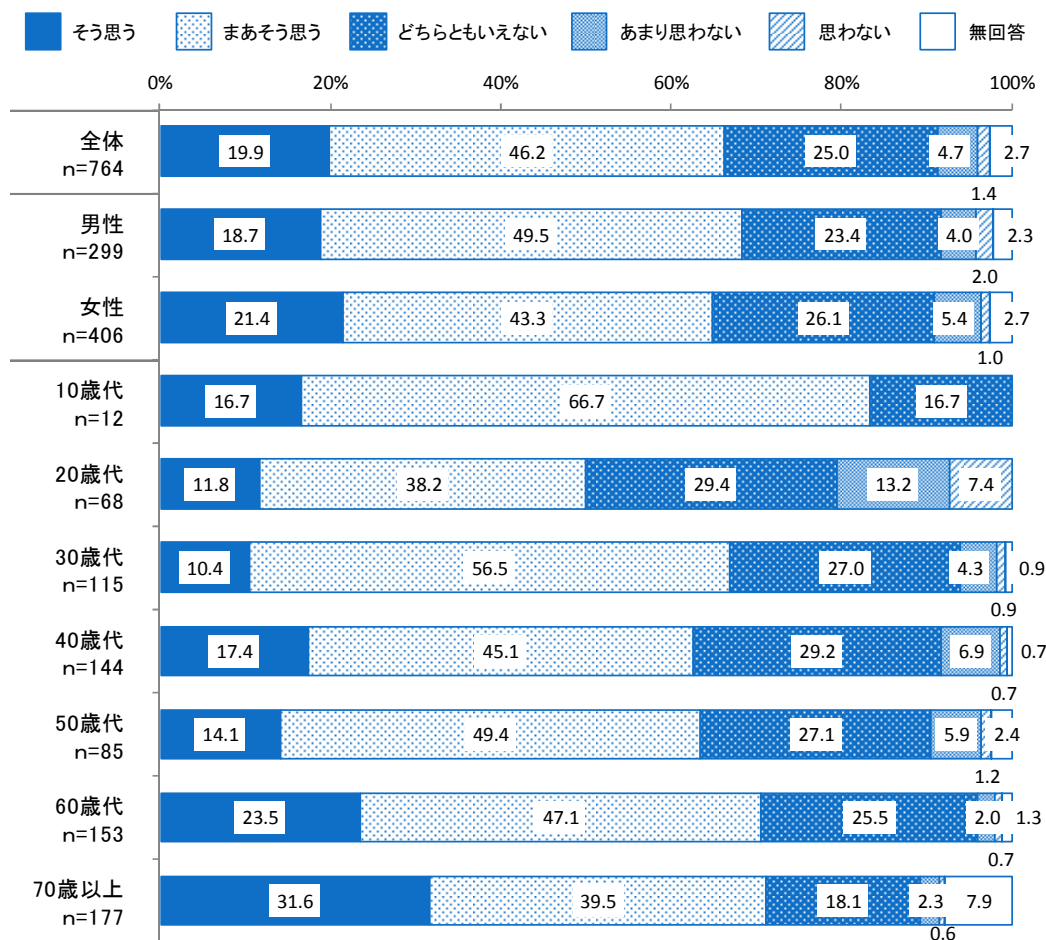


(4) 普段から防犯に心がけている

性別でみると、普段から防犯に心がけていると“思う”は、男性で68.2%、女性で64.7%と性別にかかわらず意識は高くなっている。

年齢別でみると、“思う”割合が他の年代が6割以上であるのに対し、20歳代は5割で最も低くなっている。また、20歳代では“思わない”割合が約2割と高くなっている。

図表 43 普段から防犯に心がけている（全体・性・年齢別）

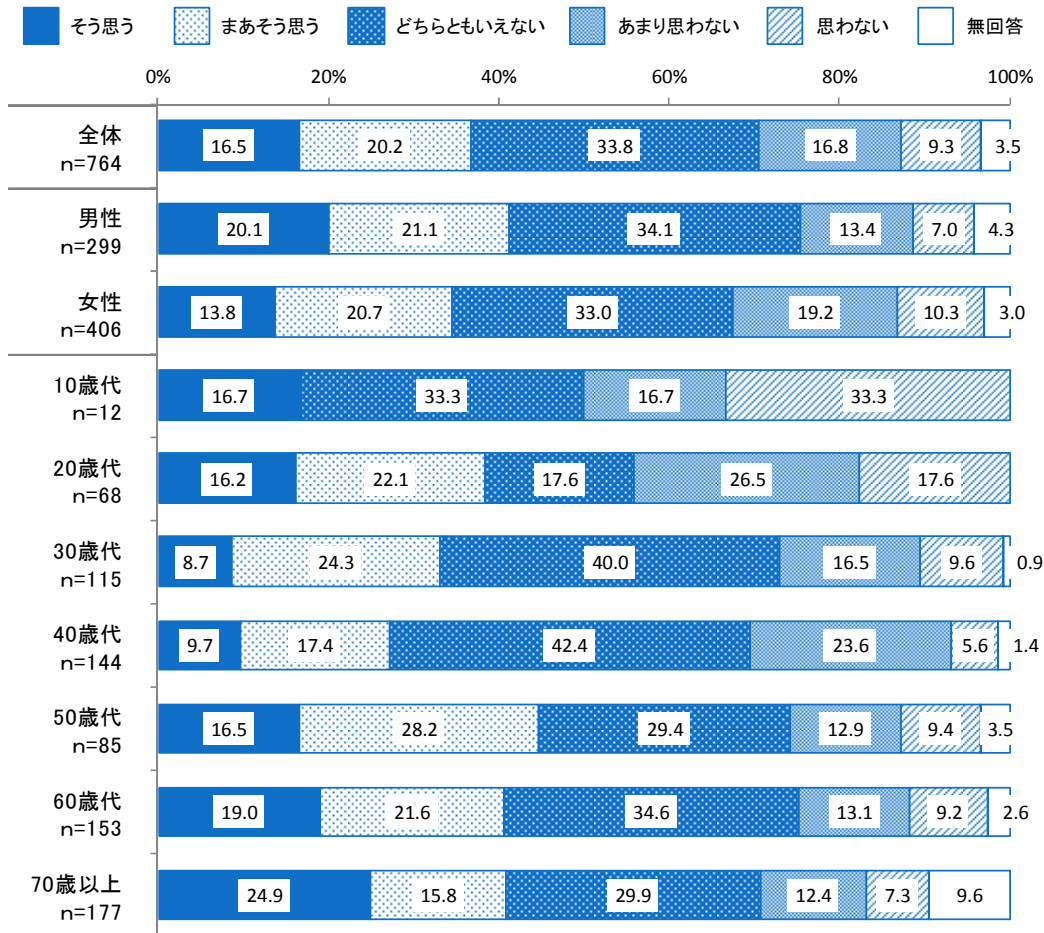


(5) 定期的にスポーツ・運動をしている

性別で見ると、定期的にスポーツ・運動をしていると“思う”人の割合は、男性（41.2%）が女性（34.5%）よりも6.7ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、30歳代以降年齢が高くなるにつれて、「そう思う」人の割合が高くなる傾向となっている。一方、30歳代以下で年齢が低くなるにつれて、「思わない」人の割合が高くなる傾向となっている。

図表 44 定期的にスポーツ・運動をしている（全体・性・年齢別）

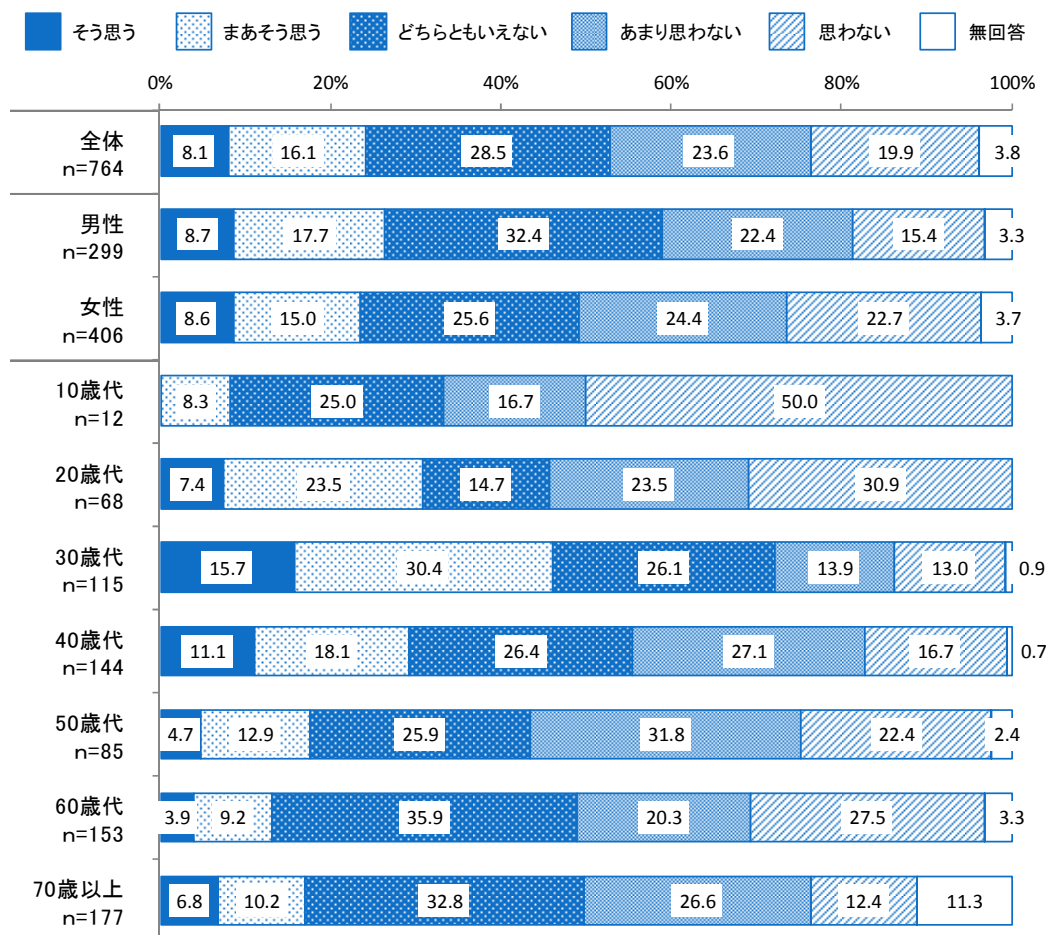


(6) 近くの公園や広場などを利用している

性別でみると、近くの公園や広場などを利用していると“思わない”割合が、女性（47.1%）が男性（37.8%）よりも9.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、30歳代（46.1%）で利用していると“思う”が最も高く、続いて20歳代（30.9%）、40歳代（29.2%）と世帯に子どもがいると思われる年代で高くなっている。

図表 45 近くの公園や広場などを利用している（全体・性・年齢別）

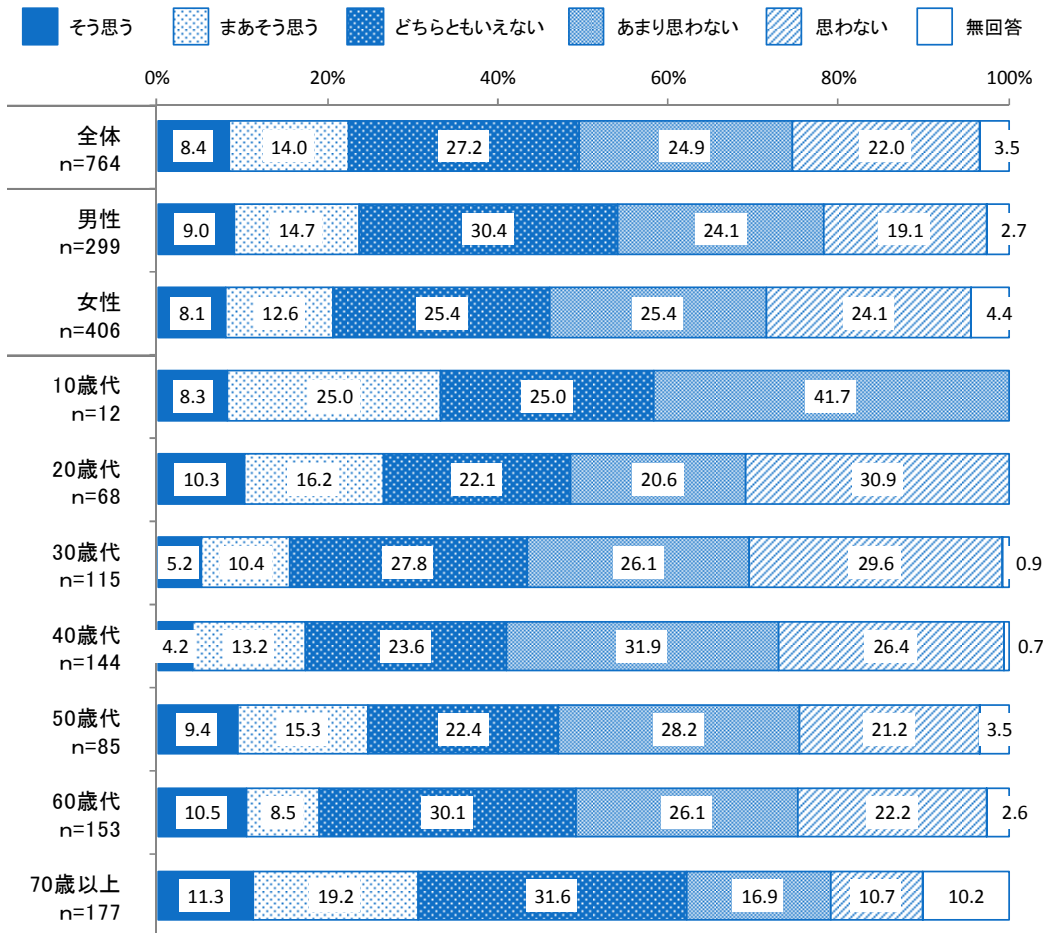


(7) 公共交通機関を利用するようにしている

性別でみると、公共交通機関を利用するようにしていると“思わない”割合が、女性(49.5%)が男性(43.2%)よりも6.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、10歳代(33.3%)で利用していると“思う”が最も高く、70歳以上(30.5%)、20歳代(26.5%)、50歳代(24.7%)と続いている。

図表 46 公共交通機関を利用するようにしている（全体・性・年齢別）

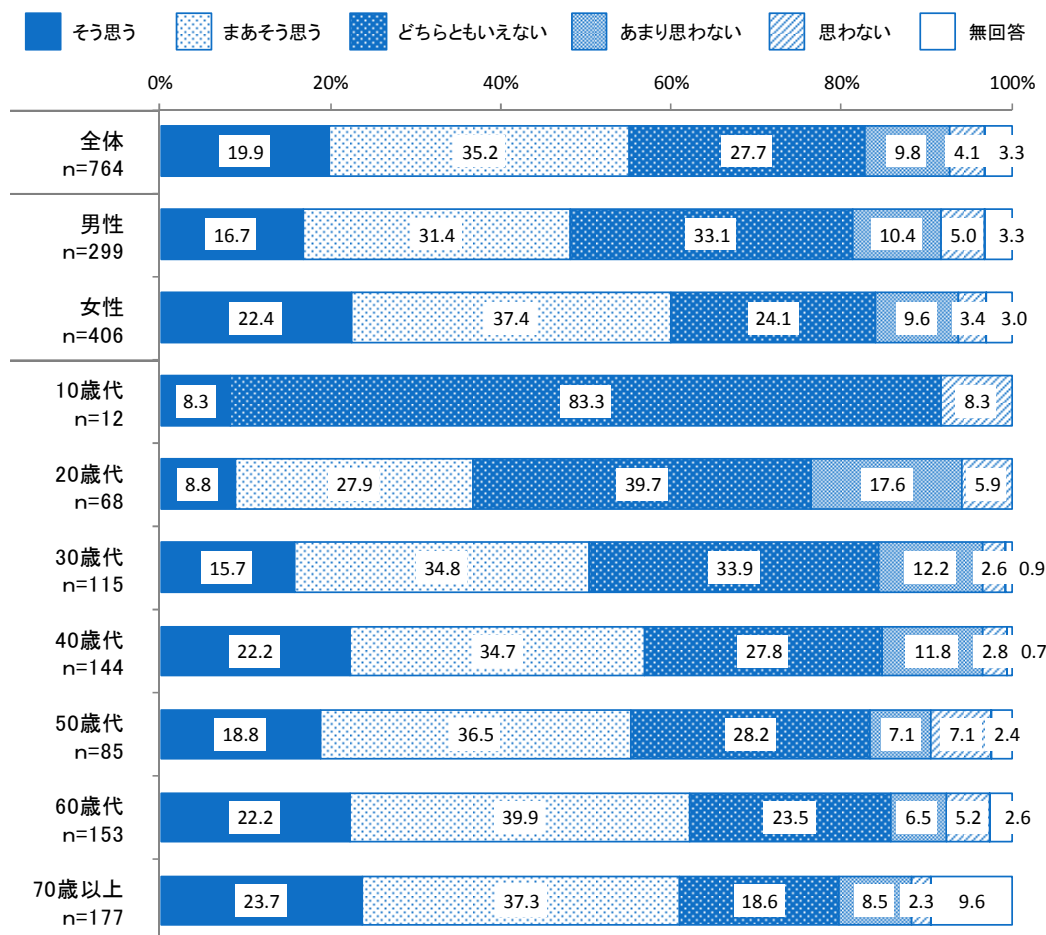


(8) 地元の農産物を購入したいと思っている

性別でみると、地元の農産物を購入したいと“思う”は、女性（59.8%）が男性（48.1%）よりも11.7ポイント高いが、性別にかかわらず意識は高くなっている。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて意識は高くなる傾向にあり、購入したいと“思う”は60歳代（62.1%）が10歳代（8.3%）よりも53.8ポイントと高くなっている。

図表 47 地元の農産物を購入したいと思っている（全体・性・年齢別）

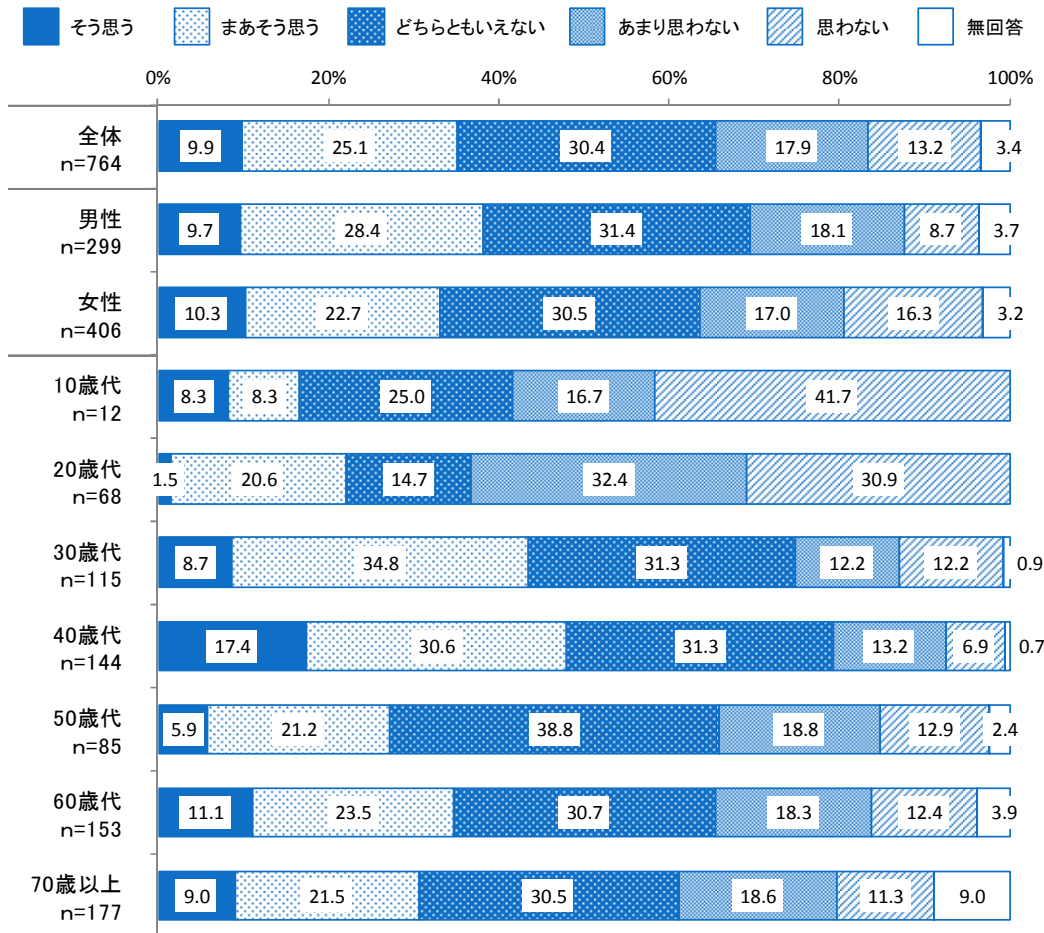


(9) 地元の行事やお祭りに参加している

性別で見ると、地元の行事やお祭りに参加していると“思う”は、男性(38.1%)が女性(33.0%)よりも5.1ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、40歳代(48.0%)で参加していると“思う”が最も高く、30歳代(43.5%)、60歳代(34.6%)、70歳以上(30.5%)と続いている。

図表 48 地元の行事やお祭りに参加している（全体・性・年齢別）

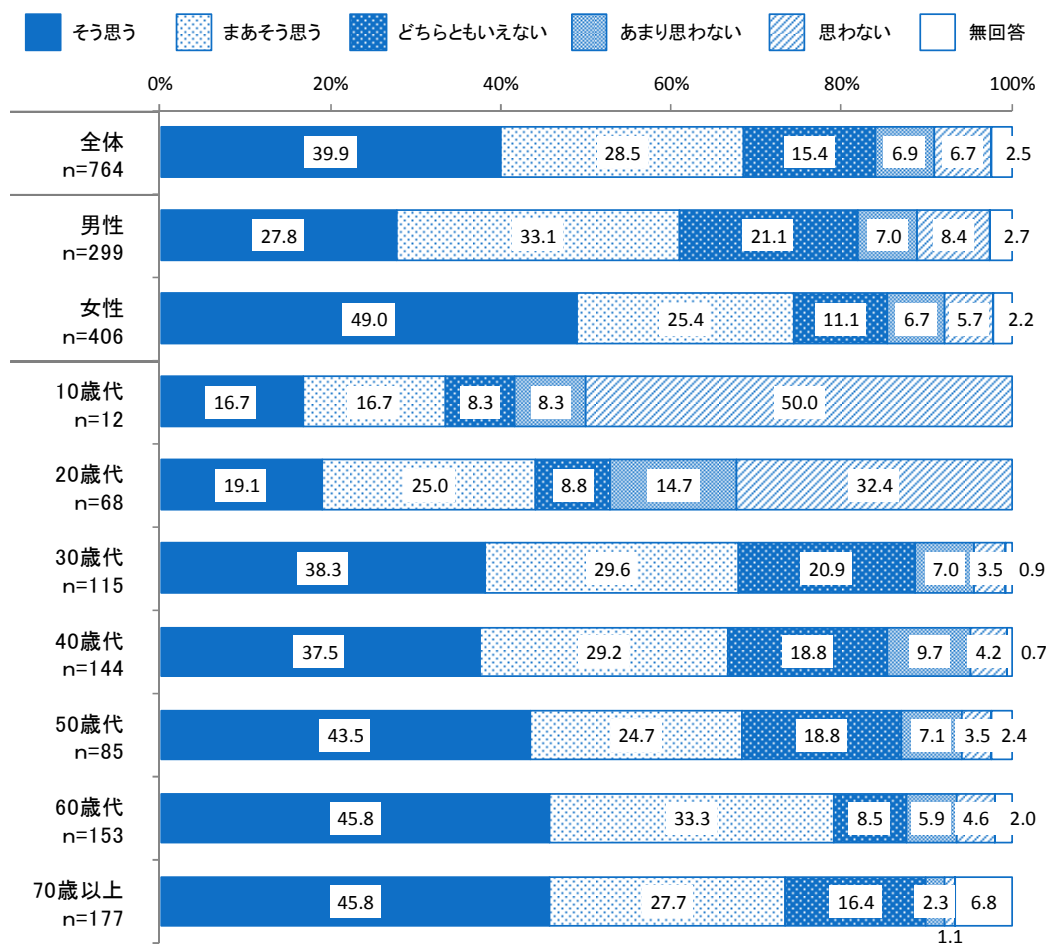


(10) 広報とうごうを毎月（毎号）読んでいる

性別でみると、広報とうごうを毎月読んでいると「そう思う」割合は、女性（49.0%）が男性（27.8%）よりも21.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、おおむね年齢が高くなるにつれて「そう思う」割合が高くなる傾向となっており、70歳以上（45.8%）が10歳代（16.7%）よりも29.1ポイント高くなっている。

図表 49 広報とうごうを毎月（毎号）読んでいる（全体・性・年齢別）



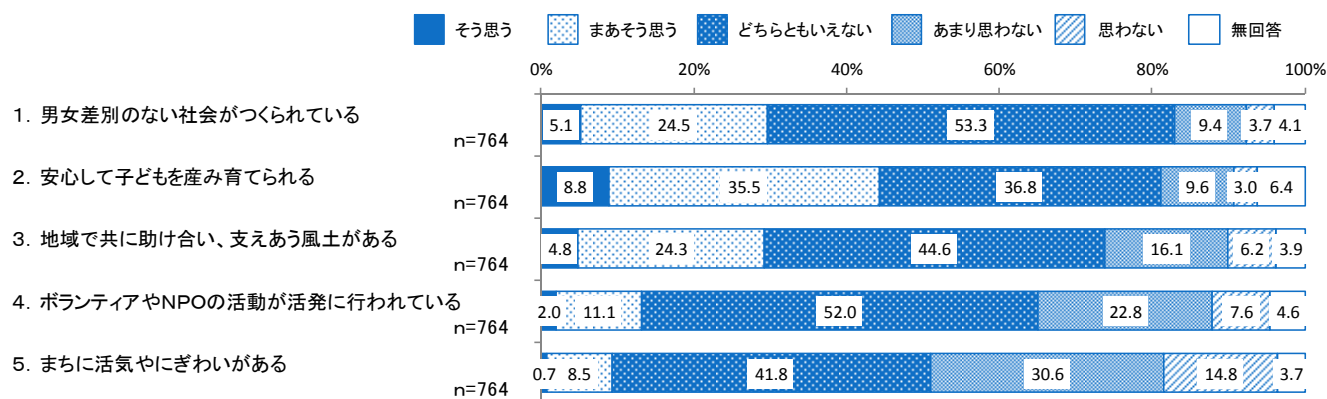
3-2 地域に対する意識について

問5 地域に対する意識について、あてはまる番号を1つずつ選んでください。

◆ 「安心して子どもを産み育てられる」と「思う」、「まちに活気やにぎわいがある」と「思わない」

地域に対する意識について、「そう思う」と「まあそう思う」をあわせた“思う”の割合をみると、「安心して子どもを産み育てられる」が44.3%で最も高く、「男女差別のない社会がつくられている」(29.6%)、「地域で共に助け合い、支えあう風土がある」(29.1%)が続いている。一方、「思わない」と「あまり思わない」をあわせた“思わない”割合は、「まちに活気やにぎわいがある」(45.4%)、「ボランティアやNPO活動が活発に行われている」(30.4%)が3割以上で高くなっている。また、どの項目においても「どちらともいえない」が最も高い割合を示している。

図表 50 地域に対する意識 (全体)

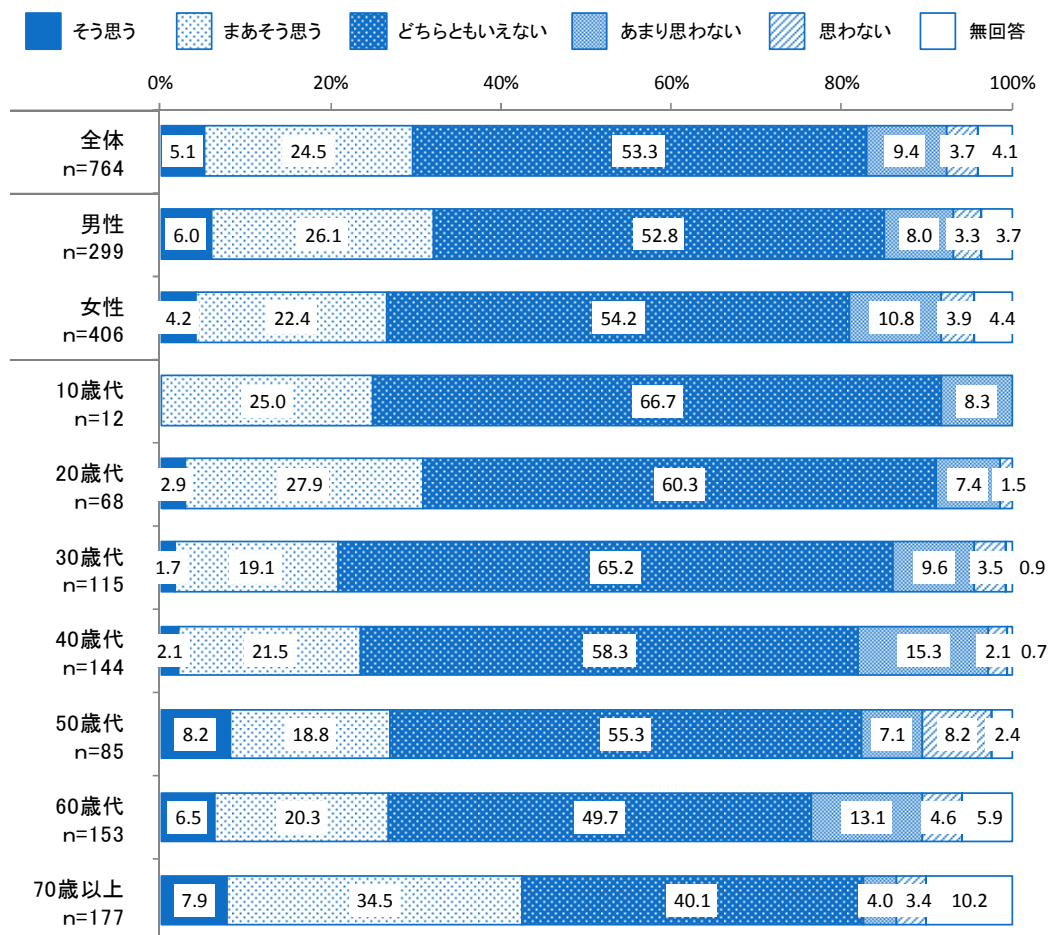


(1) 男女差別のない社会がつけられている

性別で見ると、男女差別のない社会がつけられていると“思う”は、男性（32.1%）が女性（26.6%）よりも 5.5 ポイント高くなっている。一方、“思わない”は、女性（14.7%）が男性（11.3%）よりも 3.4 ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、男女差別のない社会がつけられていると“思う”割合は 30 歳代が 20.8% で最も低く、最も高い 70 歳以上（42.4%）との差は 21.6 ポイントとなっています。

図表 51 男女差別のない社会がつけられている（全体・性・年齢別）

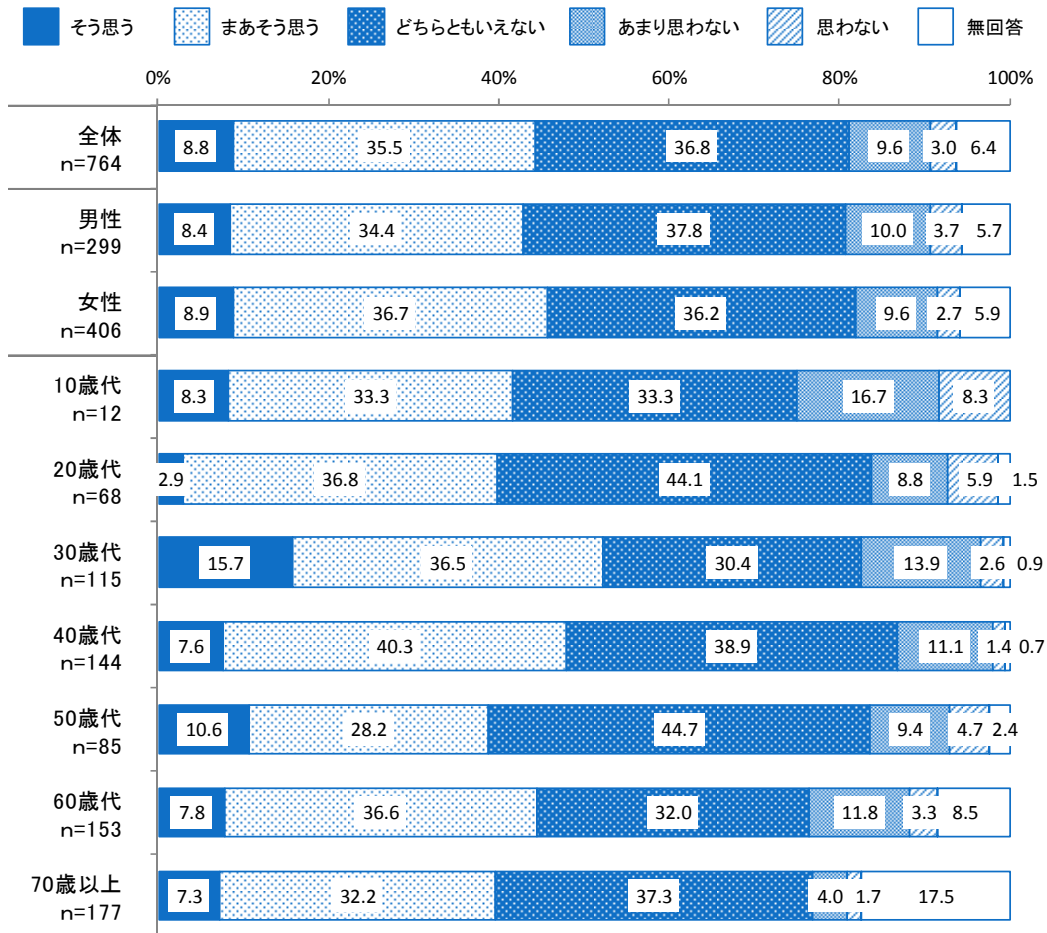


(2) 安心して子どもを産み育てられる

性別で見ると、安心して子どもを産み育てられると“思う”割合は、性別にかかわらず4割台半ばとなっている。

年齢別で見ると、“思う”割合は30歳代（52.2%）で最も高く、40歳代（47.9%）、60歳代（44.4%）、10歳代（41.6%）と続いている。

図表 52 安心して子どもを産み育てられる（全体・性・年齢別）

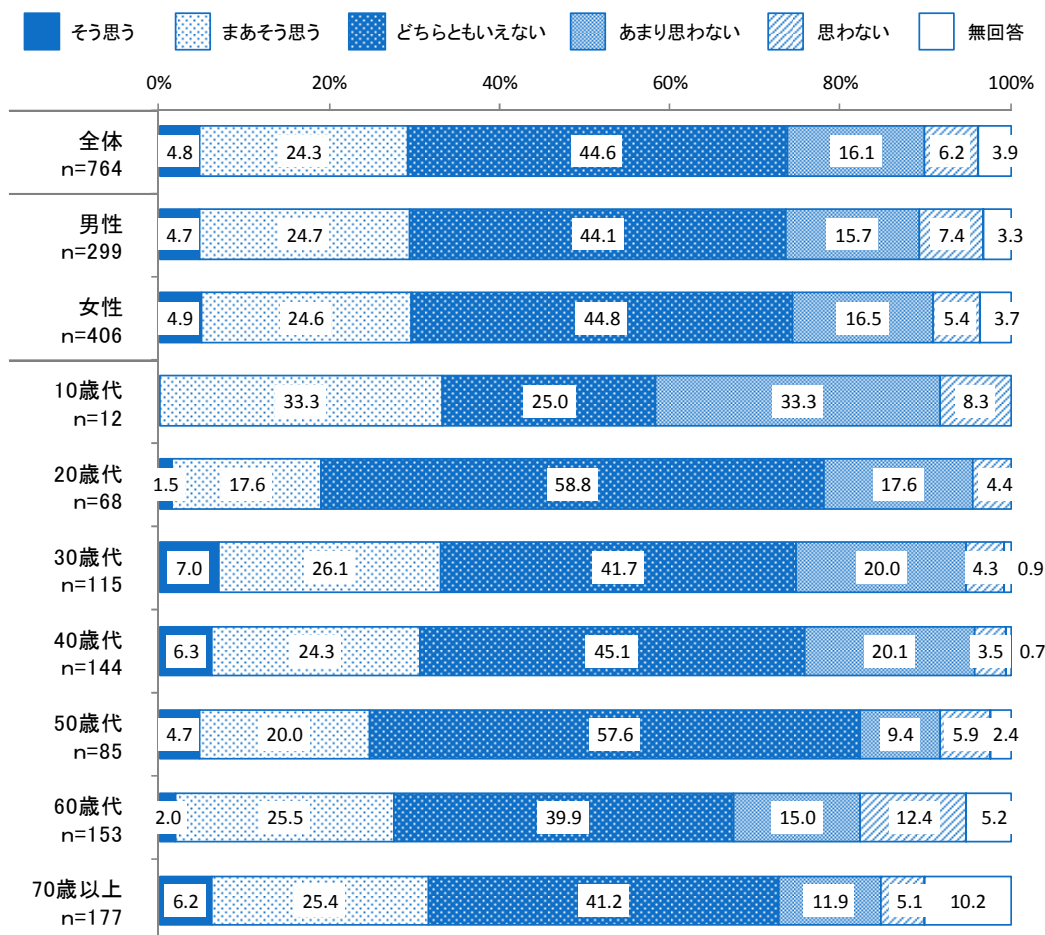


(3) 地域で共に助け合い、支えあう風土がある

性別で見ると、地域で共に助け合い、支えあう風土があると“思う”割合は、性別にかかわらず約3割となっている。

年齢別で見ると、“思う”割合は10歳代（33.3%）で最も高く、30歳代（33.1%）、70歳以上（31.6%）、40歳代（30.6%）と続いている。

図表 53 地域で共に助け合い、支えあう風土がある（全体・性・年齢別）

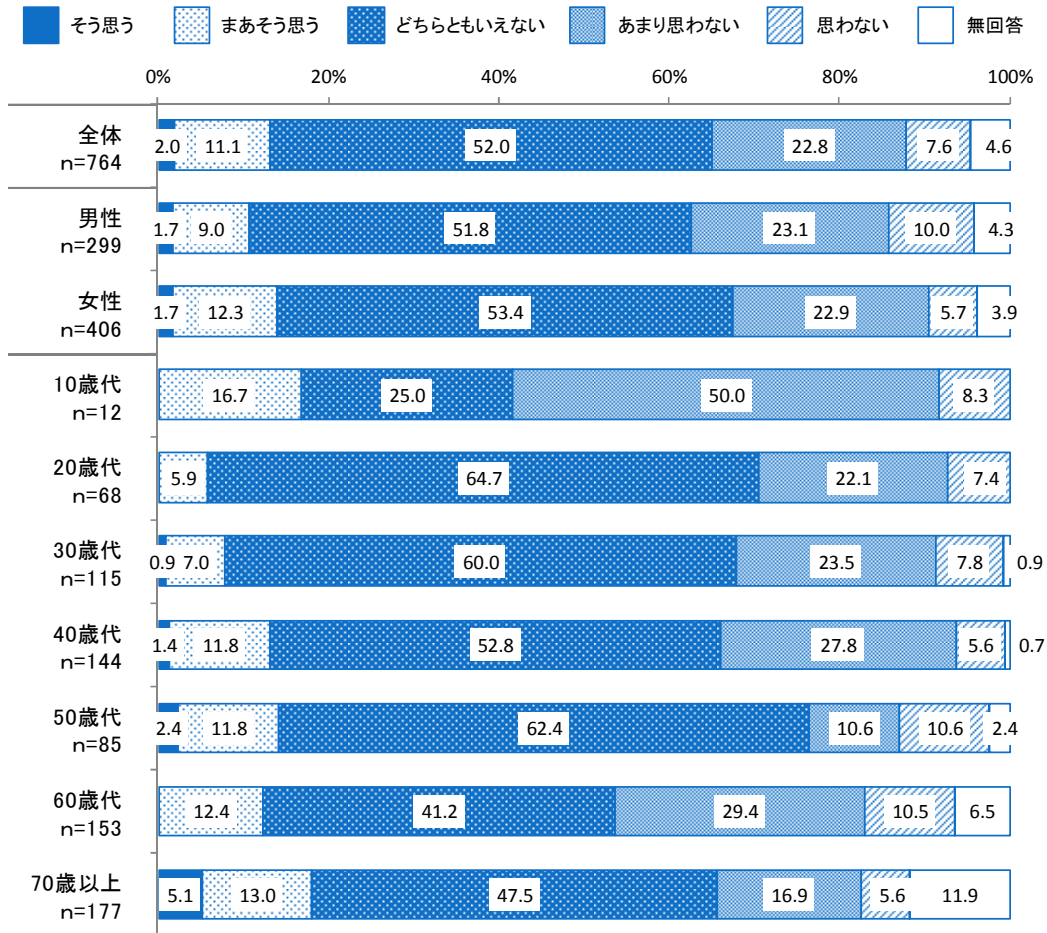


(4) ボランティアやNPOの活動が活発に行われている

性別でみると、ボランティアやNPOの活動が活発に行われていると“思う”割合は、女性（14.0%）が男性（10.7%）よりも3.3ポイント高くなっているが1割台にとどまっている。

年齢別でみると、“思う”割合は70歳以上（18.1%）で最も高いが2割以下となっており、10歳代（16.7%）、50歳代（14.2%）、40歳代（13.2%）と続いている。

図表 54 ボランティアやNPOの活動が活発に行われている（全体・性・年齢別）

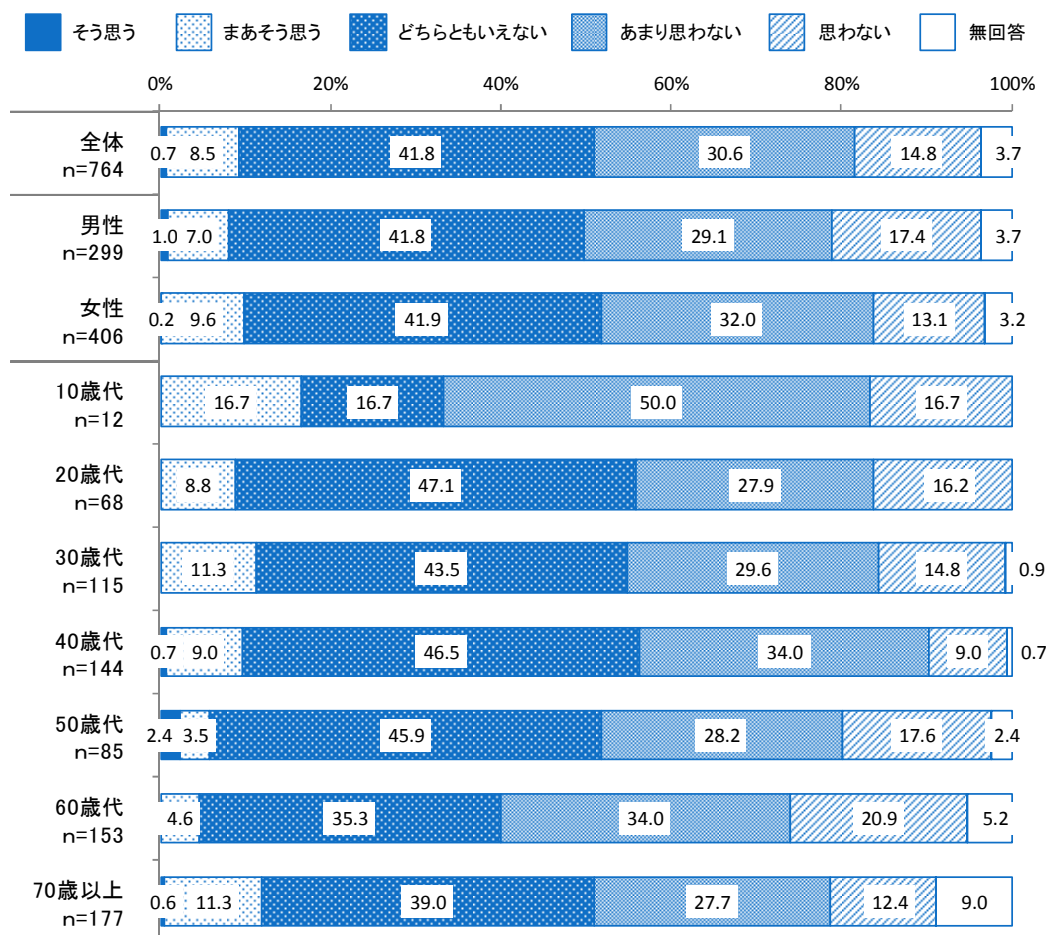


(5) まちに活気やにぎわいがある

性別でみると、まちに活気やにぎわいがあると“思う”割合は、女性(9.8%)が男性(8.0%)よりも1.8ポイント高くなっているが1割に満たない。

年齢別でみると、“思う”割合は10歳代(16.7%)で最も高いが2割以下となっており、70歳以上(11.9%)、30歳代(11.3%)、40歳代(9.7%)と続いている。

図表 55 まちに活気やにぎわいがある(全体・性・年齢別)



4 まちづくりについて

4-1 町政（まちづくり）への関心について

問6 あなたは東郷町の仕事（町政）にどの程度関心がありますか？
 今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

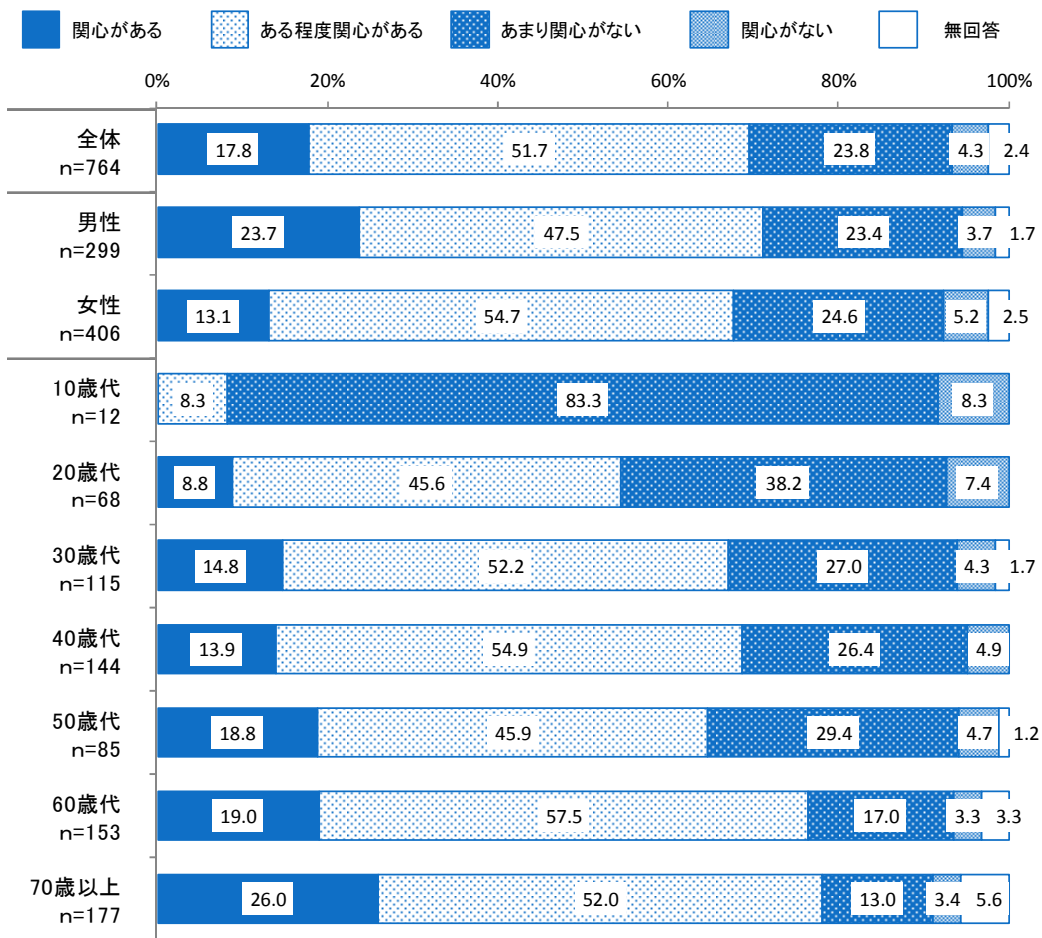
◆ “関心がある”は69.5%、“関心がない”は28.1%

東郷町の仕事の関心度は、「関心がある」（17.8%）と「ある程度関心がある」（51.7%）をあわせた“関心がある”が69.5%、「関心がない」（4.3%）と「あまり関心がない」（23.8%）をあわせた“関心がない”が28.1%となっている。

性別でみると、「関心がある」で男性（23.7%）が女性（13.1%）よりも10.6ポイントと割合が高くなっている。

年齢別でみると、おおむね年齢が高くなるにつれて「関心がある」割合が高くなり、70歳以上（26.0%）が20歳代（8.8%）よりも17.2ポイント高くなっている。

図表 56 東郷町の仕事の関心度（全体・性・年齢別）



問7 あなたは、どのような町政の情報に関心がありますか？（今関心がない方は、どのような情報であれば関心をもてると思いますか？）

今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

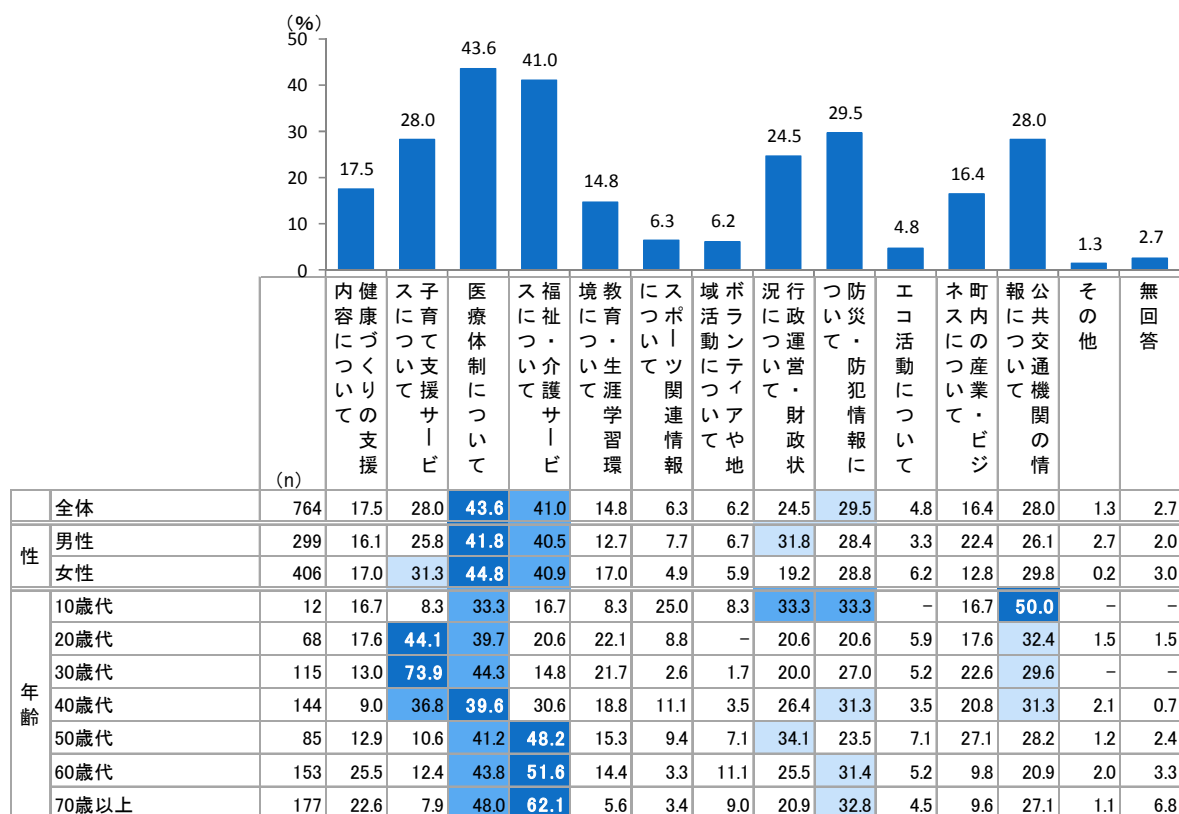
◆ 関心のある町政情報は“医療体制”、“福祉・介護サービス”

関心のある町政情報は、「医療体制について」が43.6%で最も高く、「福祉・介護サービスについて」(41.0%)、「防災・防犯情報について」(29.5%)の順となっている。

性別でみると、上位2位は性別にかかわらず、それぞれ「医療体制について」(男性41.8%、女性44.8%)、「福祉・介護サービスについて」(男性40.5%、女性40.9%)で、次に男性では「行政運営・財政状況について」(31.8%)、女性では「子育て支援サービスについて」(31.3%)の割合が高くなっている。

年齢別でみると、30歳代で「子育て支援サービスについて」が73.9%で割合が最も高くなっている。また、60歳代～70歳以上では「福祉・介護サービスについて」で割合が5割以上と高くなっている。

図表 57 関心のある町政情報（全体・性・年齢別）



4-2 東郷町自治基本条例について

問8 あなたは東郷町自治基本条例をご存知ですか？
最も近い番号を1つだけ選んでください。

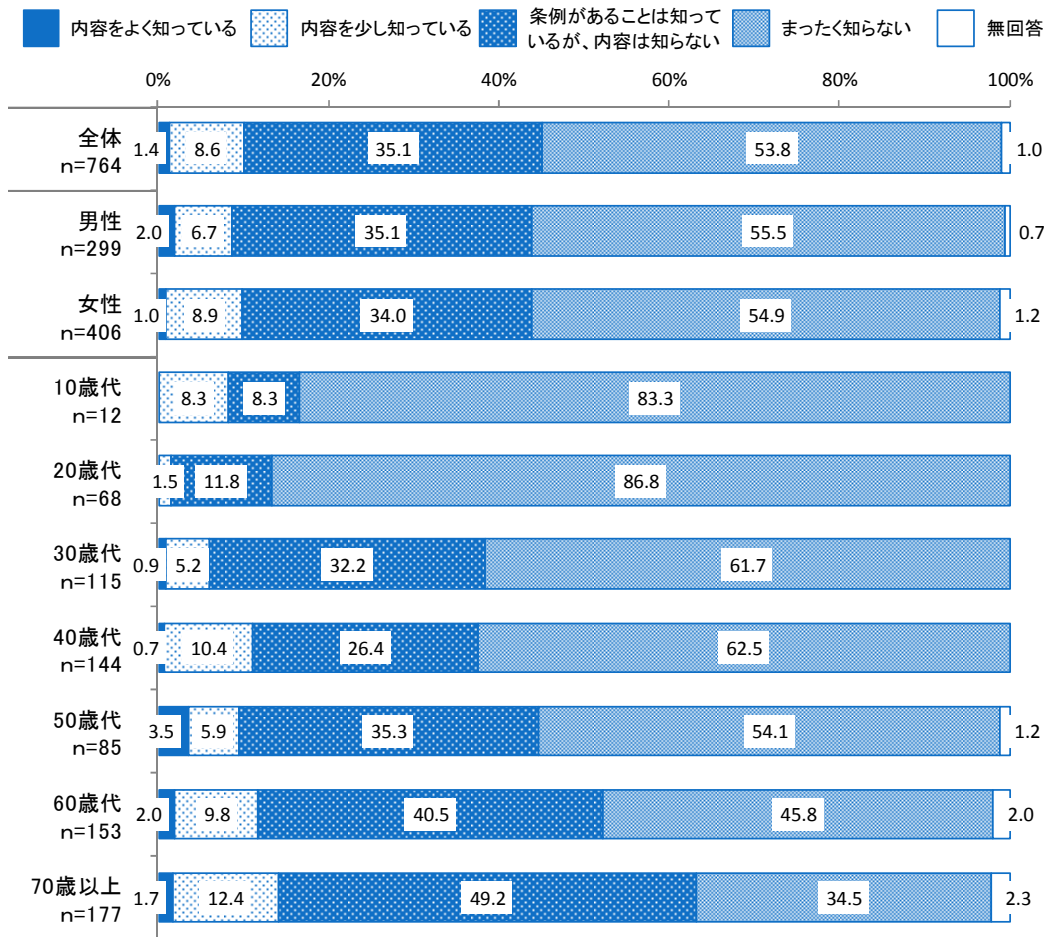
◆ “知っている”が45.1%、「まったく知らない」が53.8%

東郷町自治基本条例の認知については、「内容をよく知っている」(1.4%)、「内容を少し知っている」(8.6%)、「条例があることは知っているが、内容は知らない」(35.1%)をあわせた“知っている”が45.1%となっている。また、「まったく知らない」は53.8%となっている。

性別でみると、性別による大きな差はみられない。

年齢別でみると、おおむね年齢が高くなるにつれて「まったく知らない」割合が減少し、70歳以上(34.5%)が10歳代(83.3%)よりも48.8ポイント低くなっている。

図表 58 東郷町自治基本条例の認知 (全体・性・年齢別)



問8-1 東郷町自治条例をどのような機会で見ましたか？（複数回答可）

（※問8で「1. パンフレット」または「2. 広報」と回答した方に）

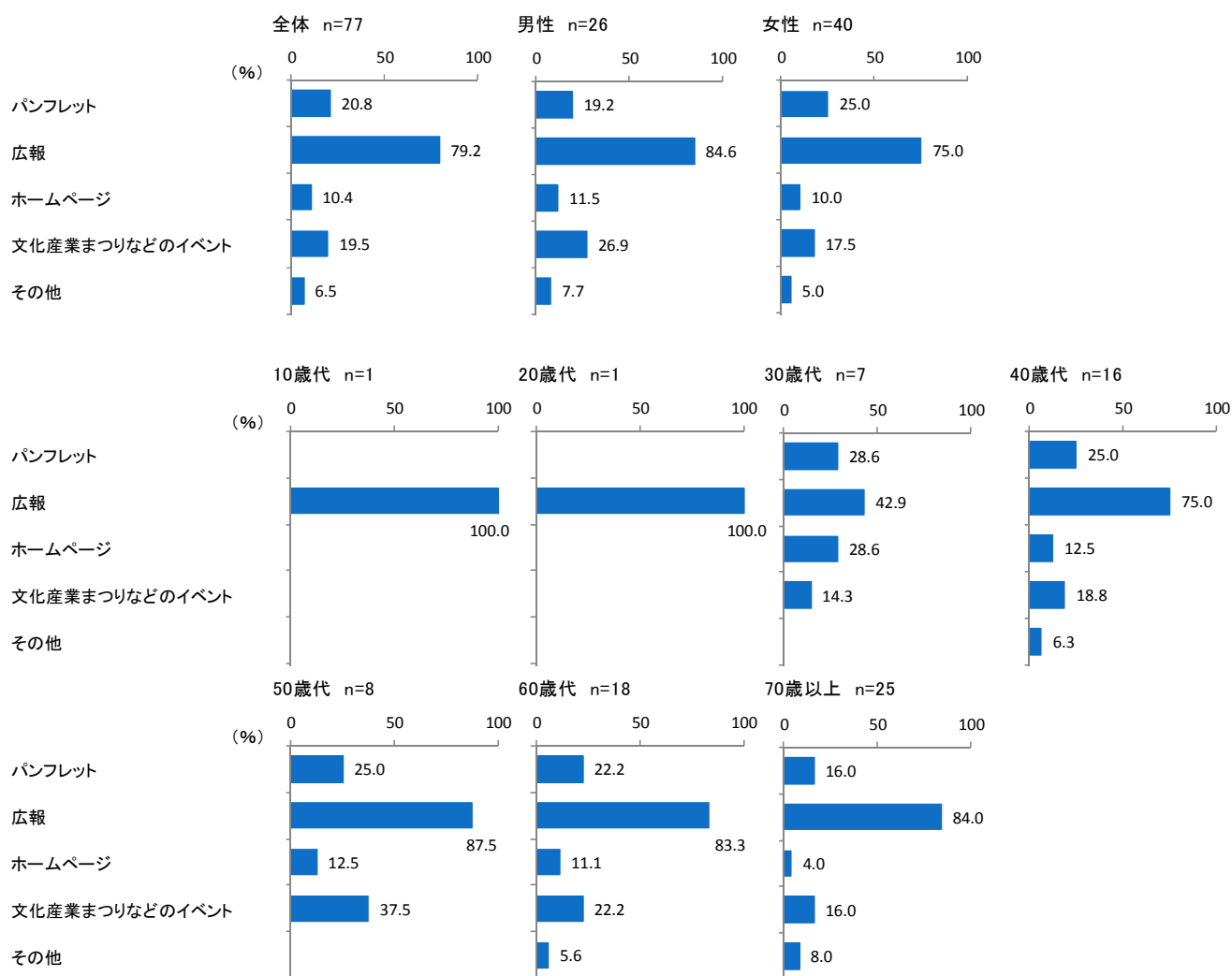
◆ 自治条例の認知の機会は「広報」が79.2%

東郷町自治条例の認知の機会は「広報」が79.2%で最も割合が高くなっている。

性別で見ると、性別による大きな差はみられない。

年齢別で見ると「広報」以外では、30歳代で「パンフレット」と「ホームページ」（ともに28.6%）、50歳代では「文化産業まつりなどのイベント」（37.5%）などの割合が高くなっている。

図表 59 東郷町自治条例の認知の機会（全体・性・年齢別）



4-3 住民参画・協働について

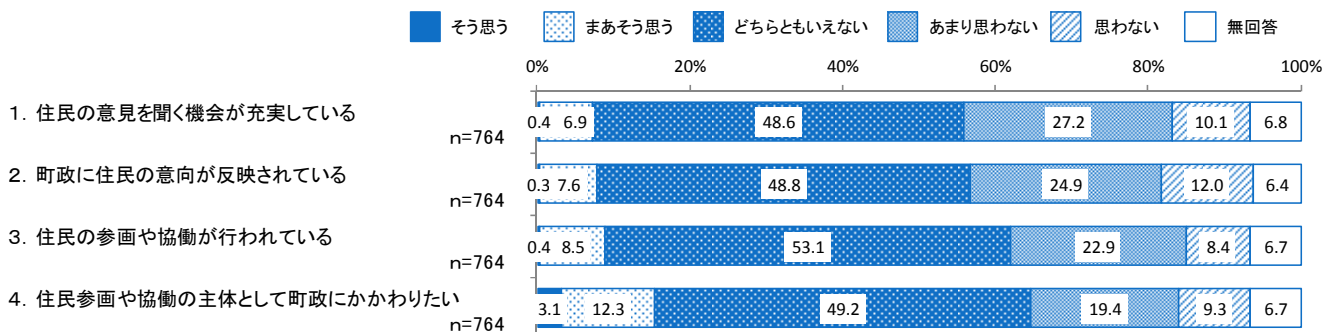
問9 町政への住民意見の反映や住民参画、住民と行政との協働について、どのようにお考えですか。

今のお気持ちに最も近い番号を1つずつ選んでください。

◆ 「住民参画や協働の主体として町政にかかわりたい」と“思う”が15.4%

住民参画・協働について、「そう思う」と「まあそう思う」をあわせた“思う”の割合をみると、「住民参画や協働の主体として町政にかかわりたい」が15.4%で最も高くなっている。一方、「思わない」と「あまり思わない」をあわせた“思わない”割合は、「住民の意見を聞く機会が充実している」(37.3%)、「町政に住民の意向が反映されている」(36.9%)、「住民の参画や協働が行われている」(31.3%)が3割以上となっている。また、どの項目においても「どちらともいえない」が最も高い割合を示している。

図表 60 住民参画・協働（全体）

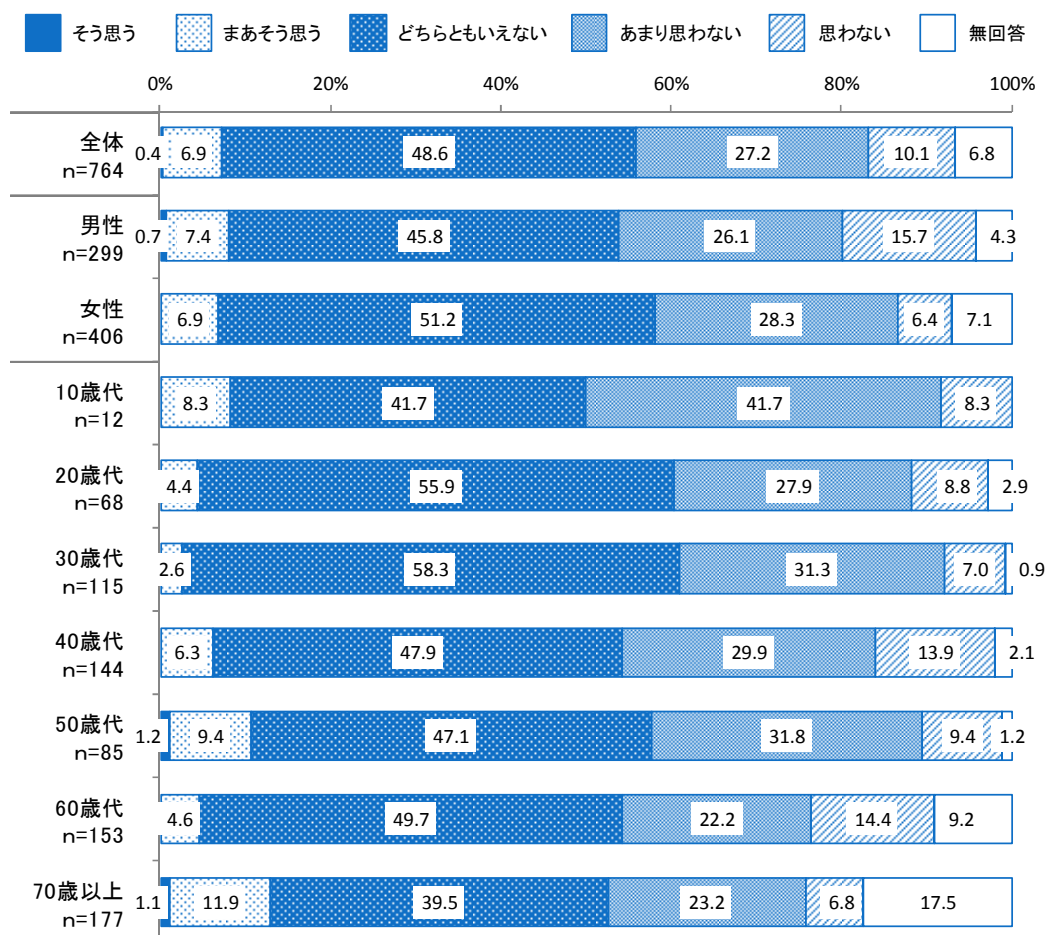


(1) 住民意見を聞く機会が充実している

住民意見を聞く機会が充実していると“思う”を性別で見ると、男性が8.1%、女性が6.9%と1割にも満たない。一方、“思わない”は男性（41.8%）が女性（34.7%）よりも7.1ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、住民意見を聞く機会が充実していると“思わない”は、10歳代（50.0%）が最も高く、40歳代（43.8%）、50歳代（41.2%）と続いている。

図表 61 住民意見を聞く機会が充実している（全体・性・年齢別）

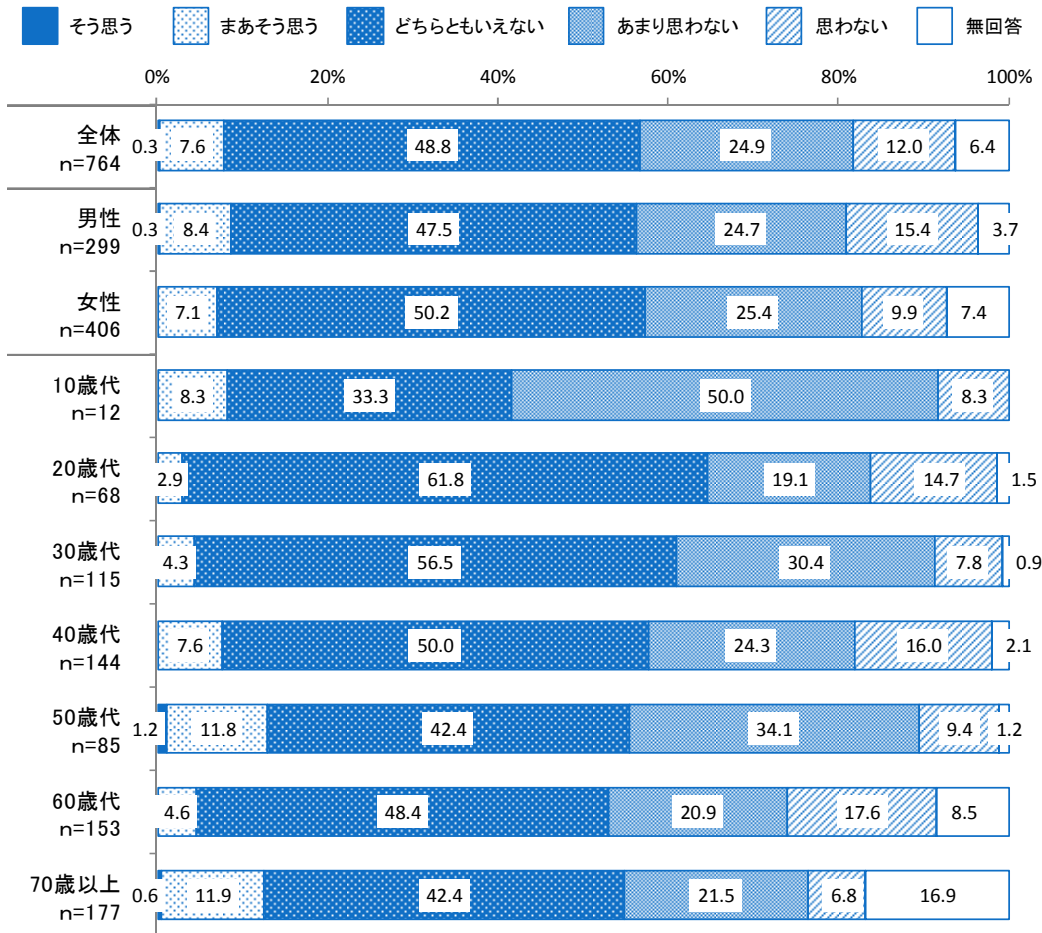


(2) 町政に住民の意向が反映されている

町政に住民の意向が反映されていると“思う”を性別で見ると、男性が8.7%、女性が7.1%と1割にも満たない。一方、“思わない”は男性（40.1%）が女性（35.3%）よりも4.8ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、町政に住民の意向が反映されていると“思わない”は、10歳代（58.3%）が最も高く、50歳代（43.5%）、40歳代（40.3%）と続いている。

図表 62 町政に住民の意向が反映されている（全体・性・年齢別）

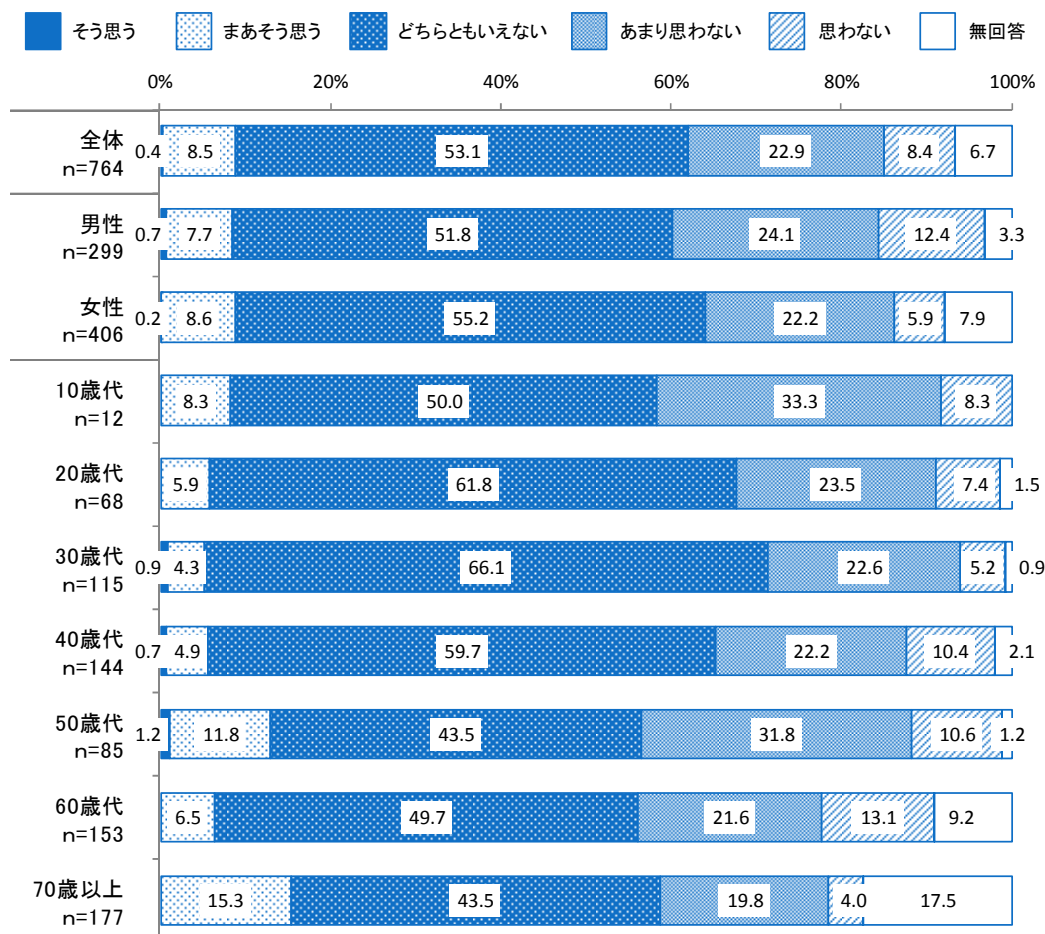


(3) 住民の参画や協働が行われている

住民の参画や協働が行われていると“思う”を性別で見ると、男性が8.4%、女性が8.8%と1割にも満たない。一方、“思わない”は男性(36.5%)が女性(28.1%)よりも8.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、住民の参画や協働が行われていると“思わない”は、50歳代(42.4%)が最も高く、10歳代(41.6%)、60歳代(34.7%)と続いている。

図表 63 住民の参画や協働が行われている (全体・性・年齢別)

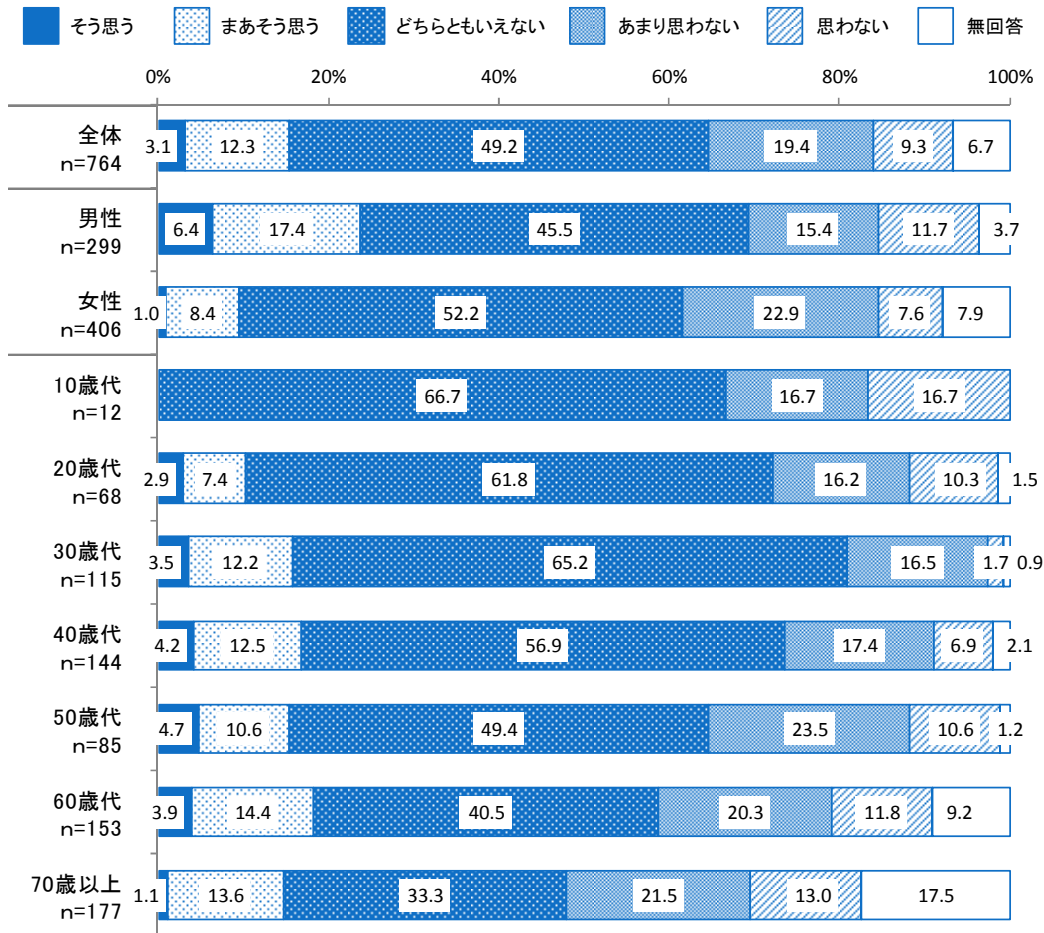


(4) 住民参画や協働の主体として町政にかかわりたい

住民参画や協働の主体として町政にかかわりたい“思う”を性別でみると、男性（23.8%）が女性（9.4%）よりも14.4ポイント高くなっている。

年齢別でみると、住民参画や協働の主体として町政にかかわりたいと“思わない”は、70歳以上（34.5%）が最も高く、50歳代（34.1%）、10歳代（33.4%）と続いている。

図表 64 住民参画や協働の主体として町政にかかわりたい（全体・性・年齢別）



問 10 今後、住民の皆さんが積極的にかかわって進めることが重要だと思う活動は何ですか？
 今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

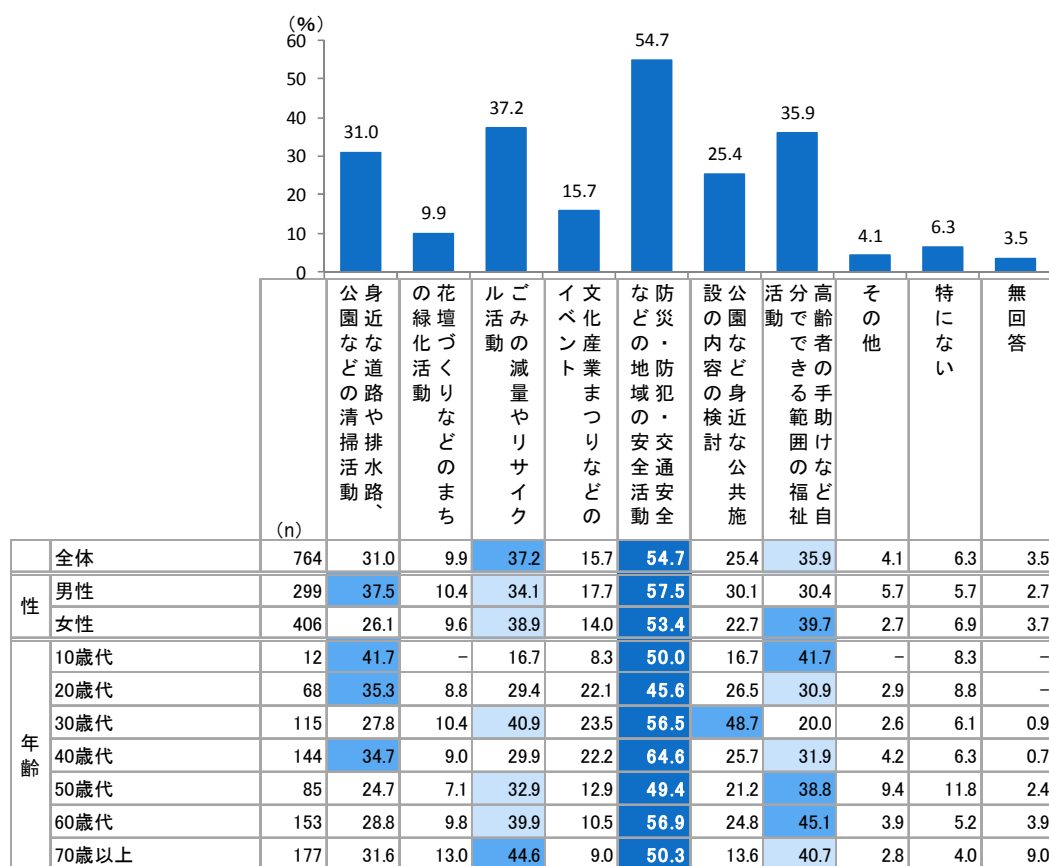
◆ 重要だと思う活動は“地域安全活動”、“リサイクル活動”、“福祉活動”

積極的にかかわって進めることが重要だと思う活動は「防災・防犯・交通安全などの地域の安全活動」が54.7%で最も割合が高く、「ごみの減量やリサイクル活動」(37.2%)、「高齢者の手助けなど自分でできる範囲の福祉活動」(35.9%)が続いている。

性別でみると、「防災・防犯・交通安全などの地域の安全活動」以外では、男性は「身近な道路や排水路、公園などの清掃活動」(37.5%)、女性は「高齢者の手助けなど自分でできる範囲の福祉活動」(39.7%)で割合が高くなっている。

年齢別でみると「防災・防犯・交通安全などの地域の安全活動」以外では、30歳代で「公園など身近な公共施設の内容の検討」(48.7%)、20歳代、40歳代で「身近な道路や排水路、公園などの清掃活動」(35.3%、34.7%)、50歳代、60歳代で「高齢者の手助けなど自分でできる範囲の福祉活動」(38.8%、45.1%)などの割合が高くなっている。

図表 65 積極的にかかわって進めることが重要だと思う活動（全体・性・年齢別）



4-4 セントラル開発について

問 11 東郷町の中心部には、役場を始め町民会館、総合体育館、いこまい館などの公共施設が集まっています。このような現状について、町民の皆さんが利用しやすく、便利な魅力のある「町の中心地」がつくられていると思いますか？
 今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

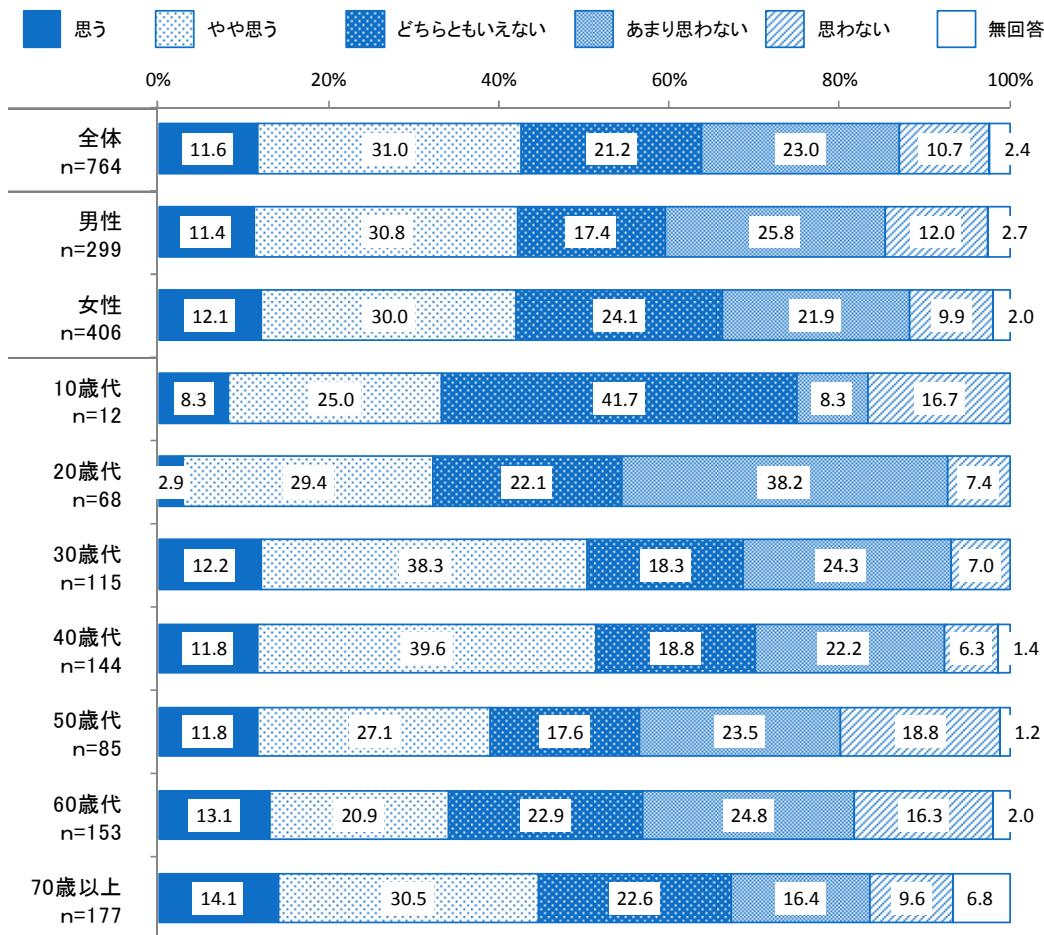
◆ 魅力のある「町の中心地」がつくられていると“思う”は42.6%、“思わない”は33.7%

便利な魅力のある『町の中心地』がつくられているかについては、「思う」(11.6%)と「やや思う」(31.0%)をあわせた“思う”が42.6%、「思わない」(10.7%)と「あまり思わない」(23.0%)をあわせた“思わない”が33.7%となっている。

性別でみると、“思わない”で男性(37.8%)が女性(31.8%)よりも6ポイントと高くなっている。

年齢別でみると、“思う”が30歳代(50.5%)、40歳代(51.4%)で約5割と高くなっている。一方、“思わない”では20歳代(45.6%)、50歳代(42.3%)、60歳代(41.1%)で4割台と高くなっている。

図表 66 「町の中心地」の現状について(全体・性・年齢別)



問 12 また、東郷町において、「町の中心地」に様々な機能を集めて、歩いて暮らせる便利なまちづくりに取り組むことがどの程度重要だと思いますか？
今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

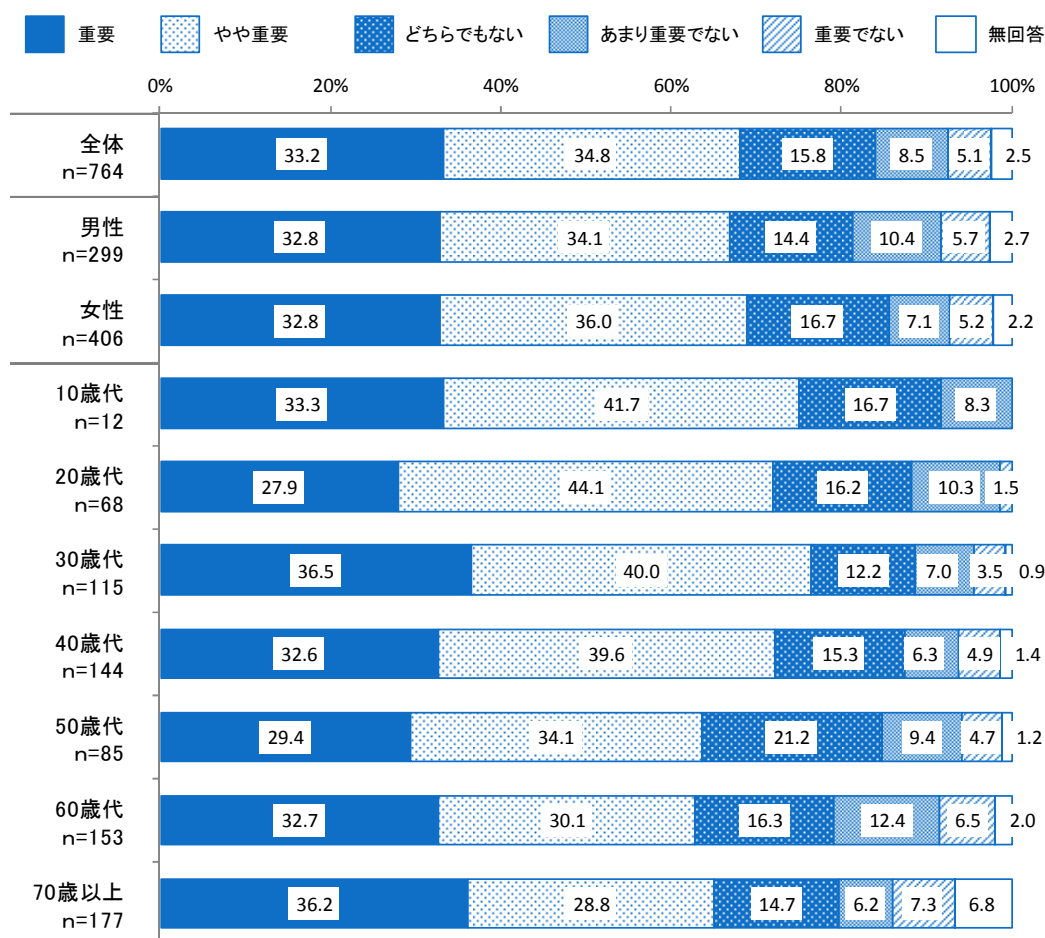
◆ “重要だと思う”が68.0%、“重要ではない”が13.6%

歩いて暮らせる便利なまちづくりの重要性については、「重要」と「やや重要」をあわせた“重要だと思う”が68.0%、「重要でない」と「あまり重要でない」をあわせた“重要ではない”が13.6%となっている。

性別でみると、性別による大きな差はみられない。

年齢別でみると、“重要だと思う”が“40歳代以下”で7割以上と高くなっている。一方、“重要ではない”は、60歳代で18.9%と高くなっている。

図表 67 歩いて暮らせる便利なまちづくりの重要性（全体・性・年齢別）



V 参考資料

1 標本誤差

この調査は、母集団である 18 歳以上の全町民から一部の標本を無作為に抽出して行っている。この調査結果からもとの全体の値を推定する標本調査である。この“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差である。今回の調査では下記の式で標本誤差を求めることができる。

$$\text{標本誤差} \quad \sigma = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}} \quad P: \text{回答率}(\%) \quad n: \text{有効回収数(件)}$$

以下の表は、上式に n と P の値を代入して標本誤差を求め、作成したものである。

	有効 回収数 (件)	回答率 (%)									
		5% (95%)	10% (90%)	15% (85%)	20% (80%)	25% (75%)	30% (70%)	35% (65%)	40% (60%)	45% (55%)	50% (50%)
全体	764	1.6	2.2	2.6	2.9	3.1	3.3	3.5	3.5	3.6	3.6

この表の見方について例をあげると、「全体の有効回収数が 764 人であり、ある設問の 1 つの選択肢の回答率が 50%であった場合、全数調査との誤差の範囲は 95%の確率で±3.6%以内であり、実際の回答率は 46.4%～53.6%の範囲にある」と意味づけられるものである。なお、標本誤差は回答率が 50%のときに最も大きい値となり、本調査においては最大の場合でも±3.6%の誤差である。

2 使用調査票

調査票

東郷町住民意向調査

アンケートご協力をお願い

日ごろから、町政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、東郷町では、平成23年3月に「第5次東郷町総合計画」を策定し、「人とまち みんな元気な 環境都市」を将来都市像としてまちづくりを進めています。

この総合計画は、平成23年度から平成32年度を計画期間とするまちづくりの指針となり、町民の皆様の生活全般に関わる様々な行政の施策について、長期的な展望に基づいて策定したものです。

平成27年度は、この第5次東郷町総合計画の中間年となります。そこで、これまでの基本施策や目標指標の進捗及び成果を検証し、今後の町政運営に反映するため、広く町民の皆様のお考えやご意見をお聞きする「東郷町住民意向調査」を実施します。

つきましては、お忙しいこととは思いますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、平成27年5月1日現在で町内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に選んだ2,000人を対象に実施します。調査は無記名で行い、調査の結果は統計的に処理いたしますので、ご迷惑をおかけすることは決してございません。

よろしくご協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

平成27年7月

東郷町長 川瀬雅喜

【ご記入にあたってのお願い】

1. このアンケートは宛名の方がご回答ください。もし、宛名の方がご回答できない場合は、ご本人に代わってご家族の方がご回答ください。
2. ご回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
なお、一部記入式の部分もあります。
3. 記入されたアンケート用紙は、**平成27年8月5日（水）まで**に同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。（切手は不要です。）
なお、役場の企画情報課（3階）まで直接アンケートをお持ちいただいても結構です。
4. このアンケート調査についてのお問い合わせ、ご不明な点などは、下記までお願いします。

東郷町役場 企画部 企画情報課 企画政策係
電話 0561-38-3111(内線 2322・2324)

1. あなたご自身についてお伺いします

1. あなたの性別は？	1. 男性	2. 女性	
2. あなたの年齢は？	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代	5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上	
3. あなたが現在お住まいの地区はどこですか？	1. 諸輪 2. 和合 3. 傍示本 4. 祐福寺 5. 部田 6. 白土	7. 和合ヶ丘 8. 諸輪住宅 9. 白鳥 10. 御岳 11. 春木台 12. 北山台	13. 押草団地北 14. 押草団地南 15. 西白土 16. 部田山 17. 清水
4. あなたが東郷町に住んでいる期間は <u>通算</u> でどれぐらいになりますか？	1. 3年未満 2. 3年以上、10年未満 3. 10年以上、20年未満 4. 20年以上、30年未満	5. 30年以上、40年未満 6. 40年以上、50年未満 7. 50年以上	
5. あなたの同居しているご家族の構成は次のうちどれにあたりますか？	1. ひとり暮らし 2. 夫婦だけ 3. 親と子(2世代)	4. 親と子と祖父母(3世代) 5. その他()	
6. あなたの同居しているご家族に、小学校就学前の方はいらっしゃいますか？	1. いる	2. いない	
7. あなたの同居しているご家族に、小中学生の方はいらっしゃいますか？	1. いる	2. いない	
8. あなたの同居しているご家族に、65歳以上の方はいらっしゃいますか？	1. いる	2. いない	
9. あなたのご職業はどれにあたりますか？	1. 農業 2. 自営業 3. 会社員、公務員、団体職員 4. アルバイト、パートタイマー	5. 学生 6. 家事専従 7. 無職 8. その他()	

2. 東郷町の暮らしやすさなどについてお伺いします

問1 東郷町の住み心地はどう思いますか？

今のお気持ちに最も近い番号を 1つだけ 選んでください。

1. 住みやすい
2. まあ住みやすい
3. どちらともいえない
4. やや住みにくい
5. 住みにくい

問2 これからも東郷町に住み続けたいとお考えですか？

今のお気持ちに最も近い番号を 1つだけ 選んでください。(既に転出が決まっている方もご自身のお気持ちに近いものをお選びください)

1. 永住したい
2. 当分住み続けたい

3. いずれは転出したい
4. すぐにでも転出したい

問2-1

今後も住み続けたいとお考えの理由を次の中から 3つ以内 で選んでください。

1. 自然環境が良いから
2. 子育ての環境が良いから
3. 交通の便が良いから
4. 周辺の住環境が良いから
5. 災害や犯罪などが少ないから
6. 買い物に便利だから
7. 地域での人間関係が良いから
8. 老後も安心して暮らせると感じるから
9. 学校や仕事、家庭の都合があるから
10. まちに将来性があるから
11. 住みなれていて愛着があるから
12. その他 ()

問2-2

転出したいとお考えの理由を次の中から 3つ以内 で選んでください。

1. 自然環境が良くないから
2. 子育ての環境が良くないから
3. 交通の便が良くないから
4. 周辺の住環境が良くないから
5. 災害や犯罪などが多いから
6. 買い物に不便だから
7. 地域での人間関係が良くないから
8. 老後の生活に不安があるから
9. 学校や仕事、家庭の都合があるから
10. まちに将来性がないから
11. まちに愛着がもてないから
12. その他 ()

3. 東郷町の取り組みについてお伺いします

問3 東郷町の取り組みについて具体的にお伺いします。それぞれの項目についてどの程度満足していますか？また、どの程度重要だとお考えですか？ 満足度と重要度について、今のお気持ちに最も近い番号をそれぞれ1つずつ選んでください。

		満足度					重要度				
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない
例) 健康づくりなどの保健事業		5	④	3	2	1	5	4	③	2	1
健康で元気に暮らせるまち	1 健康づくりなどの保健事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	2 夜間や休日の医療体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	3 障がい者への福祉サービス	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	4 社会保障制度の適切な運用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	5 高齢者への福祉サービス	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	6 子育て支援サービス	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち	1 小中学校の教育内容や教育環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	2 教育講座など生涯学習の機会	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	3 文化財の継承・保存	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	4 スポーツに参加できる環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	5 地区・世代間の人々の交流	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	6 国際理解・国際交流の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	7 青少年の健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

		満足度					重要度				
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない
参画と協働で自立するまち	1 まちづくりへ参加する機会	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	2 性別に関わらず個性と能力を発揮できる環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	3 町民・行政相互の情報共有	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	4 総合的にみた役場窓口の対応	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	5 効率的な行政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	6 周辺市との広域的な連携の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	7 健全な財政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
安全で環境にやさしいうるおいのあるまち	1 消防や救急の体制	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	2 防犯対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	3 交通安全対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	4 地震や風水害などの防災対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	5 消費者保護対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	6 自然環境の保全や創出	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	7 公害対策などの環境汚染対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	8 地球温暖化の防止	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	9 ごみの減量やリサイクルの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
産業が活性化し、快適でいつでも住み続けたいまち	1 地産地消の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	2 農業の活性化対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	3 働く場や機会	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	4 商工業の活性化対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	5 開発による住宅地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	6 公園や緑地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	7 美しい街並み景観	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	8 道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	9 バスなどの公共交通機関の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	10 下水道の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

4. あなたの日常生活の意識などについてお伺いします

問4 あなたの日常生活の意識や行動について、あてはまる番号を 1つずつ 選んでください。

項目	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない
例) 普段から省エネを心がけている	5	4	3	2	1
1. 普段から省エネを心がけている	5	4	3	2	1
2. 普段からリサイクルに心がけている	5	4	3	2	1
3. 地震や風水害などの災害に備えている	5	4	3	2	1
4. 普段から防犯に心がけている	5	4	3	2	1
5. 定期的にスポーツ・運動をしている	5	4	3	2	1
6. 近くの公園や広場などを利用している	5	4	3	2	1
7. 公共交通機関を利用するようにしている	5	4	3	2	1
8. 地元の農産物を購入したいと思っている	5	4	3	2	1
9. 地元の行事やお祭りに参加している	5	4	3	2	1
10. 広報とうごうを毎月(毎号)読んでいる	5	4	3	2	1

問5 地域に対する意識について、あてはまる番号を 1つずつ 選んでください。

項目	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない
例) 男女差別のない社会がつけられている	5	4	3	2	1
1. 男女差別のない社会がつけられている	5	4	3	2	1
2. 安心して子どもを産み育てられる	5	4	3	2	1
3. 地域で共に助け合い、支えあう風土がある	5	4	3	2	1
4. ボランティアやNPO(※)の活動が活発に行われている	5	4	3	2	1
5. まちに活気やにぎわいがある	5	4	3	2	1

※「NPO」とは、「社会や地域のために自主的に活動しているボランティア団体、市民活動団体、特定非営利活動法人などの民間の非営利活動団体」をいいます。

5. 東郷町のまちづくりについてお伺いします

(1) 町政(まちづくり)への関心について

問6 あなたは東郷町の仕事(町政)にどの程度関心がありますか？
今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

1. 関心がある
2. ある程度関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心がない

問7 あなたは、どのような町政の情報に関心がありますか？(今関心がない方は、
どのような情報であれば関心をもてると思いますか？)
今のお気持ちに最も近い番号を3つ以内で選んでください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 健康づくりの支援内容について | 9. 防災・防犯情報について |
| 2. 子育て支援サービスについて | 10. エコ活動について |
| 3. 医療体制について | 11. 町内の産業・ビジネスについて |
| 4. 福祉・介護サービスについて | 12. 公共交通機関の情報について |
| 5. 教育・生涯学習環境について | 13. その他 |
| 6. スポーツ関連情報について | () |
| 7. ボランティアや地域活動について | |
| 8. 行政運営・財政状況について | |

(2) 東郷町自治基本条例について

東郷町では、平成25年6月に、まちづくりにおいて最も重視すべき条例として、「町民が主役のまちづくり」を進めるための大切なルールである東郷町自治基本条例を制定しました。

問8 あなたは東郷町自治基本条例をご存知ですか？
最も近い番号を1つだけ選んでください。

1. 内容をよく知っている
2. 内容を少し知っている
3. 条例があることは知っているが、内容は知らない
4. まったく知らない

※問 8 で 1 または 2 と回答した人にお聞きします。
 問 8-1 東郷町自治基本条例をどのような機会で見ましたか? (複数回答可)

1. パンフレット
 2. 広報
 3. ホームページ
 4. 文化産業まつりなどのイベント
 5. その他 ()

(3) 住民参画・協働について

問 9 町政への住民意見の反映や住民参画(※1)、住民と行政との協働(※2)について、どのようにお考えですか。
 今のお気持ちに最も近い番号を 1つずつ 選んでください。

※1 「町政への住民参画」とは、「住民が町の施策や事業に主体的にかかわること。」をいいます。
 ※2 「住民と行政との協働」とは、「住民や区・自治会、NPOなどと行政が、互いの立場・役割を理解・尊重しながら、共通の目的を達成するために対等の関係で協力すること。」をいいます。

	5	4	3	2	1
例) 住民の意見を聞く機会が充実している	5	4	③	2	1
1. 住民の意見を聞く機会が充実している	5	4	3	2	1
2. 町政に住民の意向が反映されている	5	4	3	2	1
3. 住民の参画や協働が行われている	5	4	3	2	1
4. 住民参画や協働の主体として町政にかかわりたい	5	4	3	2	1

問 10 今後、住民の皆さんが積極的にかかわって進めることが重要だと思う活動は何ですか?
 今のお気持ちに最も近い番号を 3つ以内 で選んでください。

1. 身近な道路や排水路、公園などの清掃活動	6. 公園など身近な公共施設の内容の検討
2. 花壇づくりなどのまちなみの緑化活動	7. 高齢者の手助けなど自分でできる範囲の福祉活動
3. ごみの減量やリサイクル活動	8. その他 ()
4. 文化産業まつりなどのイベント	9. 特にない
5. 防災・防犯・交通安全などの地域の安全活動	

(4) セントラル開発について

今後、人口減少、少子高齢化が急速に進むことが懸念されるなか、町の中心に公共施設や商業施設、住宅など様々な機能を集め、誰もが歩いて暮らせるまちづくりを進めることが求められています。

このような背景のもと、現在、東郷町では、土地区画整理事業を中心とした「セントラル開発」(※)に取り組んでいます。

そこで、お伺いします。

※「セントラル開発」とは、現在の役場周辺の公共施設や既存の道路を最大限活用しながら、まちの中心に不足するバスターミナルや商業施設等を整備して、様々な機能を集めることで、東郷町の魅力を高め、子どもからお年寄りまで、みんなが歩いて暮らせる便利なまちの実現を目指す取組をいいます。

問11 東郷町の中心部には、役場を始め町民会館、総合体育館、いこまい館などの公共施設が集まっています。このような現状について、町民の皆さんが利用しやすく、便利な魅力のある「町の中心地」がつくられていると思いますか？

今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

1. 思う
2. やや思う
3. どちらともいえない
4. あまり思わない
5. 思わない

問12 また、東郷町において、「町の中心地」に様々な機能を集めて、歩いて暮らせる便利なまちづくりに取り組むことがどの程度重要だと思いますか？

今のお気持ちに最も近い番号を1つだけ選んでください。

1. 重要
2. やや重要
3. どちらでもない
4. あまり重要でない
5. 重要でない

(5)東郷町のまちづくりについての自由な意見をお聞かせください

今後の東郷町のまちづくりについて、ご意見や提案（アイデア）などがありましたらお聞かせ下さい。

お忙しいところ、最後までご協力いただきましてありがとうございました。



3 自由意見

○ 東郷町のまちづくりについての自由な意見をお聞かせください。

今後の東郷町のまちづくりについて、ご意見や提案（アイデア）などがありましたらお聞かせください。

東郷町のまちづくりについての意見などをたずねたところ、計 336 人から計 466 件の回答が得られた。

主な意見は下記の通りとなっている。

(1) 町政に関すること (70 件)

意 見
住民税が高い。
医療費無料化について年齢の上限の見直しを希望する。(18 歳から 15 歳へ)
町から市への格上げをしてほしい。
役場の職員・窓口対応の見直しを希望する。
イメージキャラクターがあまり良くない。
町政に興味を持てるようになると良い。
花火大会を復活させてほしい。
企業誘致を考える。

(2) 公共交通 (68 件)

意 見
巡回バスを増便してほしい。
巡回バスのルートを変更してほしい。
巡回バスの鉄道駅までの乗り入れを希望する。
巡回バスの無料化、65 歳以上の利用証発行を希望する。
バスの増便を希望する。
公共交通機関の充実。
車を使えない高齢者が、便利なまちの中心地に行く方法を考える方が先だと思う。

(3) セントラル開発について (64 件)

意見
セントラル開発に期待している。
まずは周辺環境の整備を希望する。
セントラル開発がどのようなものなのか明確にしてほしい。
セントラル開発について不安がある。

(4) 安全・防犯に関すること (63 件)

意見
歩道が狭い、歩道が少ないなど、安全対策のため歩道の整備を希望する。
通行量も多く、狭いため、道路の拡張を希望する。
側溝の整備を希望する。
交通事故対策を希望する。
街灯の設置、増設を希望する。
防犯カメラの設置を希望する。
犯罪防止のため防犯対策の強化を希望する。

(5) 公共施設 (55 件)

意見
公園の遊具の設置、充実化を希望する。
年齢問わず、体を動かせる場の整備を希望する。
公園がほしい。
いこまい館を充実させてほしい。
図書館が小さい。狭い。
図書館の本の増冊、入れ替えをしてほしい。
町立病院、救急病院などの総合病院をつかってほしい。
小・中学校にエアコンを設置してほしい。

(6) まちづくりについて (49件)

意見
土地の所有者がしっかりと草木の手入れをしてほしい。
町のクリーン化、清掃をして、きれいなまちづくりを希望する。
犬のフンの放置について考えてほしい。
自然が減少している。
自然を生かしたまちづくり、自然と触れ合える環境の維持を希望する。
住民同士の交流機会がほしい。
住み続けたいと思うまちづくりを希望する。
何かをアピールできる魅力あるまちづくりを希望する。

(7) 子育て環境 (28件)

意見
保育園・幼稚園の増設を希望する。
一時預かりをしてもらえる施設の増設を希望する。
小学校の部活動の種類を増やしてほしい。
学力向上に重点を置く。

(8) 商業施設 (22件)

意見
近隣に大型店があるので、大型商業施設を建設しても成功するか心配である。
道の駅のような施設をつくり、野菜、食べ物などの販売をする。
飲食店やコンビニエンスストアがほしい。
町内に店が少ないので不便である。

(9) 高齢者に関すること (14件)

意見
元気な高齢者が活躍できる場がほしい。
交通が不便なので老後の生活が不安。
ひとり暮らしの人が住みやすいまちを希望する。
高齢者にやさしいまちであってほしい。

(10) 合併について (12 件)

意見
名古屋市との合併を希望する。
近隣市との合併を希望する。

(11) その他 (21 件)

意見
町の現状を維持してほしい。
町にもっと働く場がほしい。
地名を短く簡素化できないか。
資源ゴミは持ち込みではなく、回収にしてはどうか。

東郷町住民意向調査報告書

発行年月：平成 28 年 3 月

発 行：東郷町 企画部 企画情報課 企画政策係

愛知郡東郷町大字春木字羽根穴 1 番地

TEL：0561-38-3111

FAX：0561-38-0001